


宇城広域連合南消防署三角分署新築工事

設計図

図面目録

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	<意匠図>	A-20	平面詳細図4	A-40	家具キープラン	S-5	鉄骨工事標準図その1	S-25	雑部詳細図
A-1	図面目録	A-21	矩計図1	A-41	家具詳細図1	S-6	鉄骨工事標準図その2	S-26	鉄骨屋根軸組図
A-2	建築工事特記仕様書 (その1)	A-22	矩計図2	A-42	家具詳細図2	S-7	MAXウェブレ標準仕様書	S-27	鉄骨部材リスト
A-3	建築工事特記仕様書 (その2)	A-23	床伏図	A-43	雑詳細図1	S-8	エルマッドSE工法特記仕様書	S-28	屋根鉄骨詳細図
A-4	建築工事特記仕様書 (その3)	A-24	天井伏図	A-44	雑詳細図2	S-9	仕様材料・柱状図	S-29	ホースリフター鉄骨詳細図
A-5	建築工事特記仕様書 (その4)	A-25	屋根伏図1	A-45	サインキープラン	S-10	基礎リスト		
A-6	建築工事特記仕様書 (その5)	A-26	屋根伏図2	A-46	サイン詳細図	S-11	地中梁・地中小梁・基礎柱リスト		
A-7	建築工事特記仕様書 (その6)	A-27	建具キープラン	A-47	外構計画図	S-12	基礎伏図		
A-8	仕上表	A-28	建具表1	A-48	現況平面図	S-13	1階伏図		
A-9	配置図 案内図	A-29	建具表2	A-49	雨水配管計画図	S-14	R1階伏図		
A-10	敷地求積図	A-30	建具表3	A-50	外構雑詳細図1	S-15	R2階伏図 (RC) ・鉄骨屋根土台伏図 ・鉄骨屋根伏図		
A-11	建物求積図	A-31	展開図1	A-51	外構雑詳細図2	S-16	軸組図 (1)		
A-12	法チェック表	A-32	展開図2	A-52	外構雑詳細図3	S-17	軸組図 (2)		
A-13	平面図	A-33	展開図3	A-53	外構雑詳細図4	S-18	軸組図 (3)		
A-14	立面図1	A-34	展開図4			S-19	軸組図 (4)		
A-15	立面図2	A-35	展開図5		<構造図>	S-20	軸組図 (5)		
A-16	断面図	A-36	展開図6	S-1	構造特記仕様書	S-21	軸組図 (6)		
A-17	平面詳細図1	A-37	展開図7	S-2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	S-22	柱リスト・大梁リスト・小梁リスト		
A-18	平面詳細図2	A-38	展開図8	S-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	S-23	壁リスト・床リスト		
A-19	平面詳細図3	A-39	屋根詳細図	S-4	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)	S-24	4通り配筋詳細図		

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	図面目録	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No.
					図番		-				A-1

宇城広域連合建築工事特記仕様書

I 工事概要

- 1 工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事
2 工事場所 宇城市三角町波多633-1他
3 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1区分, 備考. Row 1: 宇城広域連合南消防署三角分署, RC造, 1, 525.26㎡, 十五.

※ 建築基準法に基づき定められた風速 (V0) (34m/sec)
※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重 ()

※ 地表面積区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV

4 工事項目 (電気設備工事) ○印を付したものを

Table with columns: 工事項目, 建物名, 1, 2, 3, 4, 屋外. Rows include 1 電灯・コンセント設備, 2 照明・動力設備, 3 電気設備, etc.

5 工事項目 (機械設備工事) ○印を付したものを

Table with columns: 工事項目, 建物名及び屋外, 1, 2, 3, 4, 屋外. Rows include 1 空調設備, 2 換気設備, 3 排気設備, etc.

6 設備概要 (機械設備工事)

Table with columns: 空気調和方式, 主熱源設備, 換気設備, 排気設備, 自動制御設備, 給水設備, 排水設備, 消火設備, ガス設備.

- ※注意事項 ① 工事用資・機材、建設副産物等の運搬をしないこと。
② 運搬を行なっている資材納入業者から、資材を納入しないこと。
③ 資材等の運搬を防止するため、資材の納入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。

II 特記事項

- 1 本工事の契約は、図面及び仕様書に基づくものとし、部材の工事内訳書は参考とする。
2 図面及び仕様書に記載されていない異議所及び商品名は、製品の仕様を示すもので参考とする。
3 高圧配線工事工程表等に提出する、工事用資及び機材の仕入れは、建設者に預託し、かつ、必要資材を有することが確認できる機材を提出すること。

※ 項目は、番号の後に○印の付いたものを適用する。

Table with columns: 項目, 特記事項. Rows include 1 適用基準等, 2 電子納品に関する事項, 3 工事記録情報の登録(工事カルテ), 4 品質計画, 5 電気保安技術者, 6 施工条件, 7 発注者の処理等.

1

- 12 技師士
運用工事種別 ()内は、運用作業
○ 鉄筋工
○ コンクリート工事
○ 換気工事
○ プラック及びALCの枠工事
○ 防水工事
○ 石工事
○ タイル工事
○ 木工
○ 電気及び配電工事
○ 金具工事
○ 造作工事
○ 内装工事

13 特別な材料の工法

※ 建設工事による排気ガス対策用遮音材を使用する。
※ 建設工事による騒音対策用遮音材を使用する。
※ 建設現場等のアイドリングストップを実施し、その実施を行うこと。

○ 15 設計GL

※ 指示による。 ・ 現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による。
工事施工に際し、既設部分の既設と仮設した場合は監督員に報告するとともに承認を受けて供状に準じて補修すること。

○ 17 施工等との取合い

※ 建設現場の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承認を受けること。

○ 18 建築材料 設備機器等

※ 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。また、再生資源利用できるものを積極的に使用する。

○ 19 化学物質の濃度測定

○ 汚染等、 ・ 行わない。
※ 建設現場が定める化学物質の濃度が設計図書に規定する濃度を超過し、報告書を監督員に提出すること。

○ 20 工事写真等

※ 監督員が定める化学物質の濃度が設計図書に規定する濃度を超過し、報告書を監督員に提出すること。

○ 21 完成図

受入した原図 (電子データを含む) に変更内容を加筆訂正し、下記のものを添えて監督員に提出すること。
また、建設現場に於ける状況、その変更内容 (等) を監督員に提出すること。

○ 22 施工図

宇城広域連合公共工事実施契約の内容及び仕様書に基づき作成し、納品するものとする。
当該建設物の取得する施工図等の著作権に侵害する使用行為は、当該建設物の譲渡者等に譲渡すること。

○ 23 保金に関する資料

※ 提出する。 ・ 提出しない。
※ 提出書類 第 2 巻 ・ () 部

○ 24 保険等

宇城広域連合公共工事実施契約第 59 条第 1 項より、次の保険等 (その他これに準ずるものを含む) に付保しなければならない。

○ 25 安全施工実施対策

※ 建設工事安全施工技術指針に基づき、工事の安全確保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監督員へ提出すること。

○ 26 官公庁への 照会等

関係官庁、電力会社等への手続は、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特記事項は別途とする。

27 石綿(アスベスト)

工事開始前に労働安全衛生省自給体 (自給体への検査は大気汚染防止法に基づくもの) に対して、本工事に関係する石綿の有無について事前調査結果の報告を行うこと。
事前調査結果の報告については、石綿事前調査結果報告システム (https://www.lshtrts-hokoku.mhlw.go.jp) を用いても良い。
また、石綿の有無の事前調査の対象箇所については、監督員と協議のうえ決定すること。

2

- 1 既設部分の養生
養生方法
養生された物品、機、ロッカー等の養生
既設部分等の養生
2 監督員事務所
- 設ける ※ 設けない
- 監視機 () の設置 備品については、監督員の指示による。

○ 3 工事用水

管内既設の施設 ・ 利用できる (有償 ・ 無償) ※ 利用できない

○ 4 工事用電力

管内既設の施設 ・ 利用できる (有償 ・ 無償) ※ 利用できない

○ 5 外堀足場

※ 建設現場及び ・ その他 ()

○ 6 手すり先行足場

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について (衛生労働省 基準第 0454001 号平成 21 年 4 月 24 日) の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中ん及び足場の構築を有する足場とし、足場の設置、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の設置等に関する基準」により行うこと。

3

- 1 掘削及び盛土
掘削 ・ A 掘 ※ B 掘 ・ C 掘 ・ D 掘 (8.2.9) (8.2.11)
○ 2 建設発生土の処理
※ 海外資材の運送
※ 建設発生土の処理
※ 受け入れ場所での処理 (・ 働きやすい ※ たい積)
※ 搬出距離 () km
※ 搬入受入れ場所 (距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する)
○ 管内搬入の場所 (・ 働きやすい ※ たい積)

宇城広域連合建築工事特記仕様書

宇城広域連合

Table with columns: 建築士事務所名, 1級建築士事務所 熊本県 知事登録 3266 号 株式会社 宮田設計
設計者氏名, 1級建築士 大臣 登録第 241080 号 宮田 真一 印

Table with columns: 工事名称, 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事
図面名称, 建築工事特記仕様書 (その1) 図面番号 A-2

R6. 4. 21 改定

4	<p>1 支持地盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭基礎 (4.3.4~5)(4.5.4~5) 支持地盤の種類及び位置(基礎の位置含む) <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>2 既成コンクリート杭地盤</p>	<p>4 地盤改良</p> <p>3 掘削打ちコンクリート杭地盤</p> <p>4 地盤改良 (セメント系固化工法を用いた工法による改良)</p> <p>5 置換コンクリート地盤 (ダブルコンクリート地盤)</p> <p>6 液状化対策</p> <p>7 砂利地盤</p> <p>8 捨てコンクリート</p> <p>9 床下防護層</p>	<p>5 鉄筋工事</p> <p>1 鉄筋の種類</p> <p>2 溶接金網</p> <p>3 鉄筋の継手</p> <p>4 鉄筋の定着の方法及び長さ</p> <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)</p> <p>6 特殊な鉄筋継手</p> <p>7 各部配筋</p> <p>8 圧接完了後の試験</p> <p>9 帯筋</p> <p>10 最上階柱頭補強</p> <p>11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋 (出隅部分の補強筋を含む)</p> <p>12 壁開口部の補強</p> <p>13 梁貫通孔の補強</p> <p>14 基礎梁主筋の継手</p> <p>15 機械吊上げ用フック</p>	<p>6 コンクリート工事</p> <p>1 コンクリートの種類及び強度</p> <p>2 レザーミクストコンクリートの種類</p> <p>3 セメント</p> <p>4 骨材</p> <p>5 軽量コンクリート</p> <p>6 無筋コンクリート</p> <p>7 ひび割れ誘発目地 打層目地</p> <p>8 コンクリート仕上り</p> <p>9 打増し厚さ (打放し仕上げ部)</p> <p>10 型枠</p> <p>11 単位水量の測定</p> <p>12 混和材量</p> <p>7 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者</p>	<p>普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>種類</th> <th>18</th> <th>21</th> <th>24</th> <th>27</th> </tr> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正値(S) ※ 標準仕様書6.3.2による</p> <p>スラブの幅(単位:cm) (6.2.4)(表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>打込み箇所</th> <th>基礎、基礎梁、土間スラブ</th> <th>柱、梁、スラブ、壁</th> </tr> <tr> <td>所要スラブ</td> <td>15, 18</td> <td>18</td> </tr> </table> <p>種類 ※ I 類 ・ II 類 (6.2.1)(表6.2.1)</p> <p>種類 ○ 普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で85J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 施工箇所 基礎、土間、躯体</p> <p>・ 高炉セメントB種 ()</p> <p>・ 高炉セメントC種 ()</p> <p>・ フライアッシュセメントB種 ()</p> <p>・ フライアッシュセメントC種 ()</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)</p> <p>※ A ・ B</p> <p>種類 ○ 1種 ○ 2種 (6.10.1)(表6.10.1)</p> <p>コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1)</p> <p>適用箇所 (6.14.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種別 6.14.1(4)による箇所 ・ 種別 6.14.1(4)以外の箇所 <p>設計基準強度 ※ 18N/mm² () (6.14.1)</p> <p>スラブ ※ 15cm又は18cm ()</p> <p>目地寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.5)</p> <p>○ 種仕 9.7.3による</p> <p>間隔、位置、形状</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>部材の位置及び断面寸法の許容差の補強筋 (6.2.5)(表6.2.5)</p> <p>○ 種仕 表6.2.5による ()</p> <p>合板せき板を用いたコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)</p> <p>○ A 種 ・ B 種 ・ C 種</p> <p>※ 適用箇所は図示による</p> <p>○ 打放し仕上げ(仕上げ材料、塗料等の仕上げを行う部分を含む) (6.8.2)</p> <p>の打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</p> <p>○ 20mm ()</p> <p>・ 打放し仕上げ(仕上げ材料、塗料等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ()</p> <p>・ 外壁パネル部で、MCR工法又は目地なし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う</p> <p>せき板の材料 (6.8.2)</p> <p>○ 合板(固着材)</p> <p>・ ()</p> <p>せき板の厚さ</p> <p>○ 12mm ()</p> <p>新着材の使用</p> <p>・ 行う 適用箇所()</p> <p>・ 行わない ()</p> <p>スリーブの材質</p> <p>※ 種仕6.8.2(9)(ア)(イ)及び表6.8.1による ()</p> <p>○ 有り ・ 無し (6.8.2)</p> <p>○ 混和剤 (6.9.1)</p> <p>・ AE剤 ○ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・ 防錆剤 ・ ()</p> <p>・ 混和材</p> <p>・ フライアッシュ (・ I 種 ・ II 種 ・ IV 種)</p> <p>・ 高炉スラグ微粉</p> <p>・ シリカフェューム</p> <p>・ 膨張材</p> <p>・ ()</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)</p> <p>※ 建築基準法第77条の66に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(※)日本鉄骨協会センター及び(※)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>・ S ・ H ・ M ・ R ・ J グレード</p> <p>○ 監督職員の承認する工場(種仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)</p> <p>※ 適用する (7.1.9)(7.1.4)</p> <p>・ 適用しない</p>	設計基準強度 (N/mm ²)	種類	18	21	24	27	普通コンクリート	種別					軽量コンクリート	種別					設計基準強度 (N/mm ²)	適用箇所	・24		打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スラブ	15, 18	18
						設計基準強度 (N/mm ²)	種類	18	21	24	27																						
普通コンクリート	種別																																
軽量コンクリート	種別																																
設計基準強度 (N/mm ²)	適用箇所																																
・24																																	
打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁																															
所要スラブ	15, 18	18																															
<p>4 地盤改良</p> <p>3 掘削打ちコンクリート杭地盤</p> <p>4 地盤改良 (セメント系固化工法を用いた工法による改良)</p> <p>5 置換コンクリート地盤 (ダブルコンクリート地盤)</p> <p>6 液状化対策</p> <p>7 砂利地盤</p> <p>8 捨てコンクリート</p> <p>9 床下防護層</p>	<p>4 地盤改良</p> <p>3 掘削打ちコンクリート杭地盤</p> <p>4 地盤改良 (セメント系固化工法を用いた工法による改良)</p> <p>5 置換コンクリート地盤 (ダブルコンクリート地盤)</p> <p>6 液状化対策</p> <p>7 砂利地盤</p> <p>8 捨てコンクリート</p> <p>9 床下防護層</p>	<p>5 鉄筋工事</p> <p>1 鉄筋の種類</p> <p>2 溶接金網</p> <p>3 鉄筋の継手</p> <p>4 鉄筋の定着の方法及び長さ</p> <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)</p> <p>6 特殊な鉄筋継手</p> <p>7 各部配筋</p> <p>8 圧接完了後の試験</p> <p>9 帯筋</p> <p>10 最上階柱頭補強</p> <p>11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋 (出隅部分の補強筋を含む)</p> <p>12 壁開口部の補強</p> <p>13 梁貫通孔の補強</p> <p>14 基礎梁主筋の継手</p> <p>15 機械吊上げ用フック</p>	<p>6 コンクリート工事</p> <p>1 コンクリートの種類及び強度</p> <p>2 レザーミクストコンクリートの種類</p> <p>3 セメント</p> <p>4 骨材</p> <p>5 軽量コンクリート</p> <p>6 無筋コンクリート</p> <p>7 ひび割れ誘発目地 打層目地</p> <p>8 コンクリート仕上り</p> <p>9 打増し厚さ (打放し仕上げ部)</p> <p>10 型枠</p> <p>11 単位水量の測定</p> <p>12 混和材量</p> <p>7 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者</p>	<p>1級建築士事務所 熊本県 知事登録 3266 号</p> <p>株式会社 富田設計</p> <p>1級建築士 大臣 登録第 241080 号</p> <p>富田 真一 印</p>	<p>工事名称</p> <p>宇城広域連合南消防署三角分署新築工事</p> <p>図面名称</p> <p>建築工事特記仕様書 (その2)</p> <p>図面番号</p> <p>A-3</p>																												

宇城広域連合建築工事特記仕様書

宇城広域連合

R5.4.21改定

10	1 施工	石材の割付け 参考仕10.1.3(1)の(イ)による ○ 図示による (10.1.3~8)	11	1 伸縮縫位置目地及びひび割れ発生目地	位置 参考仕 表11.1.1による ○ 図示による (11.1.3)(表11.1.1)	12	5 合板等	下地用合板 (12.2.1(6))	施工箇所 厚さ 単板の等級名 接着剤の種類 板面の品質 防虫処理 備考	18	3 土壌	土壌の性状	(13.5.2~3)(表13.5.5)
	2 石材等	天然石 (10.2.1~8)(表10.2.1~2) 加工箇所 厚さ 石材の種類 形状 寸法 厚さ 表面仕上げ 備考	2	セメントモルタルによるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.3)(11.2.7)		木工事	合板等	表12.2.1(6) 備考	3 土壌	土壌の性状	(13.5.2~3)(表13.5.5)	
	3 外壁複式工法	採取付用モルタル、既設面の目地モルタル、浸透性防水剤、石膏面地層材、裏打ち地層材 ※ 専門工事業者の指定する製品 ()	3	有機系接着剤によるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.3)(11.2.7)		木工事	合板等	表12.2.1(6) 備考	4 保証書の提出	保証書の提出	() 年保証	
4 内壁空積工法	石膏面地層 ○ 適用する ・ 適用しない (10.2.2~8)(10.2.2~8) 裏打ち処理 ○ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※ 裏打ち工法 横断機施工法・縦断機施工法 材料 ※ SUS304 () 形状及び寸法 ・ L75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・ L75×75×8(mm)の加工 L=160mm ()	4	無機系接着剤によるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.3)(11.2.7)	木工事	合板等	表12.2.1(6) 備考	5 事後調査	事後調査	() 年保証			
5 外壁乾式工法	トレンバパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クラスレシム強さ 25~35φ () アンカー 材質 ※ SS400 () 寸法 () あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 () シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮縫位置目地 位置 ※ 参考仕 11.1.1による ○ 図示による シーリング材の目地寸法 ※ 参考仕 9.7.3(1)(ウ)による ○ 図示による	5	乾式工法による合板の張り、寸法等	JIS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2))(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)	木工事	1 製材	JIS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2))(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)	6 最重量鉄骨天井下地	最重量鉄骨天井下地	(14.4.2~4)			
6 床及び階段の石張り	乾式工法の方法による合板の種類、厚さ、寸法等 () 取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない だばの穴の位置 参考仕 10.5.2(7)による ○ 図示による 地盤基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する(地盤基準法に基づき定まる風圧力の(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない アンカー 材質 ※ SUS304 () 寸法 () あと施工アンカー 材質 () 寸法 () 目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 () シーリング材 ・ 適用する(参考仕 9.7.3(1)による) ・ 適用しない	6	床の浸透性防水防止剤	JIS1083以外の製材	木工事	2 造作用集成材	「集積材の日本森林規格」による造作用集成材 (12.2.1(3))	7 最重量鉄骨下地	最重量鉄骨下地	(14.4.2~4)			
7 笠木、甲板等の石張り	採取付用モルタル、既設面の目地モルタル、浸透性防水剤、石膏面地層材、裏打ち地層材 ※ 専門工事業者の指定する製品 ()	7	床の石膏面地層	「集積材の日本森林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1(3))	木工事	3 造作用単板複層材	JAS0701(単板複層材)に規定する造作用単板複層材 (12.2.1(4))	8 最重量鉄骨下地	最重量鉄骨下地	(14.4.2~4)			
8 製造所及び施工業者	製造所の承諾による。	8	床の裏打ち処理	JAS0701(単板複層材)以外の造作用単板複層材 (12.2.1(3))	木工事	4 直交集成材	CLT(直交集成材) (12.2.1(5))	9 最重量鉄骨下地	最重量鉄骨下地	(14.4.2~4)			

宇城広域連合建築工事特記仕様書

宇城広域連合

建築士事務所名	1級建築士事務所 熊本県 知事登録 3266 号	工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事
設計者氏名	1級建築士 大臣 登録第 241080 号 宮田 真一 印	図面名称	建築工事特記仕様書 (その4) 図面番号 A-5

15 ○ 1 モルタル塗り ○ 2 仕上塗材仕上げ ○ 3 マスチック塗料塗り ○ 4 ロックウール吹付け ○ 5 保証書の提出

モルタル ○ 既製調合材料 ○ 現場調合材料 (15. 3. 2~5) (材料) 床の目地 ・ 吹ける (目地割り ※2mm程度(最大目地間隔3mm程度) ・) (縦割) ※押し目地 ・ () ○ 吹けない

16 ○ 1 アルミニウム製 建具 ○ 2 戸等 ○ 3 樹脂製建具 ○ 4 鋼製建具 ○ 5 鋼製軽量建具

性能等表 (16. 2. 2)(16. 2. 3~5)(表16. 2. 1) 外部に面する建具 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音チャッシとする場合 遮音性の等級() ※表示による

16 6 ステンレス製建具 ○ 7 木製建具 ○ 8 建具用金物

性能等表 (16. 2. 2)(16. 4. 2)(16. 6. 2~5) 遮音気密型 ・ 適用する ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6

16 9 鏡箱 ○ 10 自動ドア開閉装置 ○ 11 自閉式上吊り引戸装置

形式 ○ 30本 (個) ・ 120本 (個) (16. 8. 4) 鏡箱市販品とし、監督員の承認による。 引き戸用電動装置 性能等表 (16. 9. 1) (16. 9. 2) (16. 9. 3) (16. 9. 4)

12 重量シャッター ○ 13 軽量シャッター ○ 14 オーバーヘッド ドア ○ 15 ガラス

性能等表 (16. 11. 2~4)(表16. 11. 1) シャッター ケース 耐風圧強度 開閉形式 備考

性能等表 (16. 12. 2~4) 開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度(Pa) 備考

性能等表 (16. 13. 2~3) セラミック材料 耐風圧 (Pa) 開閉方式 収納形式 ガイドレール による区分

17 1 取付方法、性能等 ○ 2 スタルカーテンウォール ○ 3 PCカーテンウォール

カーテンウォールの材料 (17. 2. 2) 材料 規格 表面処理 検査項目

18 ○ 1 材料 ○ 2 素地ごしらえ ○ 3 錆止め塗料塗り ○ 4 塗装

性能等表 (18. 2. 2~7) 下地等 種類 備考

宇城広域連合建築工事特仕仕様書

宇城広域連合

建築士事務所名 1級建築士事務所 熊本県 知事登録 3266 号 株式会社 宮田設計 設計者氏名 1級建築士 大臣 登録第 241080 号 宮田 真一 印

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事 図面名称 建築工事特仕仕様書 (その5) 図面番号 A-6

19 内装工事
5 ゴム床タイル (19.2.2)
6 カーペット敷き (19.3.1~3)
7 合成樹脂塗床 (19.4.2~3)(表19.4.1.~8)
8 フローリング張り (19.5.2~8)(表19.5.1~6)
9 畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)
10 せこごうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2~8)(表19.7.1)
11 襖紙張り (19.8.2)
12 断熱材 (19.9.2)

色別 種類 厚さ 寸法(mm)
タイルカーペット
パイルの形状
カーペットの敷き方
フローリング張り
畳敷き
せこごうボード
襖紙張り
断熱材

20 ユニット及びその他の工事
1 フリーアクセスフロア (20.2.2)
2 可動間仕切り (20.2.3)
3 移動間仕切り (20.2.4)
4 トイレブース (20.2.5)
5 手すり (20.2.6)
6 障壁取り止め (20.2.7)
7 床目地坪 (20.2.8)
8 ホワイトボード (20.2.9)
9 グラップ (20.2.10)
10 煙突ライニング (20.2.11)
11 ブラインド (20.2.14)
12 ロールスクリーン (20.2.15)
13 カーテン (20.2.16)(表20.2.1)
14 カーテンレール (20.2.16)
15 カーテンボックス (20.2.16)

フリーアクセスフロア及び裏面仕上げ材 (20.2.2)
可動間仕切り (20.2.3)
移動間仕切り (20.2.4)
トイレブース (20.2.5)
手すり (20.2.6)
障壁取り止め (20.2.7)
床目地坪 (20.2.8)
ホワイトボード (20.2.9)
グラップ (20.2.10)
煙突ライニング (20.2.11)
ブラインド (20.2.14)
ロールスクリーン (20.2.15)
カーテン (20.2.16)(表20.2.1)
カーテンレール (20.2.16)
カーテンボックス (20.2.16)

20 ユニット及びその他の工事
16 コーナービード (20.2.1)
17 天井見切縁 (20.2.1)
18 点検口 (20.2.1)
19 収納・収納家具 (20.2.1)
20 消火器ボックス (20.2.1)
21 ステンレス洗し台 (20.2.1)
22 コンロ台 (20.2.1)
23 吊戸棚 (20.2.1)
24 水切器 (20.2.1)
25 くつみきマット (20.2.1)
26 旗竿 (20.2.1)
27 旗竿受金物 (20.2.1)
28 フェンス (20.2.1)
29 敷地境界線 (20.2.1)
30 止水板 (20.2.1)
21 屋外雨水排水管 (21.2.1)(表21.2.1)
22 鉄製マンホールふた (21.2.1)
23 グレーチング (21.2.1)
24 垣裏土 (21.2.1)
22 1 路床 (22.2.2~8)(表22.2.1)
22 2 路盤 (22.2.3)

コーナービード
天井見切縁
点検口
収納・収納家具
消火器ボックス
ステンレス洗し台
コンロ台
吊戸棚
水切器
くつみきマット
旗竿
旗竿受金物
フェンス
敷地境界線
止水板
屋外雨水排水管
鉄製マンホールふた
グレーチング
垣裏土
路床
路盤

22 舗装工事
3 アスファルト舗装 (22.4.4)
4 コンクリート舗装 (22.4.5)
5 ブロック舗装 (22.4.6)
6 車止め (22.4.7)
7 区画線等 (22.4.8)
23 植栽及び屋上緑化工事
1 植栽地の確保等 (23.1.3)
2 植栽基盤の整備 (23.2.2)
3 植込み用土 (23.2.3)
4 土壌改良材 (23.2.3)
5 芝 (23.4.2)
6 樹木札 (23.4.2)
7 枯損樹木などの撤去 (23.4.2)
8 その他 (23.4.2)

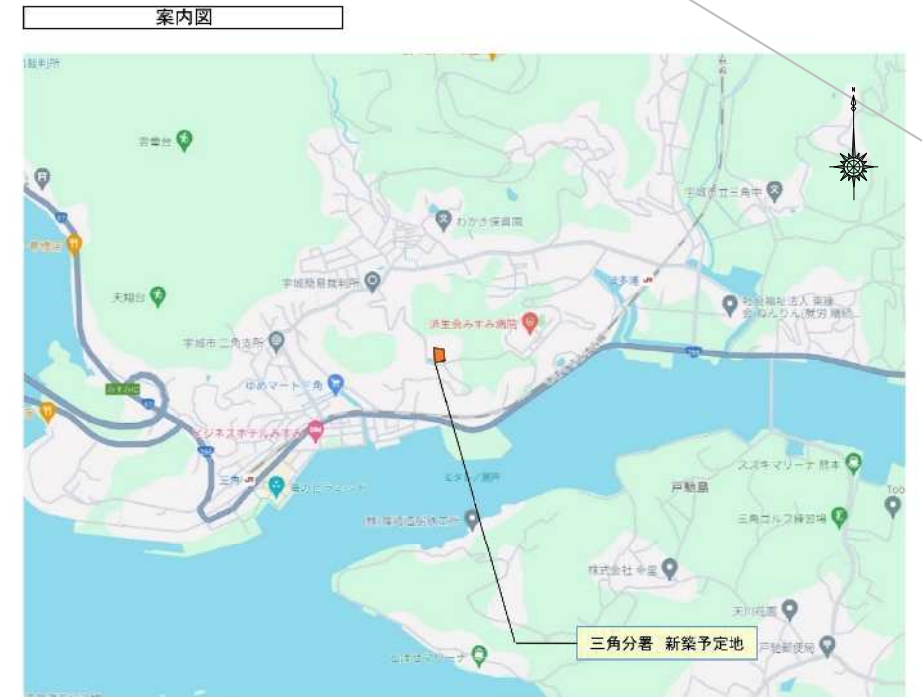
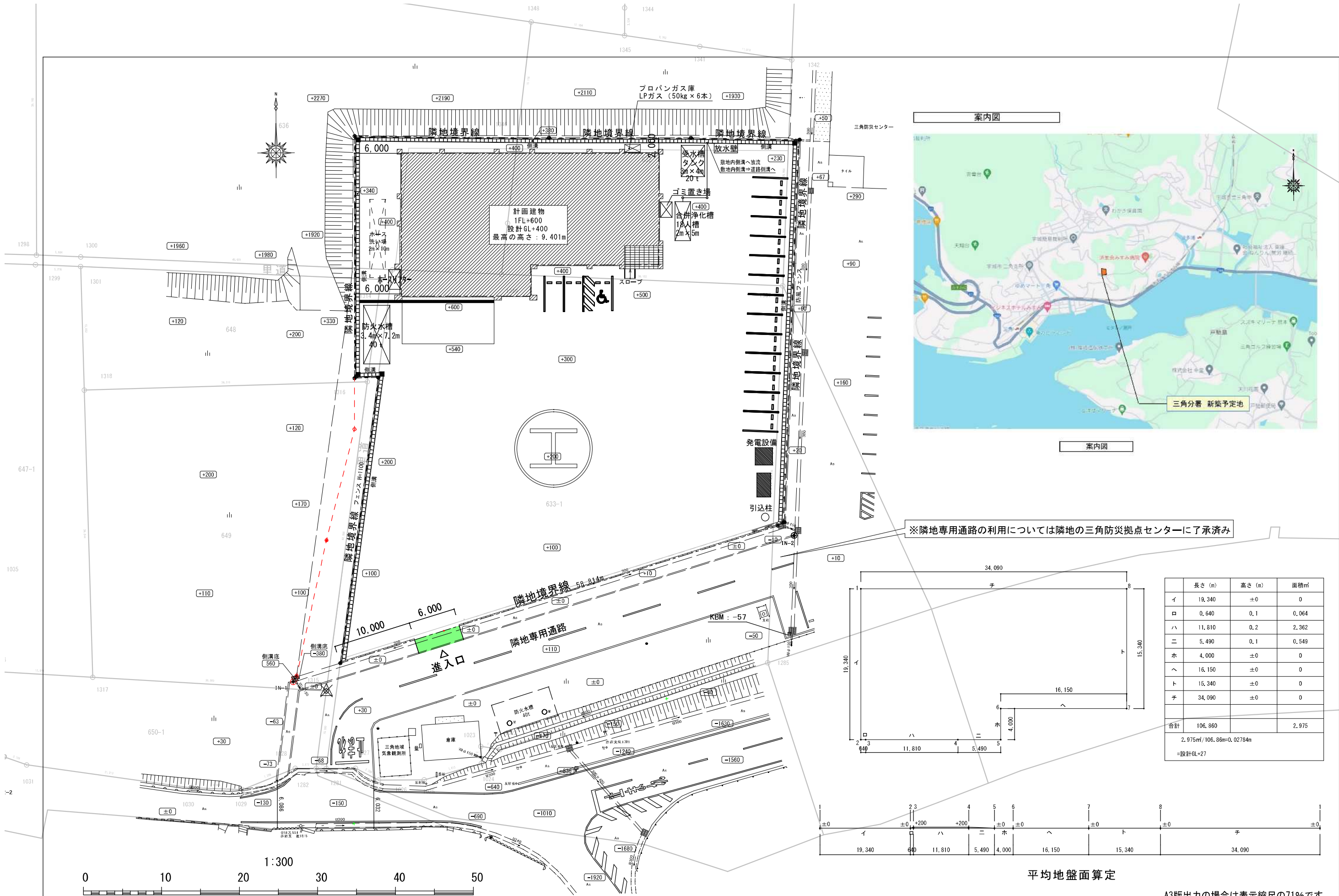
アスファルト舗装
コンクリート舗装
ブロック舗装
車止め
区画線等
植栽及び屋上緑化工事
植栽地の確保等
植栽基盤の整備
植込み用土
土壌改良材
芝
樹木札
枯損樹木などの撤去
その他
電気設備工事
電気関係
配線関係
電気設備関係

宇城広域連合建築工事特記仕様書

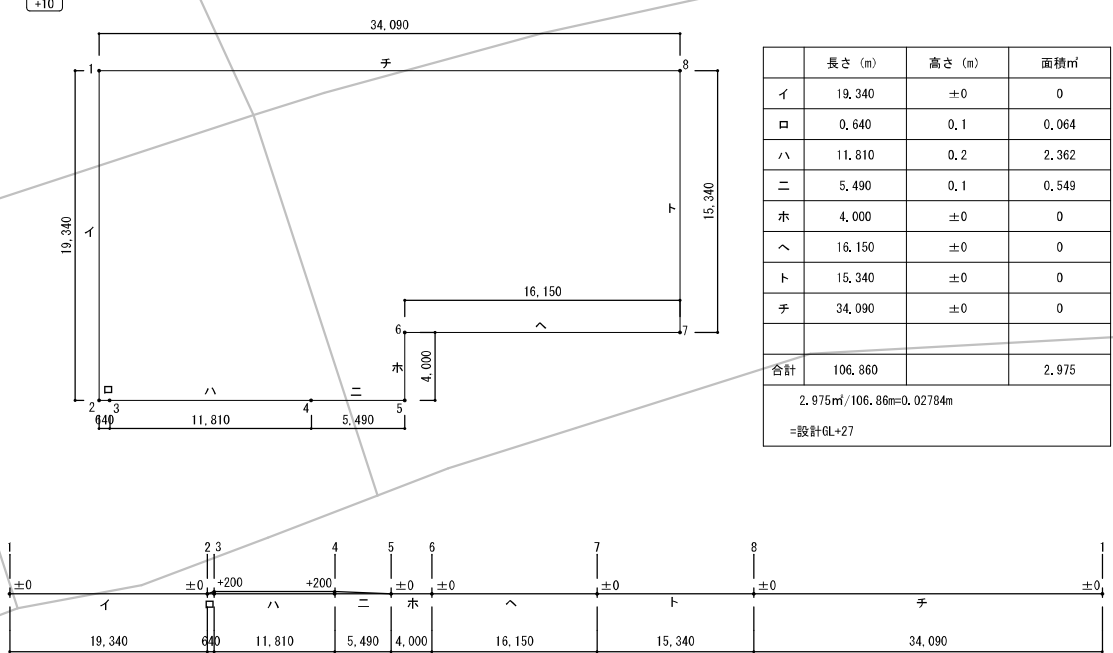
宇城広域連合

建築士事務所 熊本県 知事登録 3266 号
設計者氏名 1級建築士 大臣 登録第 241080 号
富田真一 印

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事
図面名称 建築工事特記仕様書 (その6)
図面番号 A-7



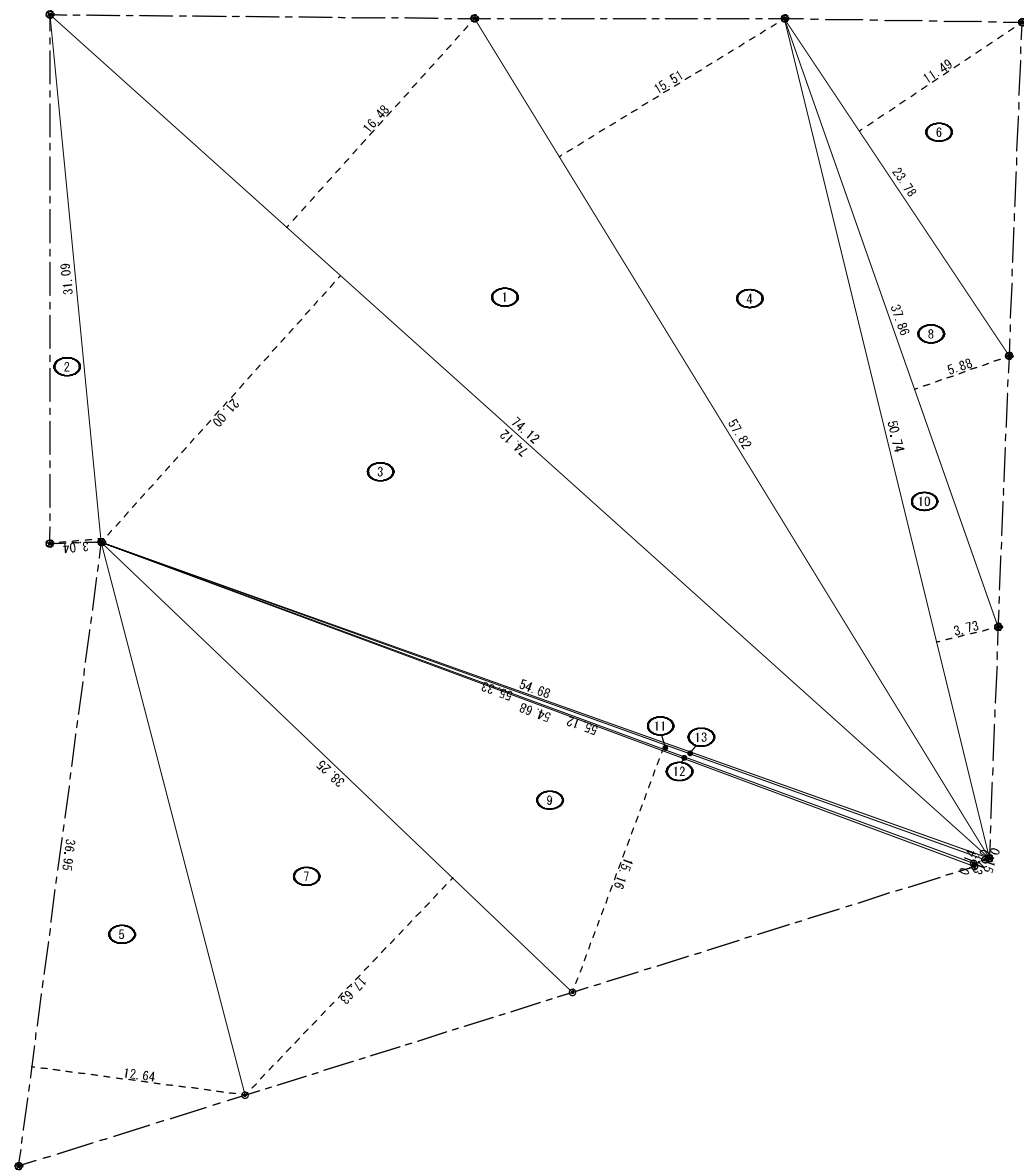
※隣地専用通路の利用については隣地の三角防災拠点センターに了承済み



平均地盤面算定

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

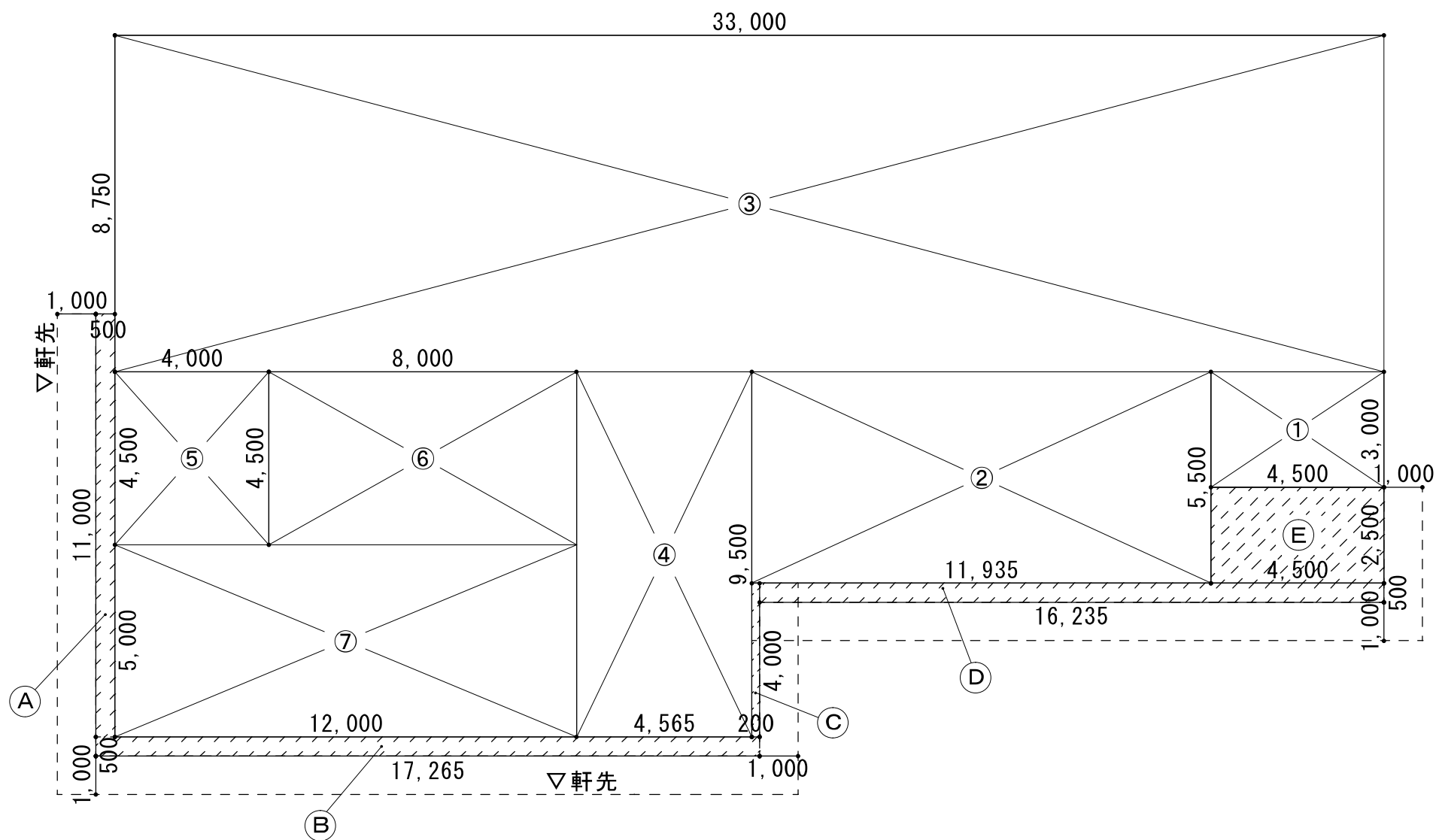
工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	配置図・案内図	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本市宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 TEL 0964-52-3204	No. A-9
					図番	1/300					



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	74.12	16.48	1,221.4976	610.74880
2	31.09	3.04	94.5136	47.25680
3	74.12	21.00	1,556.5200	778.26000
4	57.82	15.51	896.7882	448.39410
5	36.95	12.64	467.0480	233.52400
6	23.78	11.49	273.2322	136.61610
7	38.25	17.63	674.3475	337.17375
8	37.96	5.88	222.6168	111.30840
9	54.68	15.16	828.9488	414.47440
10	50.74	3.73	189.2602	94.63010
11	55.12	0.43	23.7016	11.85080
12	54.68	0.14	7.6552	3.82760
13	55.33	0.15	8.2995	4.14975
合計				3,232.21460
敷地面積				3,232.21 m ²

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	スケール 1/300	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-10
		敷地求積図	図番							

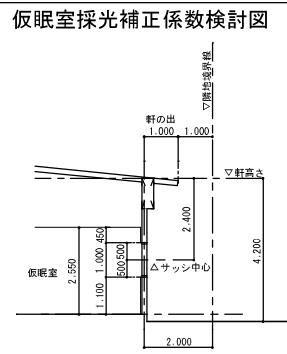


求積表				
符号	計算式	合計	総計	
①	4,500 * 3,000	13,500㎡	525.26㎡ 床面積：525.26㎡	
②	11,935 * 5,500	65,642.5㎡		
③	33,000 * 8,750	288,750㎡		
④	4,565 * 9,500	43,367.5㎡		
⑤	4,000 * 4,500	18,000㎡		
⑥	8,000 * 4,500	36,000㎡		
⑦	12,000 * 5,000	60,000㎡		
A	0,500 * 11,000	5,500.0㎡		
B	17,265 * 0,500	8,632.5㎡		
C	0,200 * 4,000	0,800.0㎡		
D	16,235 * 0,500	8,117.5㎡		
E	4,500 * 2,500	11,250.0㎡		
建築面積	①～⑦+A～E	559.56㎡		559.56㎡ 建築面積：559.56㎡
延べ床面積	①～⑦	525.26㎡		525.26㎡

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

■ 法チェックリスト ■

階	室名	床面積計算式	A: 床面積合計	必要面積			実質面積計算式	実質面積	建具記号
1階	ホール	2.5×6.5	16.2500	L: 採光			—		
	CH=2700			V: 換気			—		
	HWC	2.0×2.5	5.0000	S: 排煙			—		
	CH=2550			L: 採光			—		
	MWC①	2.0×4.0	8.0000	V: 換気			—		
	CH=2550			S: 排煙			—		
	事務所・相談室 文書保管スペース 多目的研修室	14.0×5.5+6.5×3.5+2.5×2.9	107.0000	L: 採光	1/20	5.35	(1.70×1.00×3) *3=15.30	15.30	AW-1
	CH=2700			V: 換気	1/20	5.35	(0.85×1.0×3) + (0.85×0.56×6) =5.40	5.40	AW-1
	食堂・ミーティング	8.65×5.25	45.4125	S: 排煙	1/50	2.14	(0.85×0.56×6) =2.85	2.85	AW-1
	CH=2700			L: 採光	1/20	2.27	(1.70×1.00) *3=5.10	5.10	AW-1
	洗面・洗濯室	2.55×3.0+1.0×2.53+1.8×1.53	12.9340	V: 換気	1/20	2.27	(0.85×1.0×1) + (0.85×0.56×2) + (0.80×2.00) =3.40	3.40	AW-1
	CH=2550			S: 排煙	1/50	0.90	(0.85×0.56×2) + (0.80×0.56×1) =1.40	1.50	AW-1
	仮眠室1~8	2.0×3.5	7.0000	L: 採光	1/20	0.35	(0.60×1.00×3) =1.8	1.80	AW-2
	CH=2550			V: 換気	1/20	0.35	0.60×1.00=0.60	0.60	AW-2
	W仮眠室	3.5×2.0+1.0×1.7	9.110	S: 排煙	1/50	0.14	0.60×0.45=0.27	0.27	AW-2
	CH=2550			L: 採光	1/20	0.45	(0.60×1.00×3) =1.8	1.80	AW-2
	WC (W仮眠室)	1.0×1.8	1.8000	V: 換気	1/20	0.45	0.60×1.00=0.60	0.60	AW-2
	CH=2550			S: 排煙	1/50	0.18	0.60×0.45=0.27	0.27	AW-2
	洗面・脱衣室 (W仮眠室)	2.0×1.9	3.8000	L: 採光			—		
	CH=2550			V: 換気			—		
屋内訓練室	8.0×3.5	28.0000	S: 排煙			—			
CH=2550			L: 採光	1/20	1.40	(1.70×1.00) *3=5.1	2.04	AW-1	
MWC②	2.0×3.5	7.0000	V: 換気	1/20	1.40	(0.85×1.00×2) =1.70	1.70	AW-1	
CH=2550			S: 排煙	1/50	0.56	(0.85×0.56×4) =1.90	1.90	AW-1	
廊下	1.75×24.35+1.5×3.5	47.8625	L: 採光			—			
CH=2550			V: 換気			—			
出動準備室	10.0×3.5	35.0000	S: 排煙			—			
CH=2700			L: 採光			—			
救急資器材庫	2.5×5.5	13.7500	V: 換気			—			
CH=2700			S: 排煙			—			
救急資器材消毒乾燥室	5.0×4.0	18.2600	L: 採光	1/20	0.91	(0.60×1.00×3) *2=3.6	3.60	AW-2	
CH=2700			V: 換気	1/20	0.91	0.60×1.00×2=1.2	1.20	AW-2	
消防車庫	8.0×9.5+4.0×5.0	96.0000	S: 排煙	1/50	0.36	0.60×0.45×2=0.54	0.54	AW-2	
-			L: 採光			—			
消防資器材庫	2.0×3.0+2.0×4.5	15.0000	V: 換気			—			
-			S: 排煙			—			
油庫	2.0×1.5	3.0000	L: 採光			—			
-			V: 換気			—			
-			S: 排煙			—			



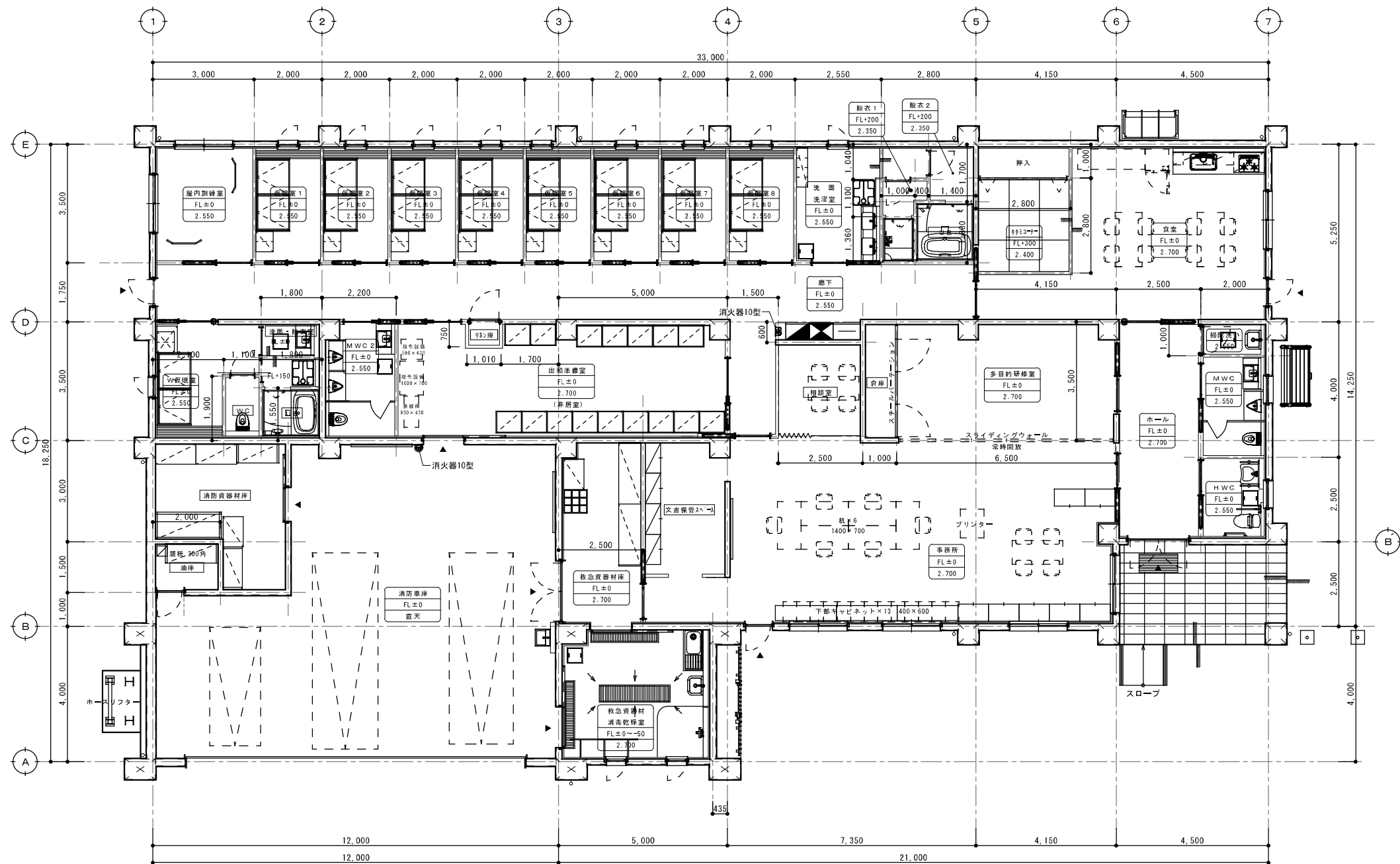
(1000/2400) × 10 - 1 = 3.16
3.16 > 3.00
採光補正係数: 3.00

消防法上 有窓階・無窓階 の 検討

消防用設備と設置基準

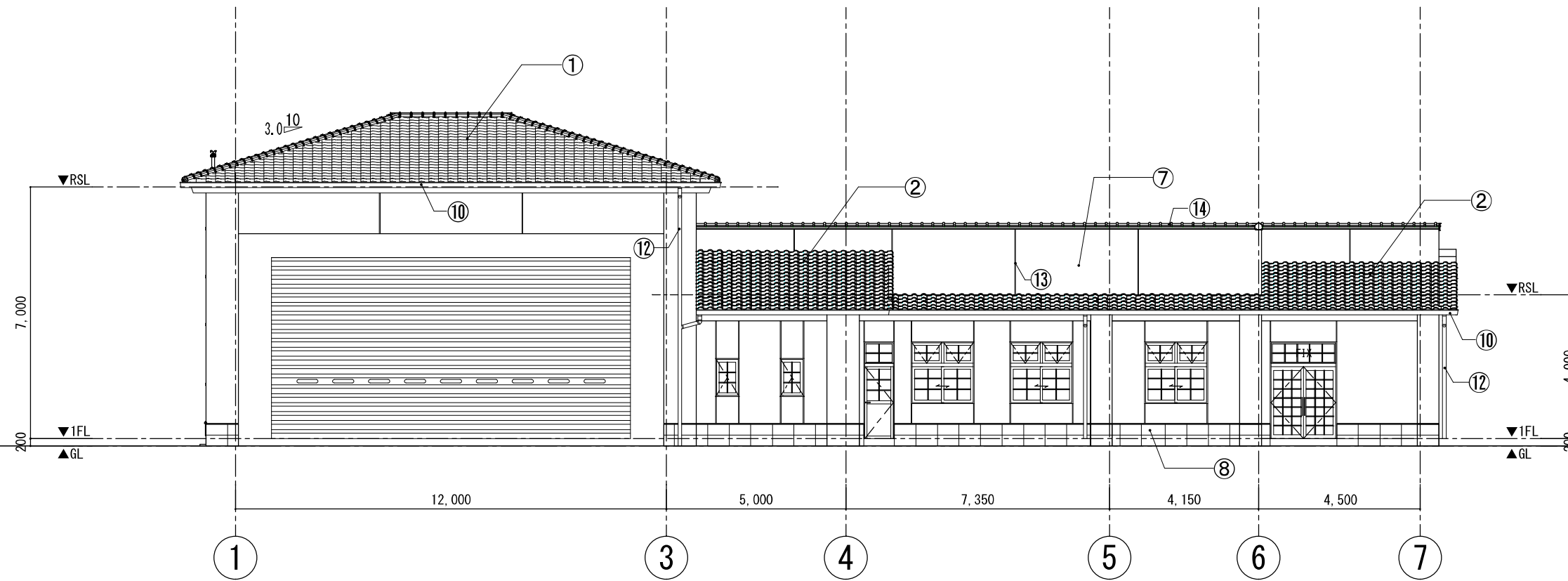
階	当該階の床面積計算	計	1/30	建具符号	開口面積	有効開口面積	判定	1. 消火器	2. 誘導灯・誘導標識	4. 自動火災報知設備	5. 屋内消火栓設備	6. 屋外消火栓設備
1	建物求積図参照	525.26㎡	17.50㎡	建具表参照	AD-1 1.80×2.00=3.6㎡ AD-2・AD-3 0.80×2.00×3=4.8㎡ AW-1 1.70×1.00×3=5.1 AW-1 (1.70×1.00/2) ×3=2.55 AW-3 1.70×1.00=1.70	3.6+4.8+5.1+2.55 +1.70=17.75㎡	有窓階	■ 使用 □ 無し 延床面積 150㎡ 以上	□ 使用 ■ 無し	□ 使用 ■ 無し 延床面積 1000㎡ 以上	□ 使用 ■ 無し 延床面積 1000㎡ 以上	□ 使用 ■ 無し 延床面積 3000㎡ 以上

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

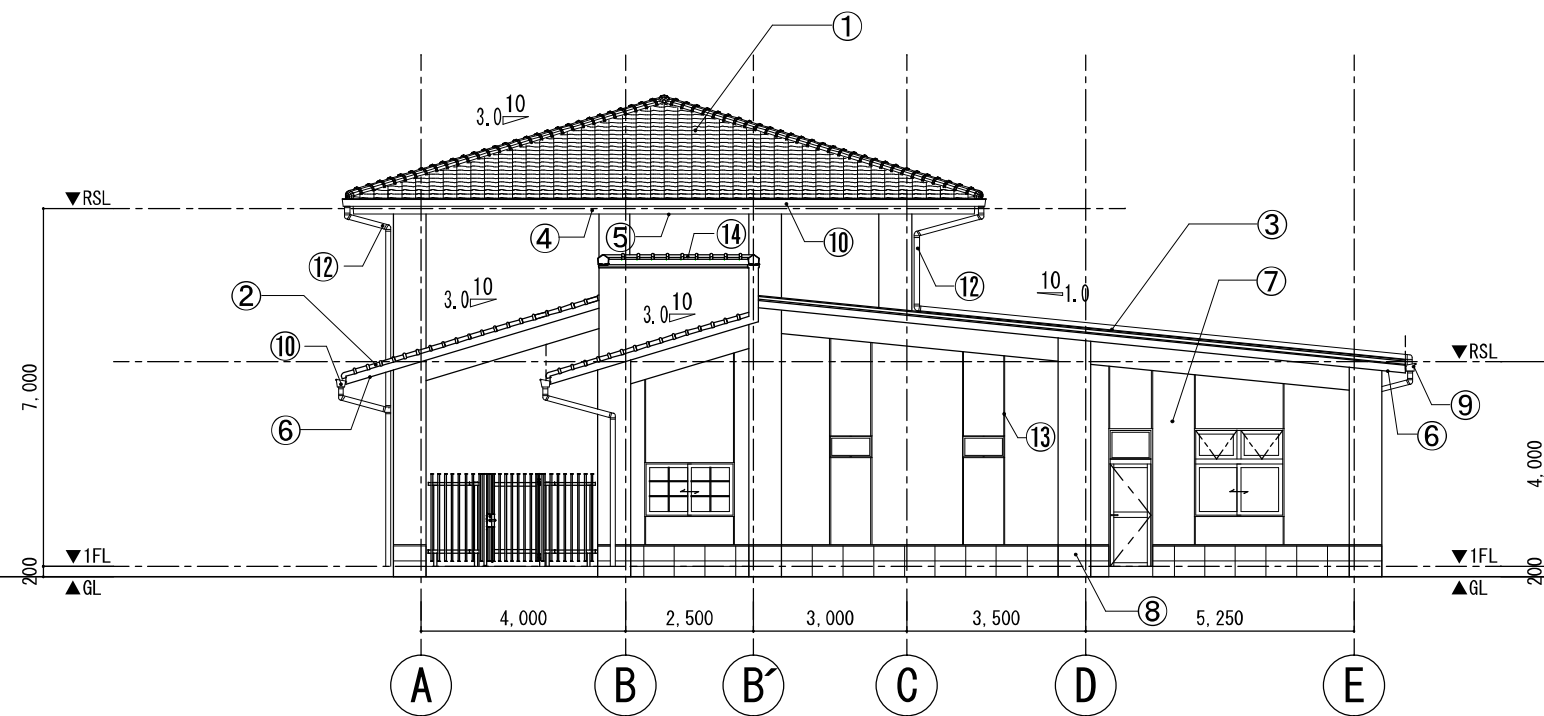


A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	平面図	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-13
		図番					1/100				




南立面図 1/100

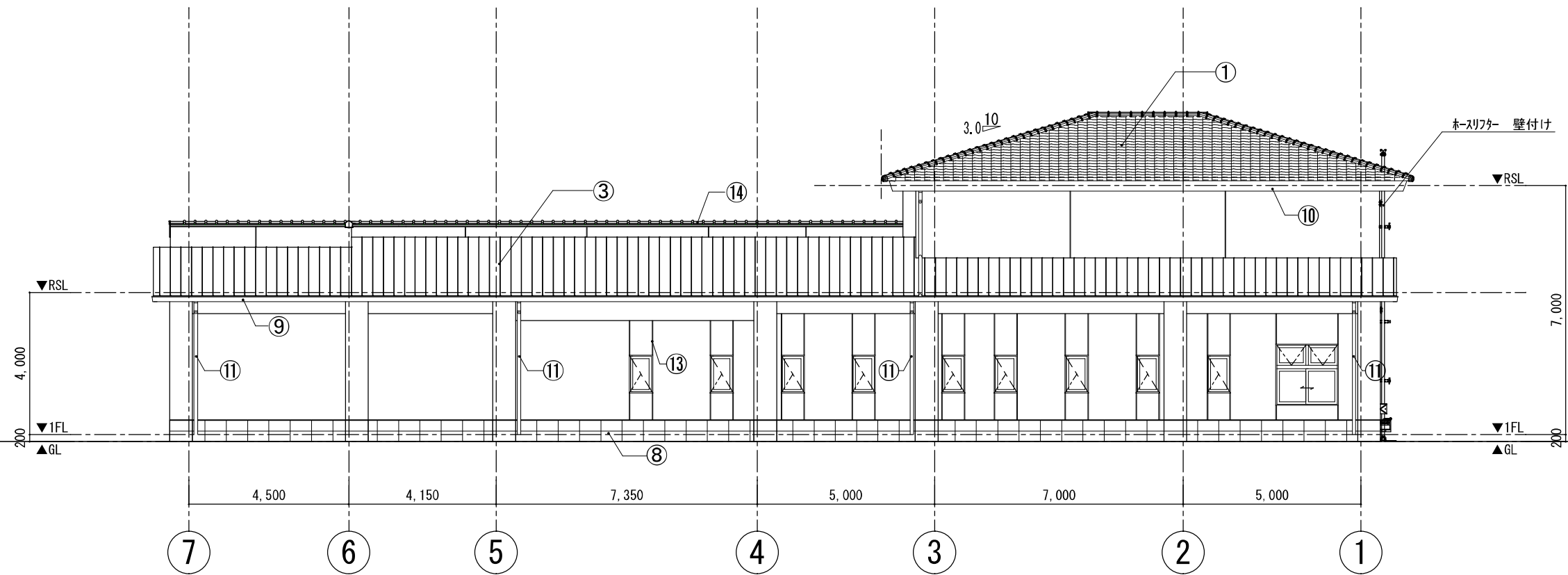


東立面図 1/100

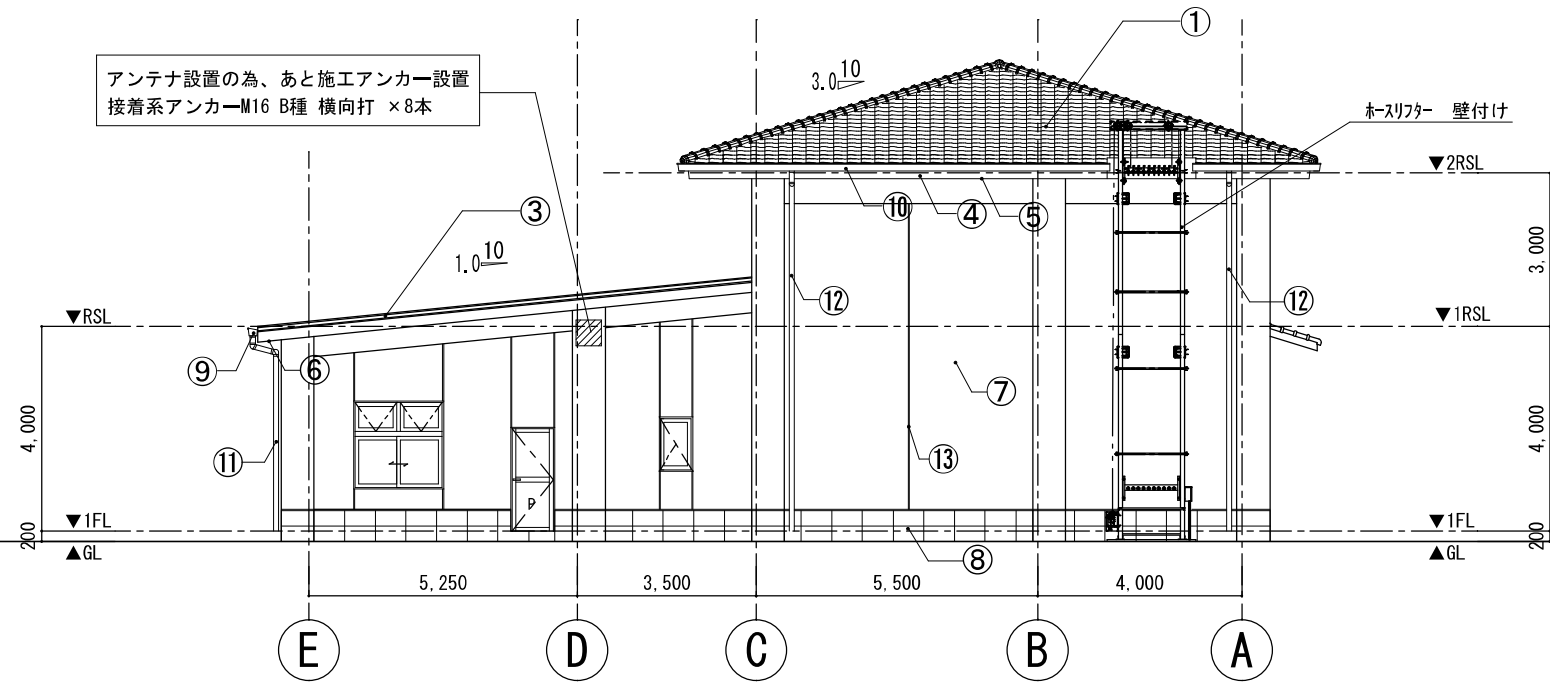
外部仕上凡例	
符号	
①	屋根A 耐火野地板 t=18+合成ゴム75x75x10(接着剤) 下地三州燻瓦葺き刷毛土撥水材塗布
②	屋根B コンクリート金ざり仕上げ上合成ゴム75x75x10(接着剤) 下地三州燻瓦葺き刷毛土撥水材塗布
③	屋根C コンクリート金ざり仕上げ上合成ゴム75x75x10(接着剤) 下地 t=0.5 フッ素樹脂塗装鋼板(ガル) 立平葺き
④	軒先 サイディング張り t=18
⑤	軒裏A 防火板 t=12(20%以上を防火有孔板とする)の上EP-G塗装
⑥	軒裏B コンクリート打放(A種) 下地補修の上低汚染ふっ素樹脂系多量低圧性装飾仕上塗材 75x75仕上げ
⑦	外壁 コンクリート打放(A種) 下地補修の上低汚染ふっ素樹脂系多量低圧性装飾仕上塗材 75x75仕上げ
⑧	巾木 御影石貼り 300x600 t=13 H=600(ジェットバーナー仕上げ)
⑨	軒樋① 杉-塩ビ前高150x40 スパン吊り金物・100φ用ドレン共
⑩	軒樋② 杉-塩ビ前高120x40 スパン吊り金物・75φ用ドレン共
⑪	壁樋① カラー塩ビ100φ 摺り金物共
⑫	壁樋② カラー塩ビ75φ 摺り金物共
⑬	ひび割れ誘発目地 シーリング(MS-2) 10x20
⑭	パラペット立上り 七寸冠燻瓦

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	立面図1	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-14
		図番				1/100	1級建築士 241080号				




北立面図 1/100

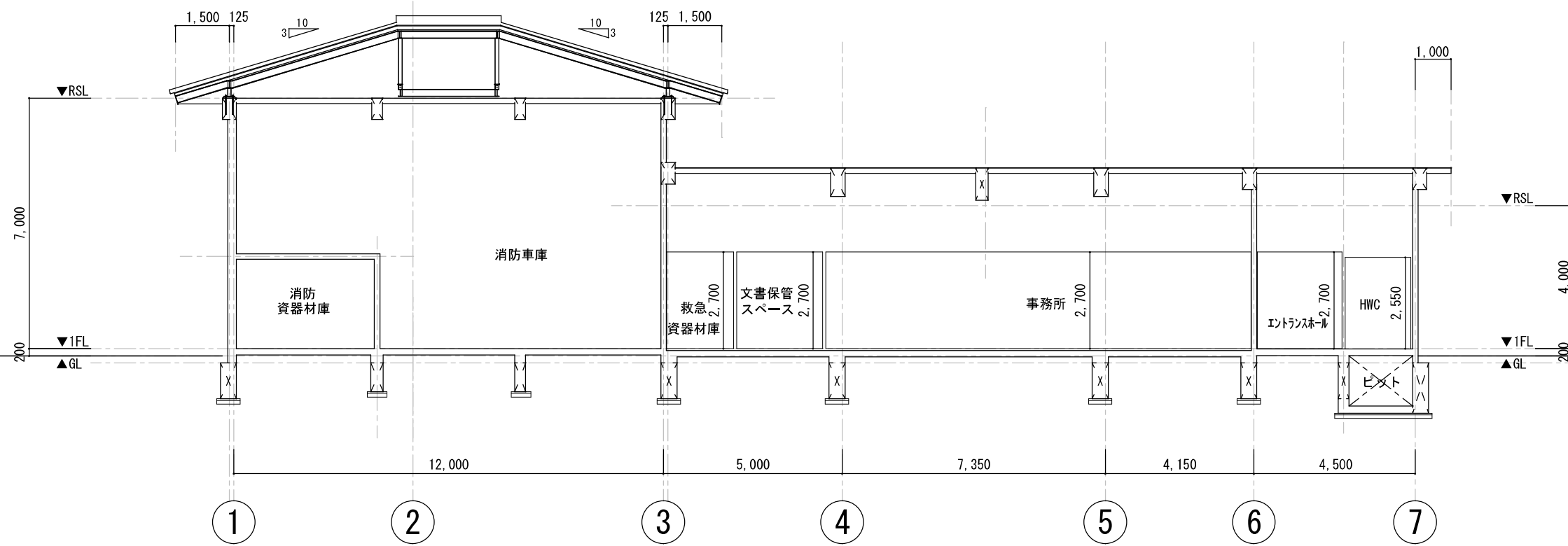


西立面図 1/100

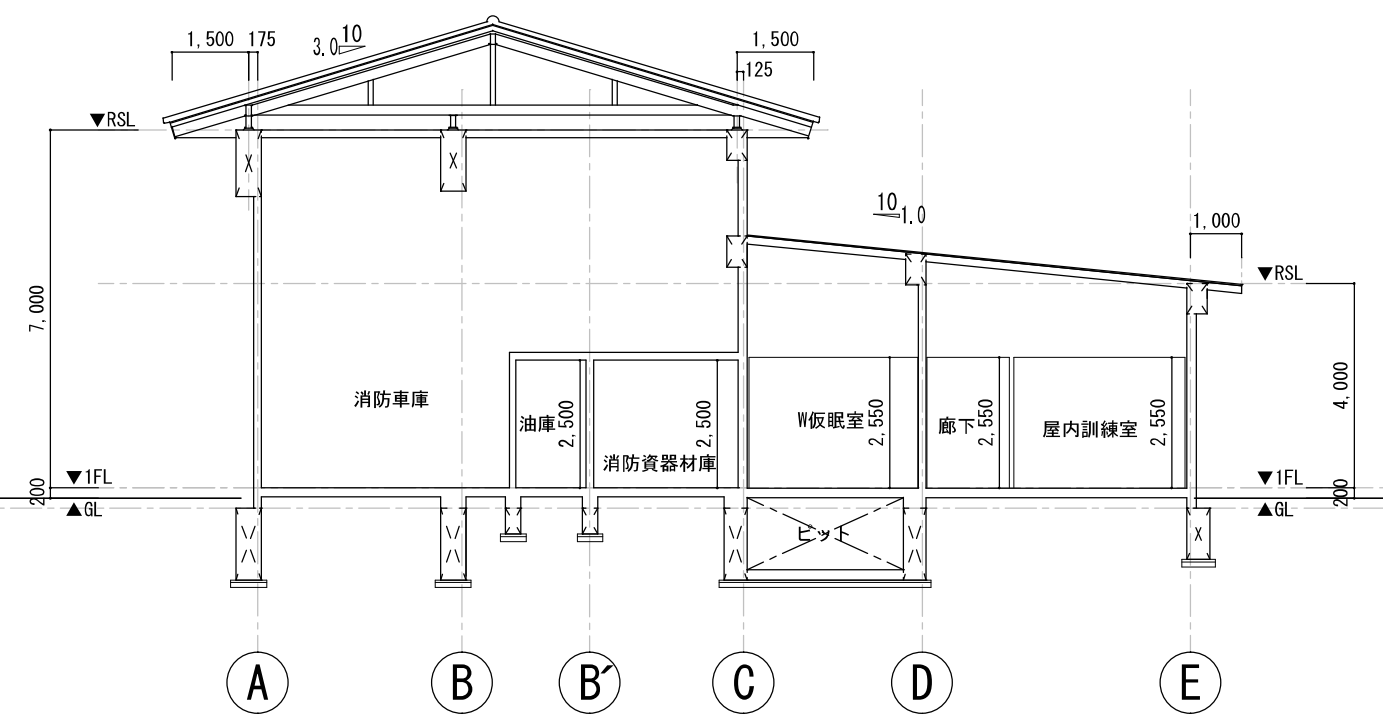
外部仕上凡例	
符号	
①	屋根A 耐火野地板 t=18+合成ゴ-ム75μ-フィンク (接着タイプ) 下地三州燻瓦葺き刷毛土撥水材塗布
②	屋根B コンクリート金ゴ-テ仕上げ上 合成ゴ-ム75μ-フィンク (接着タイプ) 下地三州燻瓦葺き刷毛土撥水材塗布
③	屋根C コンクリート金ゴ-テ仕上げ上 合成ゴ-ム75μ-フィンク (接着タイプ) 下地 t=0.5 フッ素樹脂塗装鋼板 (カラー) 立平葺き
④	軒先 サイディング張り t=18
⑤	軒裏A 防火板 t=12 (20%以上を防火有孔板とする) の上EP-6塗装
⑥	軒裏B コンクリート打放 (A種) 下地補修の上低汚染ふっ素樹脂系多量低汚染性装飾仕上塗材 フラット仕上
⑦	外壁 コンクリート打放 (A種) 下地補修の上低汚染ふっ素樹脂系多量低汚染性装飾仕上塗材 フラット仕上
⑧	巾木 御影石貼り 300×600 t=13 H=600 (ジェットバーナー仕上げ)
⑨	軒樋① カラー塩ビ前高150タイプ スパン吊り金物・100φ用ドレン共
⑩	軒樋② カラー塩ビ前高120タイプ スパン吊り金物・75φ用ドレン共
⑪	壁樋① カラー塩ビ100φ 掘込み金物共
⑫	壁樋② カラー塩ビ75φ 掘込み金物共
⑬	ひび割れ誘発目地 シーリング (MS-2) 10×20
⑭	パラペット立上り 七寸冠燻瓦

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

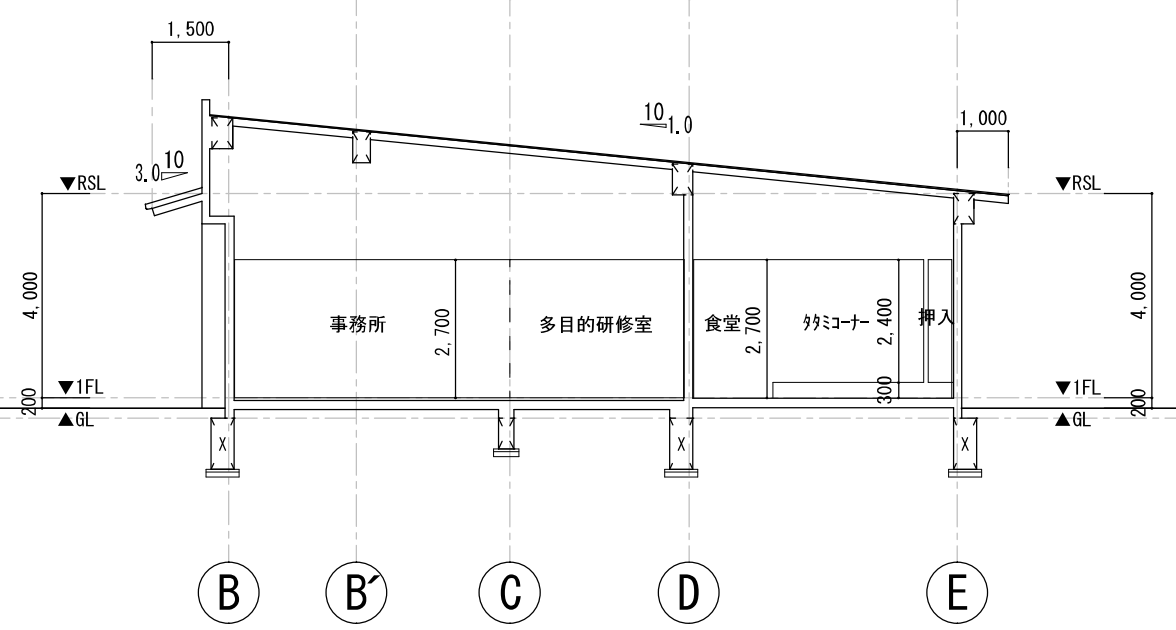
工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	立面図2	スケール 1/100	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-15
					図番						



B~C間断面図 1/100



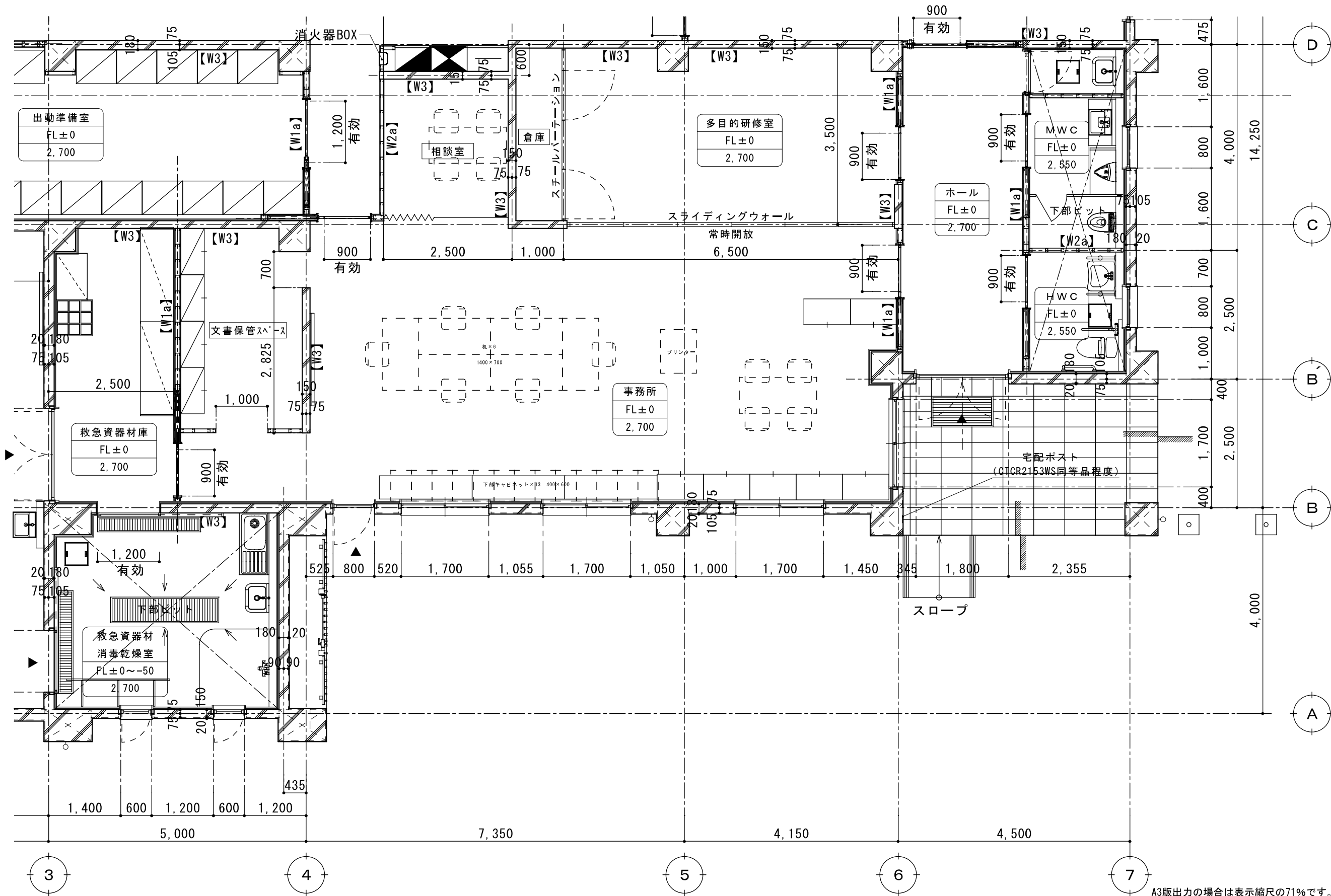
①~②間断面図 1/100



⑤~⑥間断面図 1/100

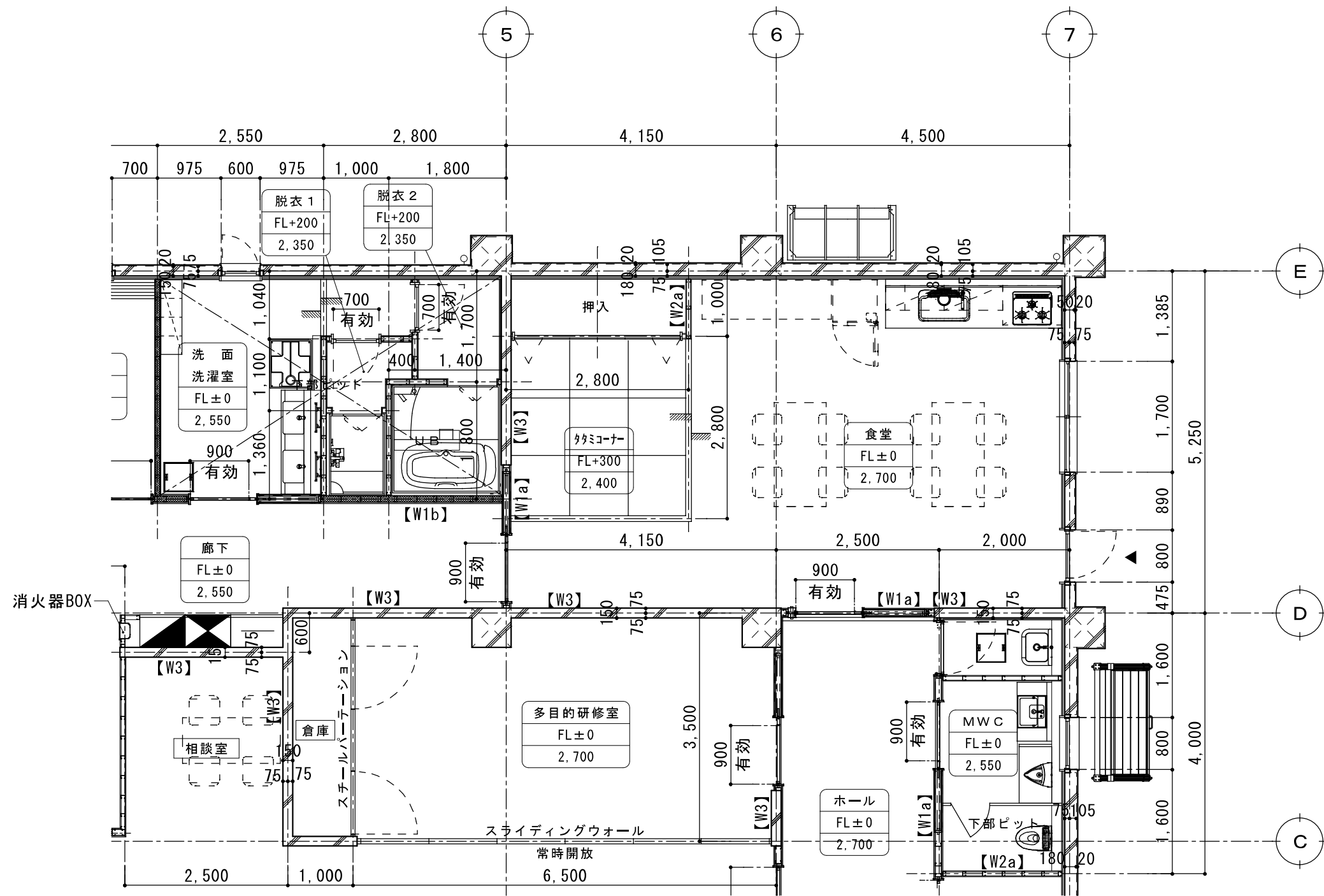
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	断面図	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-16
		図番	1/100	1級建築士 241080号							




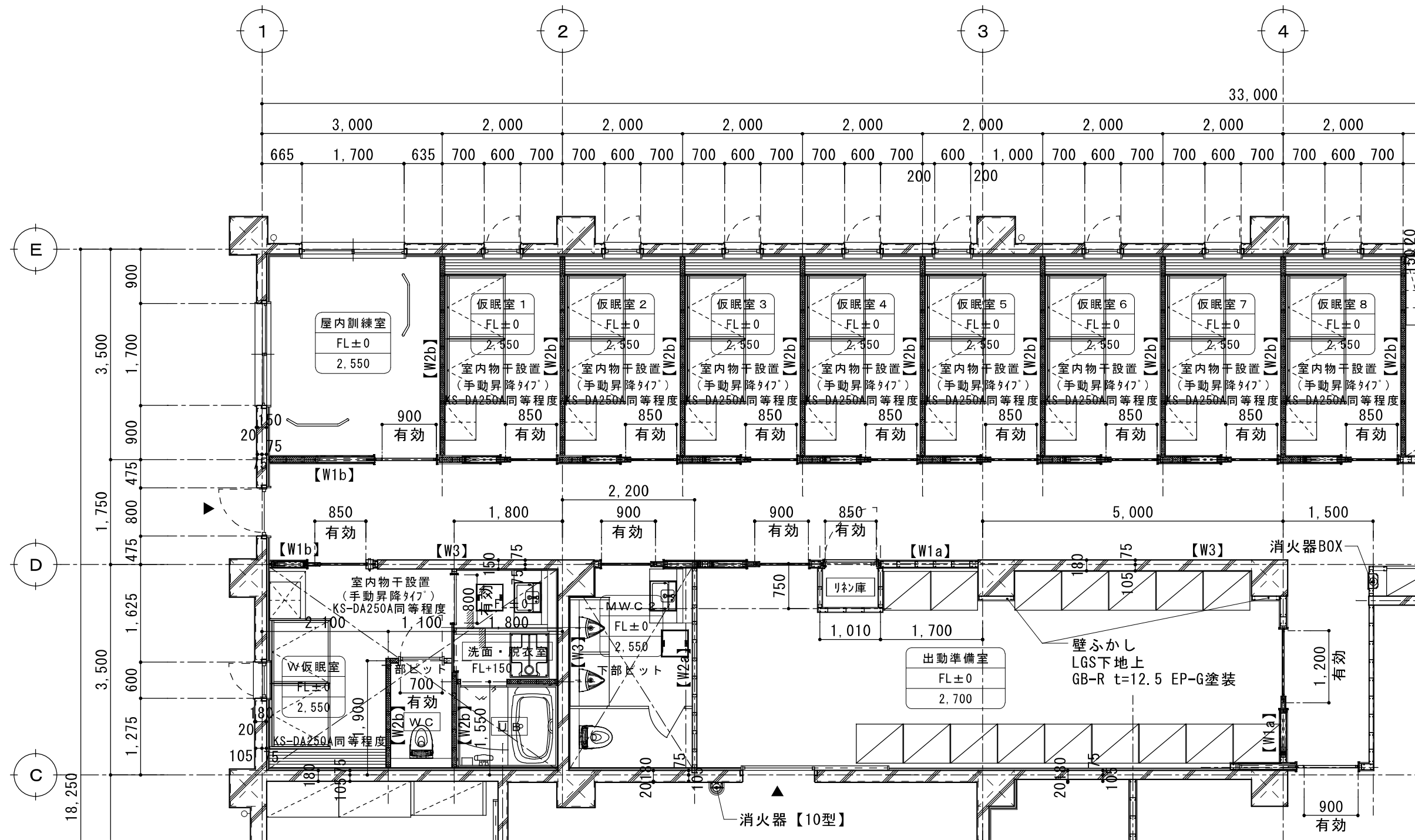
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-17
					平面詳細図1	1/100				




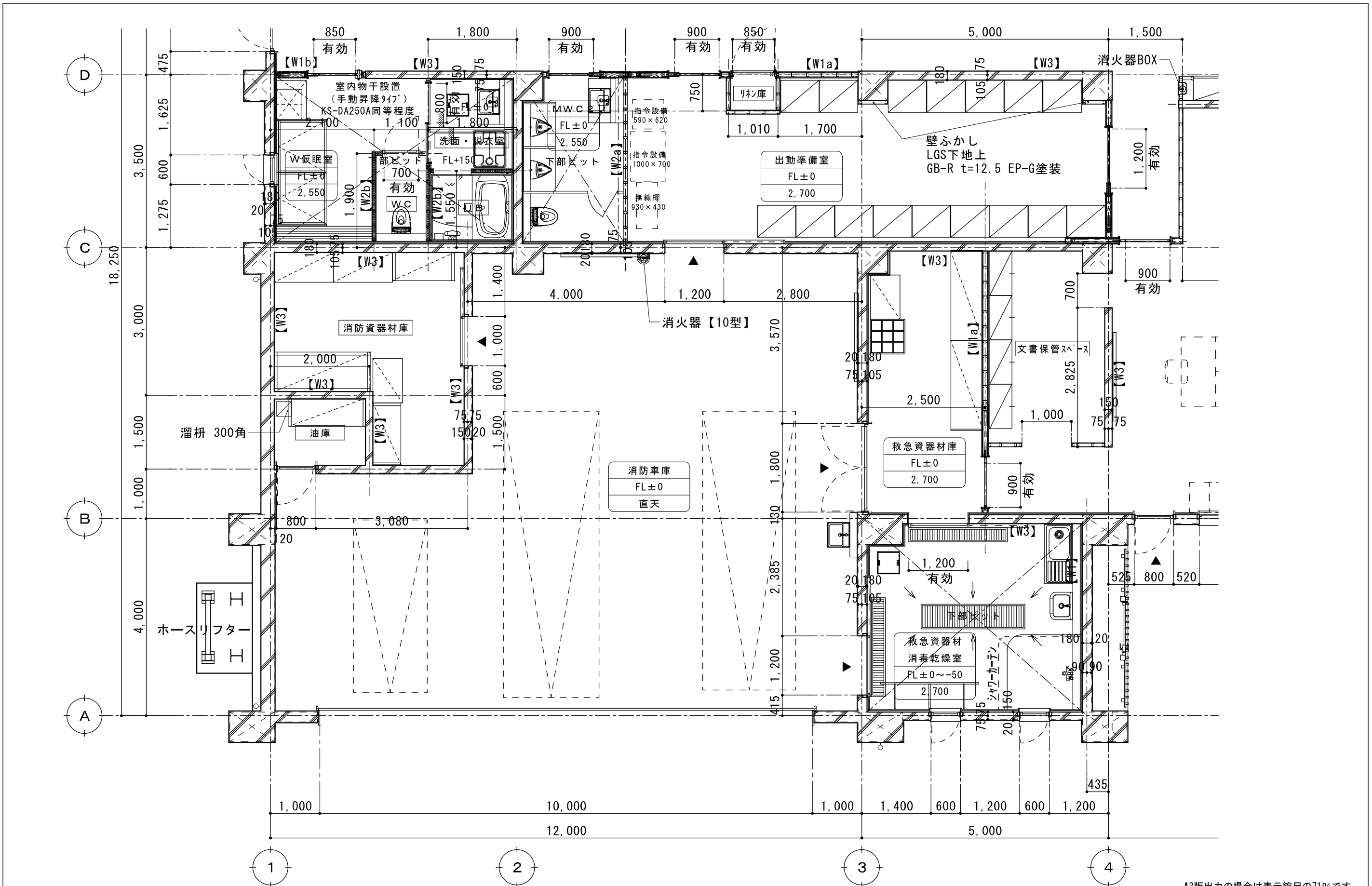
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	平面詳細図2	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-18
		図番					1/100				



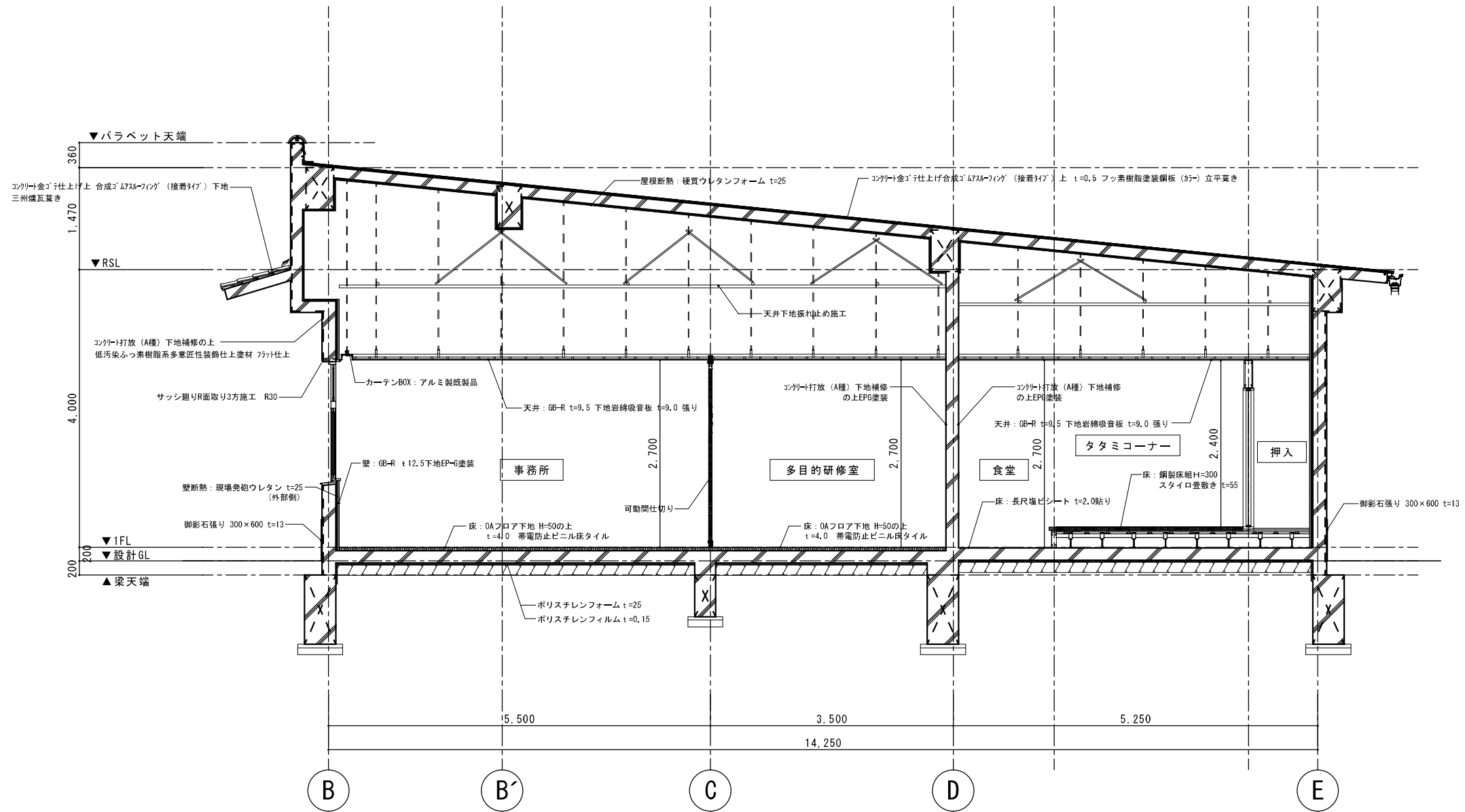
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連台南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-19
					図番	平面詳細図3	1/100			



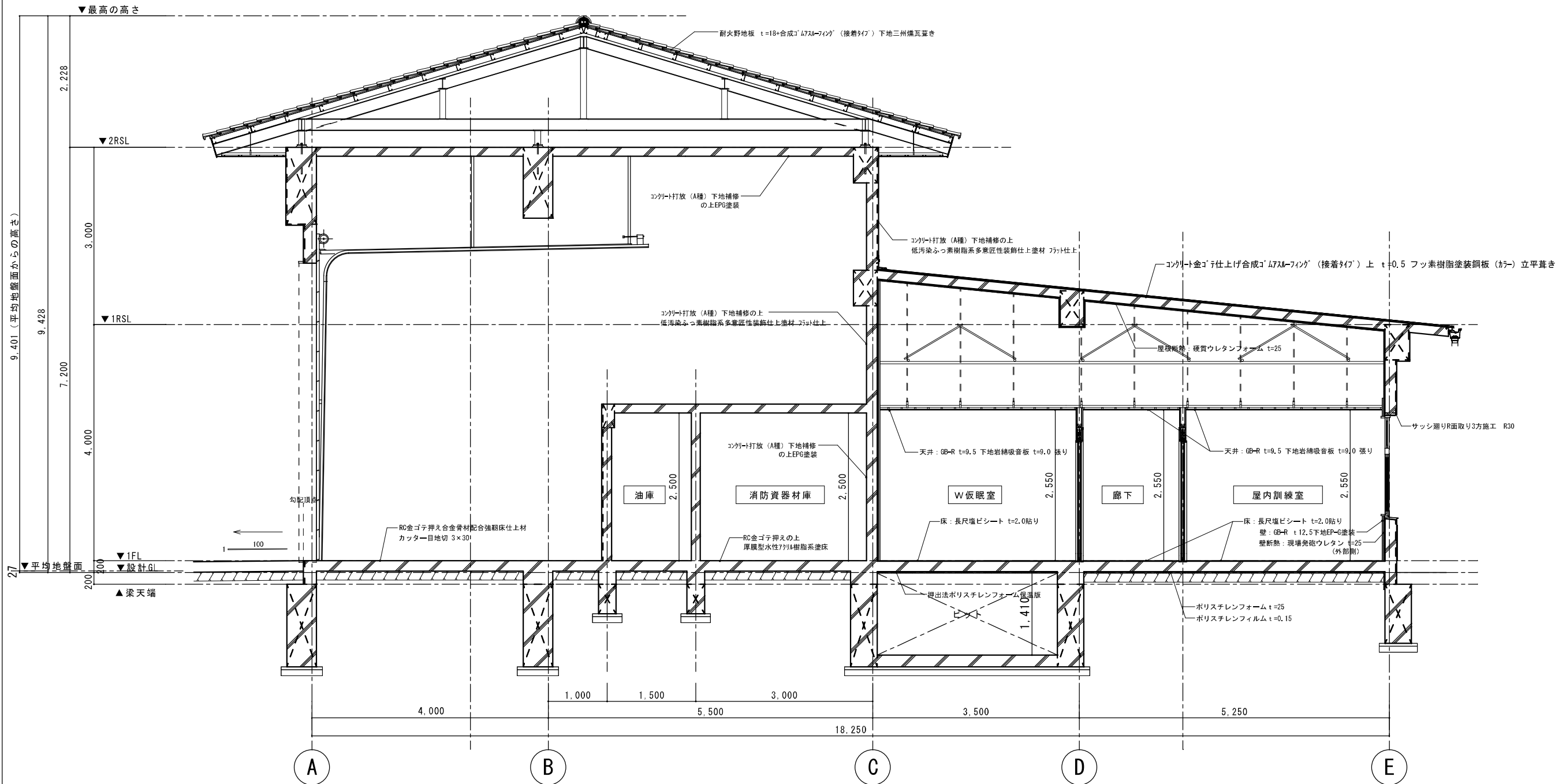
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	平面詳細図4	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-20
		図番					1/100				



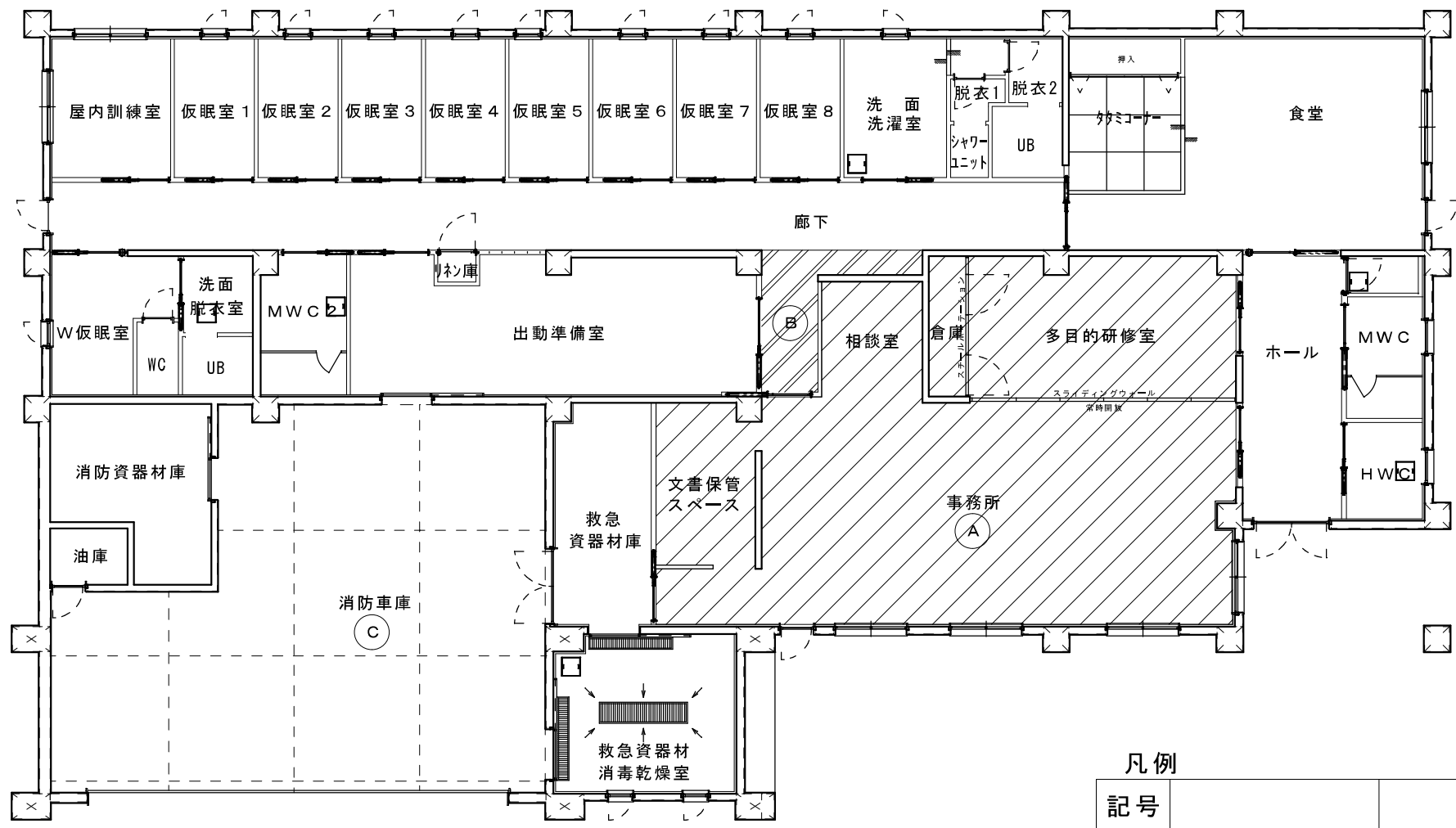
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 矩計図1	スケール 1/50	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-21
									1級建築士 241080号	



A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-22
		図番	名称	図番	名称	図番	名称			

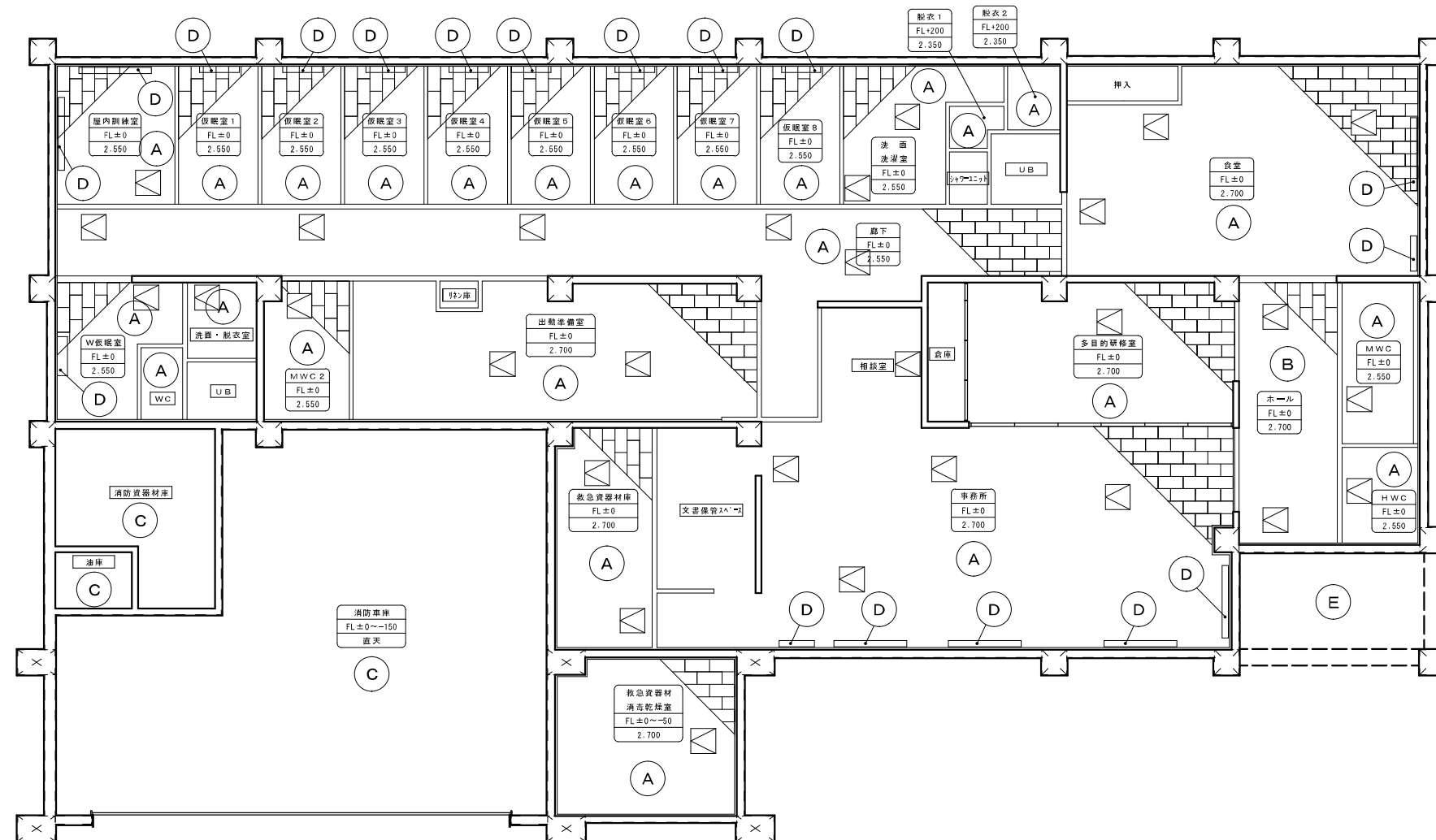


1階床伏図 1/100

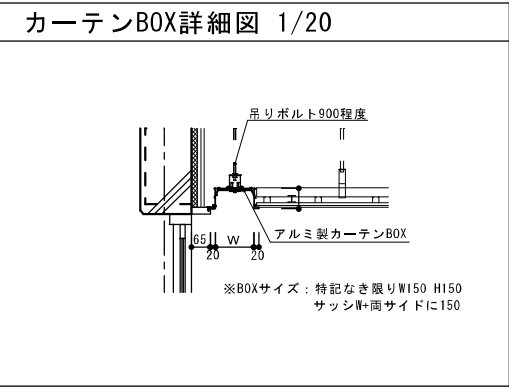
凡例

記号	下地	仕上げ
(A)	コンクリート金ゴテ押さえ	0Aフローア H=50の上 t=4.0 帯電防止ビニル床タイル
(B)	コンクリート金ゴテ押さえ	0Aフローア H=50の上 t=2.0 長尺塩ビシート
(C)	コンクリート金ゴテ押さえ	カッター目地切 3×30

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。



天井伏図 1/100

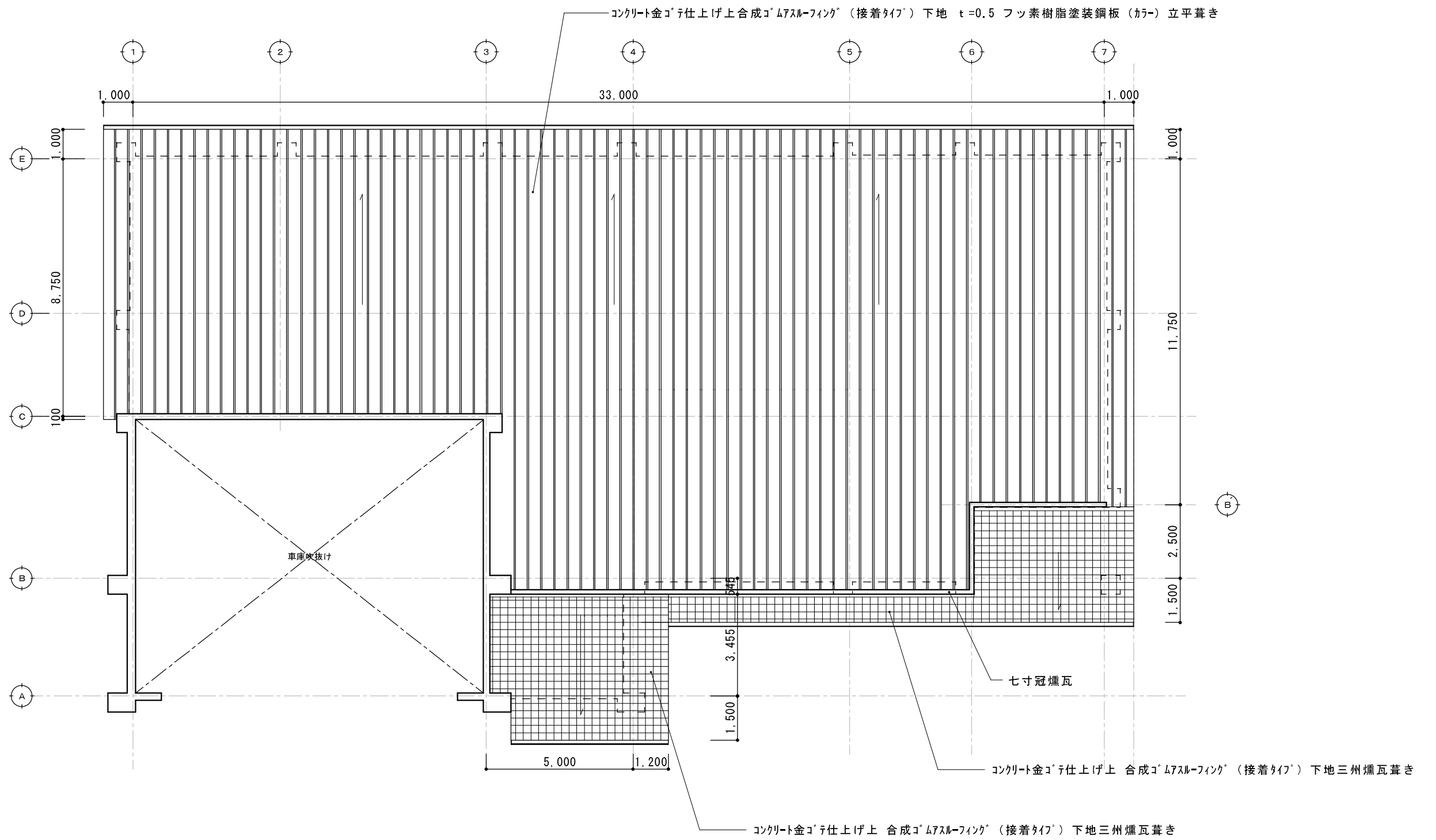


凡例	
(A)	GB-R t=9.5 下地岩綿吸音板 t=9.0 張り
(B)	GB-R t=12 下地岩綿吸音板 リブ付き t=12.0 張り
(C)	表し (RC : EP-G塗装)
(D)	カーテンBOX+遮光カーテン+レースカーテン
(E)	アルミスパンドレル t=1.3 カラー電解色

▽・・・天井点検口 600角

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

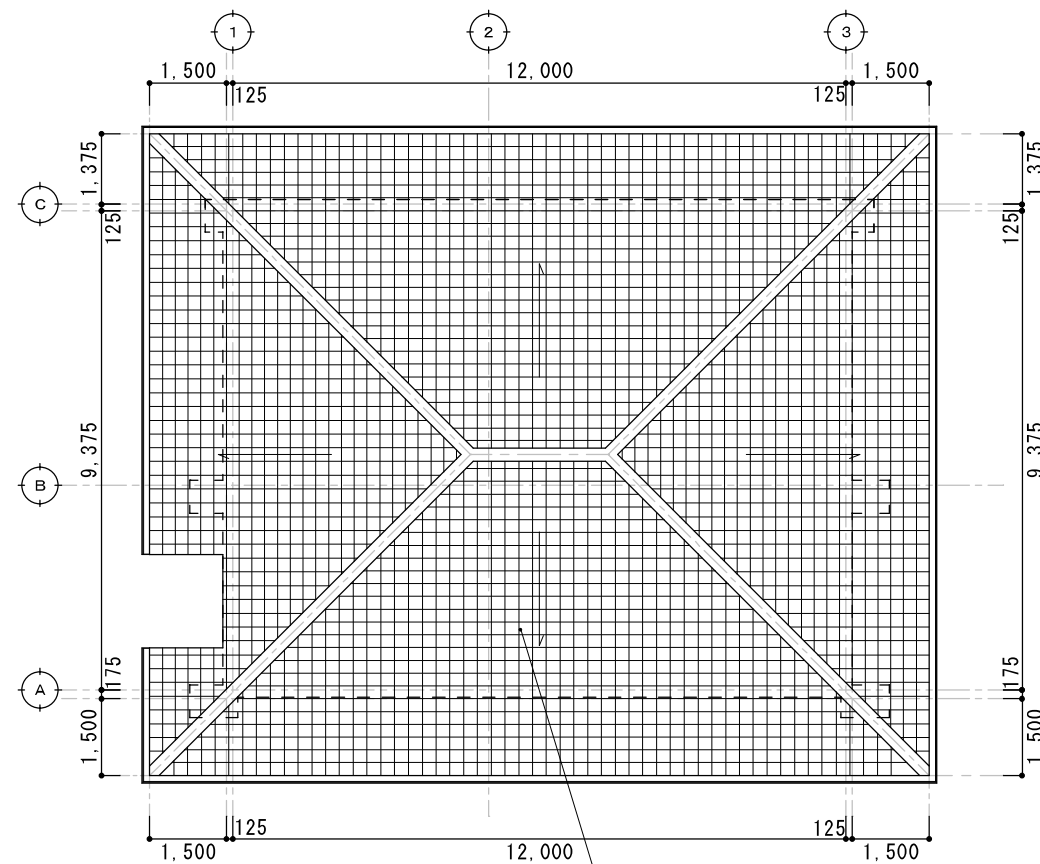
工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 天井伏図	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No.
		図番								A-24



R1階屋根伏図 1/100

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。


工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	屋根伏図1	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号	3266号	No.
					図番	1/100		1級建築士		241080号	A-25	

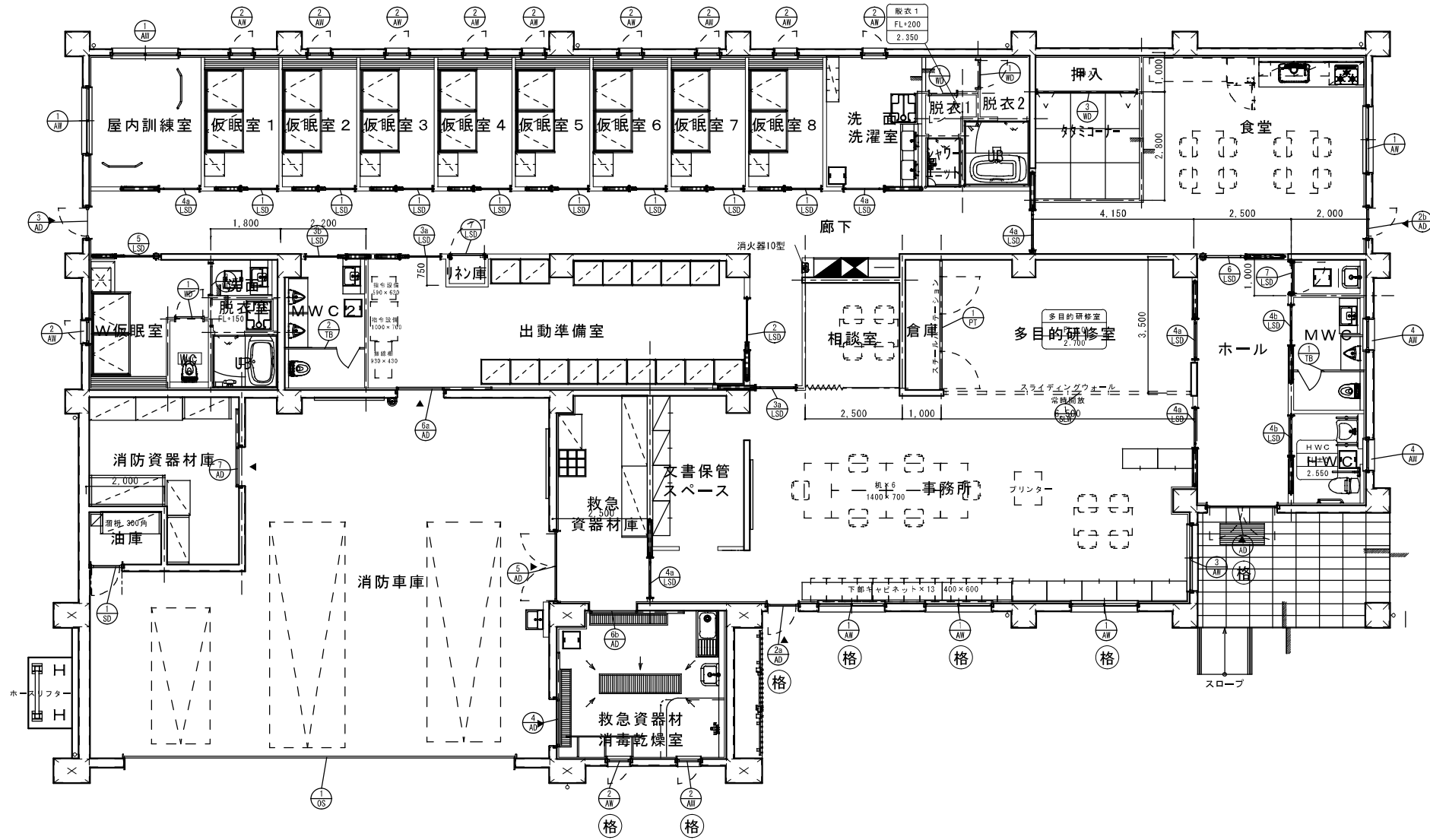


耐火野地板 t=18+合成ゴムアスル-フィンク（接着タイプ）下地三州燻瓦葺き

R2階屋根伏図 1/100


A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 屋根伏図2	スケール 1/100	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 No. A-26
					図番				



特記
 格… 格子入り複層ガラス位置を示す

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	建具キープラン	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-27
		図番				1/100		1級建築士 241080号			

符号 形式 数量	① AD	両開き扉ドア	1ヶ所	② AB	ランマ内倒し窓付開き扉ドア	1ヶ所	③ BC	ランマ内倒し窓付開き扉ドア	1ヶ所	④ CD	片開き扉ドア	1ヶ所
取付位置	玄関			事務所			食堂			廊下		
姿図												
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
金物	丁番ドアローザー×2 押棒ステン L-600 本締錠 沓摺ステン 7M額縁三方枠			丁番ドアローザー レバーハンドル錠 オペレーター装置 沓摺ステン 7M額縁三方枠			丁番ドアローザー レバーハンドル錠 オペレーター装置 沓摺ステン 7M額縁三方枠			丁番ドアローザー レバーハンドル錠 沓摺ステン 7M額縁三方枠		
硝子	FL5+A6+FL5 (格子入り複層ガラス)			FL5+A6+FL5 P-アルミパネル※南面設置の物のみ格子入り複層ガラス (1ヶ所)			FL5+A6+FL5 P-アルミパネル※南面設置の物のみ格子入り複層ガラス (1ヶ所)			FL5+A6+FL5 P-アルミパネル		
備考	引手 (UNION T8908)、電気錠						電気錠			電気錠		
符号 形式 数量	④ AD	片引き自動ドア	1ヶ所	⑤ AB	両開き扉ドア	1ヶ所	⑥ AB	片引き扉ドア	1ヶ所	⑦ AD	片引き扉ドア	1ヶ所
取付位置	救急資機材消毒乾燥室			救急資機材庫			出動準備室			救急資機材消毒乾燥室		
姿図												
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
金物	エンジン装置、シリンダー錠、補助センサー、近赤外線反射式、標準金物一式			丁番ドアローザー×2 レバーハンドル錠 沓摺ステン、7M額縁三方枠			引棒 L=600、自閉装置、ストップ、シリンダー錠 その他付属金物一式			引棒 L=600、自閉装置、ストップ、シリンダー錠 その他付属金物一式		
硝子	強化透明 t=12			FL5 P-アルミパネル			FL5 P-アルミパネル			FL5 P-アルミパネル		
備考	自動ドア表示、衝突防止マーク、フットセンサー (内・外)、開口枠無し						開口枠無し			開口枠有り		
符号 形式 数量	① AB	ランマ内倒し窓付引き連窓	6ヶ所	② AB	たてすべり出し窓	12ヶ所	③ AB	引連窓	1ヶ所	④ AB	FIX窓	2ヶ所
取付位置	事務所他			仮眠室他			事務所			MWC・HWC		
姿図												
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
金物	クレセント 戸車 オペレーター装置 7M額縁四法枠			ハンドル その他付属金物一式 ※内開き網戸 (グラスファイバー) 7M額縁四法枠			クレセント 戸車 ※可動網戸 (グラスファイバー)			クレセント 戸車 ※可動網戸 (グラスファイバー) 7M額縁四法枠		
硝子	FL5+A6+FL5 ※南面設置の物のみ格子入り複層ガラス (3ヶ所)			FL5+A6+FL5※南面設置の物 (2箇所) のみ格子入り複層ガラス (室内側すり板ガラス)			FL5+A6+FL5 (格子入り複層ガラス)			F5+A6+F5		
備考				網戸 (グラスファイバー)			網戸 (グラスファイバー)			網戸 (グラスファイバー)		

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	建具表1	スケール	1/100	作成年月日		株式会社 宮田設計	事務所登録番号 3266号	No.
						図番						管理建築士 宮田 真一	1級建築士 241080号	A-28
												熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204		

符号 形式 数量	① 150	軽量鋼製建具 (2段引き) 8ヶ所	② 150	軽量鋼製建具 (2段引き) 1ヶ所	③a 150	軽量鋼製建具 (2段引き) 2ヶ所	③b 150	軽量鋼製建具 (2段引き) 1ヶ所	④a 300	軽量鋼製建具 (片引き) 6ヶ所
取付位置	仮眠室		出勤準備室		出勤準備室・事務所		MWC2		事務所・多目的研修室・食堂・洗面洗濯室・屋内訓練室	
図面										
仕上	メラミン焼付塗装 木製ハンドル		メラミン焼付塗装 SUSハンドル		メラミン焼付塗装 SUSハンドル		メラミン焼付塗装 SUSハンドル		メラミン焼付塗装 SUSハンドル	
金物	ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式	
硝子	型ガラス t=4		強化透明 t=5		強化透明 t=5		型ガラス t=4		強化透明 t=5	
備考									点検口40mm	
符号 形式 数量	④b 150	軽量鋼製建具 (片引き) 2ヶ所	⑤ 150	軽量鋼製建具 (2段引き) 1ヶ所	⑥ 150	軽量鋼製建具 (片引き) 1ヶ所	⑦ 150	軽量鋼製建具 (片引き) 2ヶ所		
取付位置	MWC・HWC		W仮眠室		ホール		リネン室・掃除洗			
図面										
仕上	メラミン焼付塗装 SUSハンドル		メラミン焼付塗装 木製ハンドル		メラミン焼付塗装 SUSハンドル		メラミン焼付塗装 レバーハンドル			
金物	ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ボームアング式レール(自閉式・ストップ付)、ガイドローラー、その他標準一式		ドアクローザー			
硝子	型ガラス t=4		型ガラス t=4		型ガラス t=4		型ガラス t=4			
備考	点検口40mm		電子キー		点検口40mm					
符号 形式 数量	⑧ 前	片引き木製フラッシュ戸 3ヶ所	⑨ 前	片引き木製フラッシュ戸 1ヶ所	⑩ 前	片引き木製フラッシュ戸 1ヶ所				
取付位置	W仮眠室・脱衣1・脱衣2		W仮眠室							
図面										
仕上	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板					
金物	レバーハンドル 丁番 戸当り		レバーハンドル 丁番 戸当り 表示錠 舟形引手 戸車 Vレール		取手					
硝子										
備考										

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

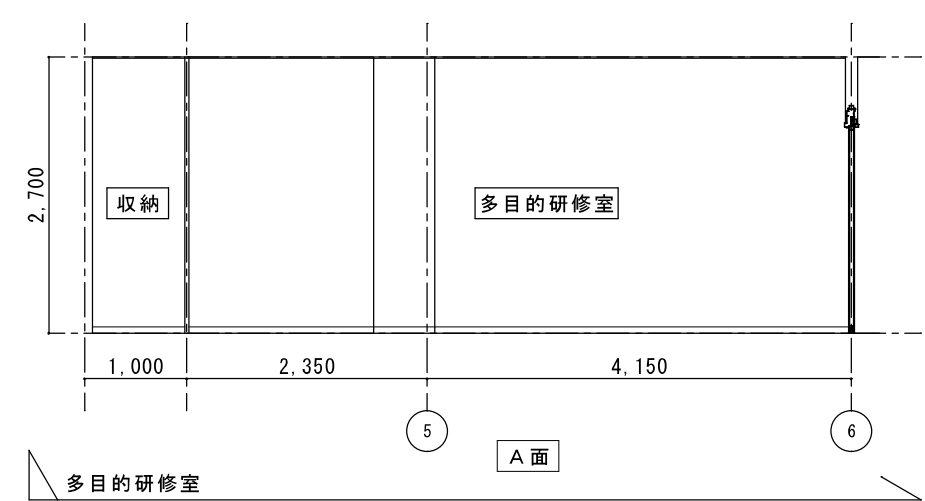
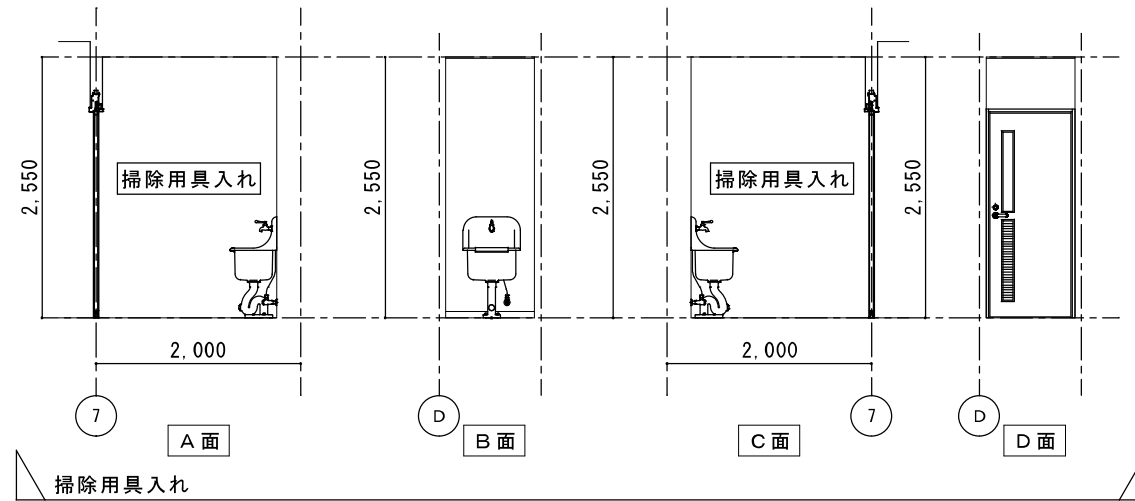
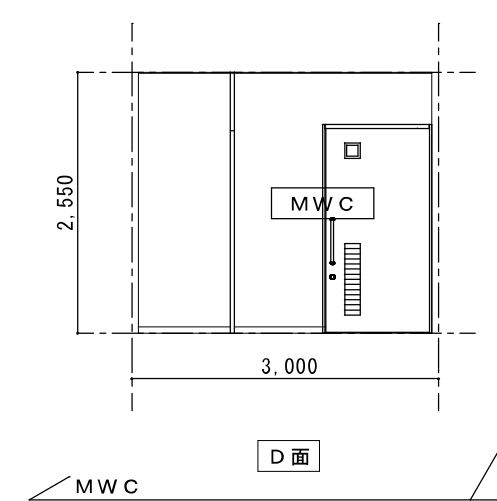
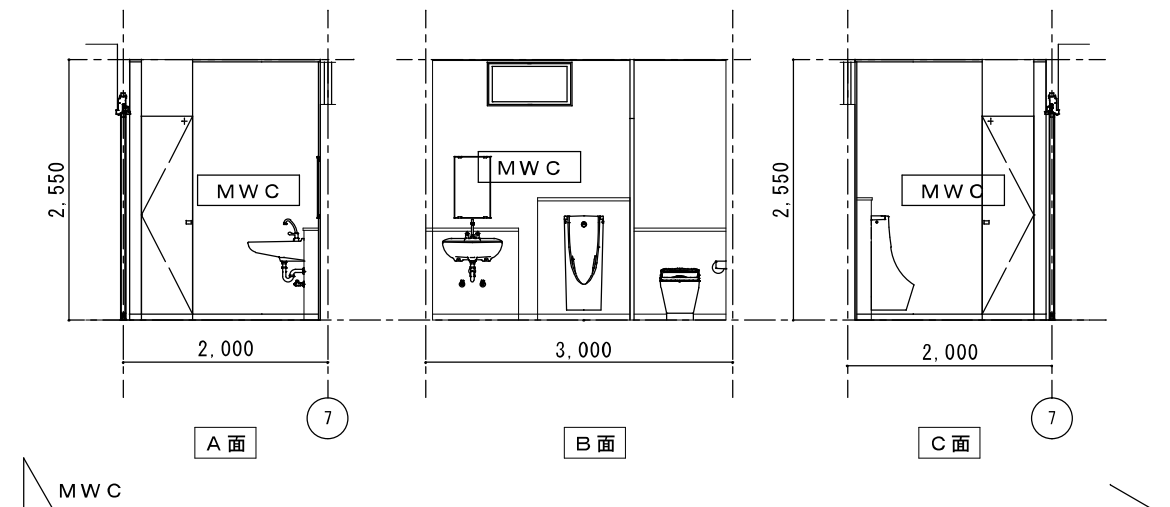
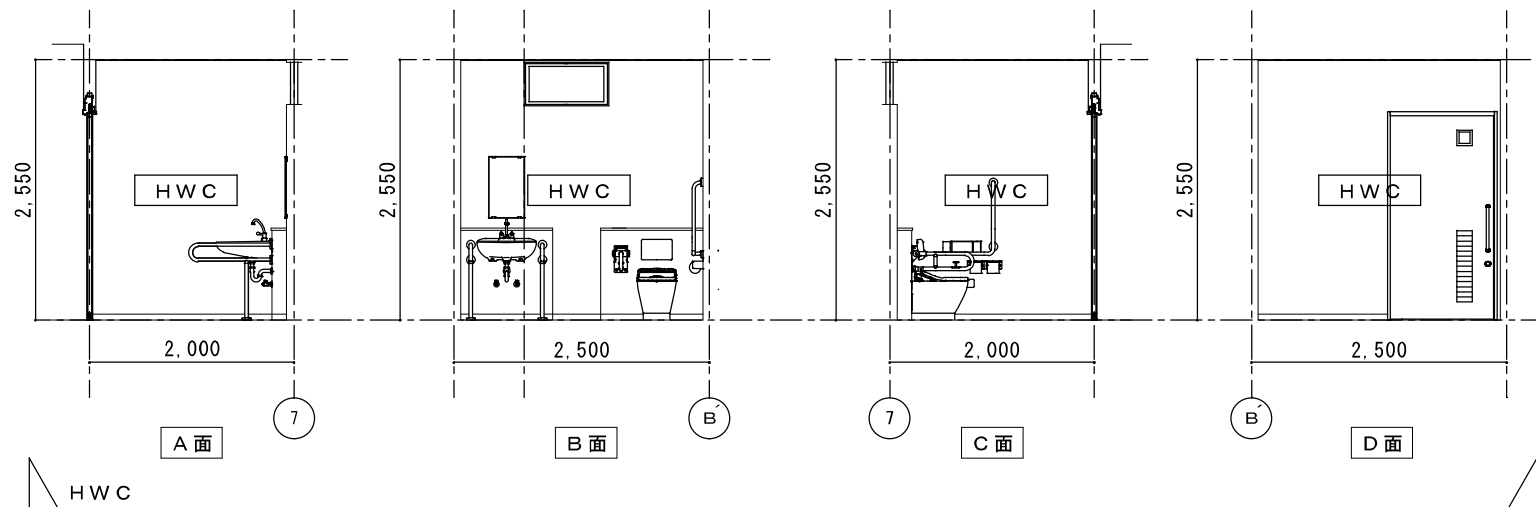
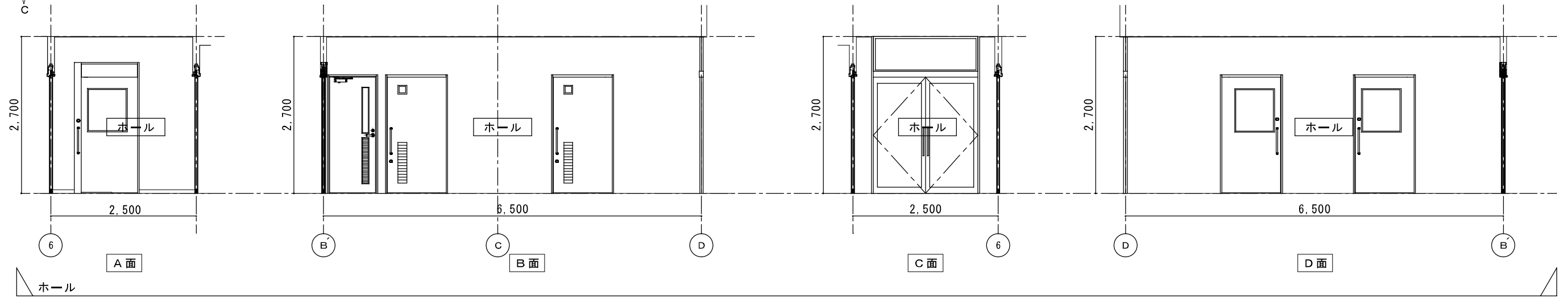
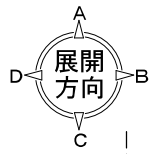
工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	建具表2	スケール	1/50	作成年月日		株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 TEL 0964-52-3204	No. A-29
------	--------------------	----	----	----	----	----	------	------	------	-------	--	---	--	-------------

符号 形式 数量	① OS	オーバースライダー アルミ高強度タイプ (電動)	1ヶ所
取付位置	消防車庫		
姿図			
仕上	アルミパネル		
金物	電動装置 障害物検知装置 急降下停止装置 その他付属金物一式		
硝子	-		
備考	明り窓 (アクリル3.0mm) スタンダード形収納		


符号 形式 数量	① SLW	スライディングウォール (遮音)	1ヶ所	① PT	スチールパーティション	1ヶ所	① TB	トイレブース	② TB	トイレブース	1ヶ所
取付位置	多目的研修室			倉庫		MWC		MWC②			
姿図											
仕上	亜鉛めっき鋼板焼付塗装 充填剤: グラスウール 壁面戸当たり: 焼付塗装			パネル・骨材: 亜鉛めっき鋼板焼付塗装		化粧シート貼り パネル下地: MDF 芯材: ペーパーコア		化粧シート貼り パネル下地: MDF 芯材: ペーパーコア			
金物	アルミレール、ランナー、圧着固定装置 (ギヤ式) その他標準金物			スライドレール、吊車、ワイヤーステラッチハンドル、その他標準金物		中心吊りヒンジ、ステンレス巾木、ステンレス天井レール 表示付きスライドロック (非常時外開き対応) 戸当たり帽子掛け、その他標準金物		中心吊りヒンジ、ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示付きスライドロック 戸当たり帽子掛け、その他標準金物			
硝子	-			-		-		-			
備考	三和シャッター工業 SLW-1 程度			三和シャッター工業 NSP-3-70 程度		三和シャッター工業 TW40-P 程度		三和シャッター工業 TW40-P 程度			

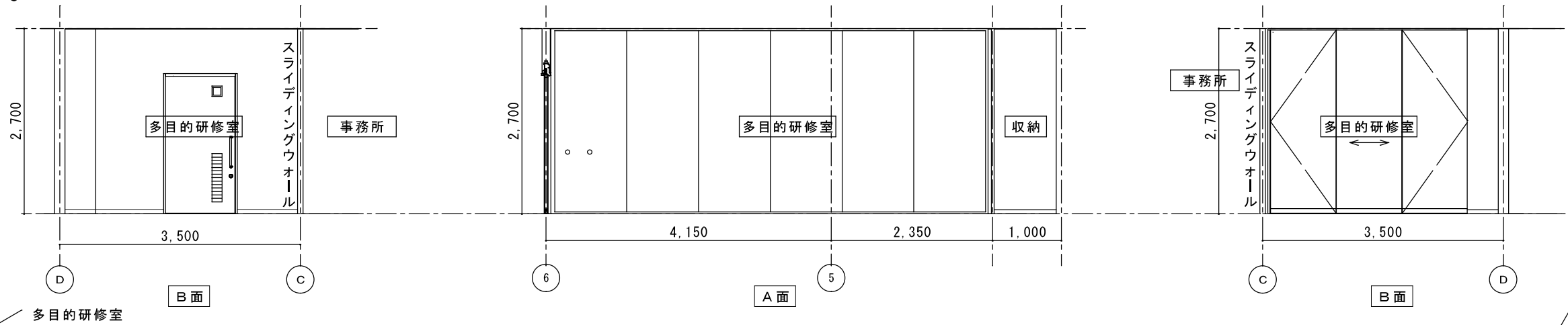
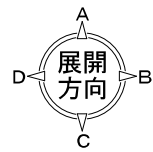
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	建具表3	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No.
		図番					1/100				A-30

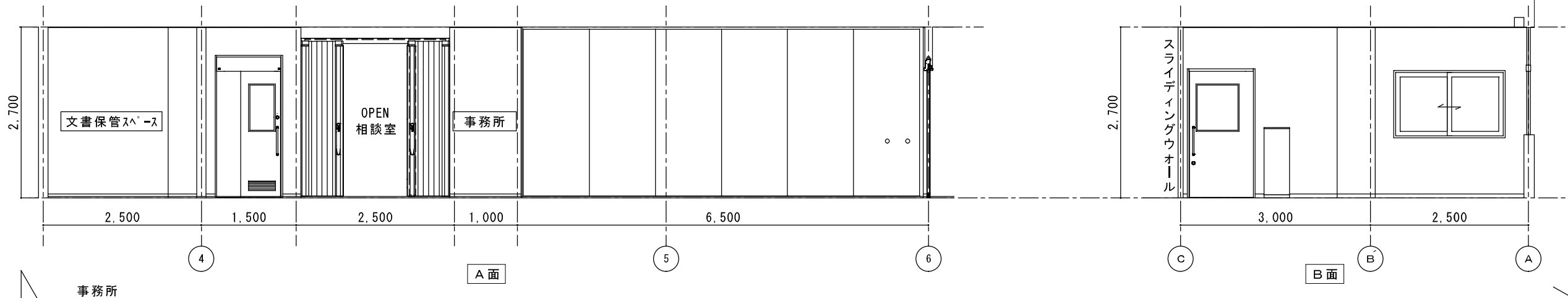


A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

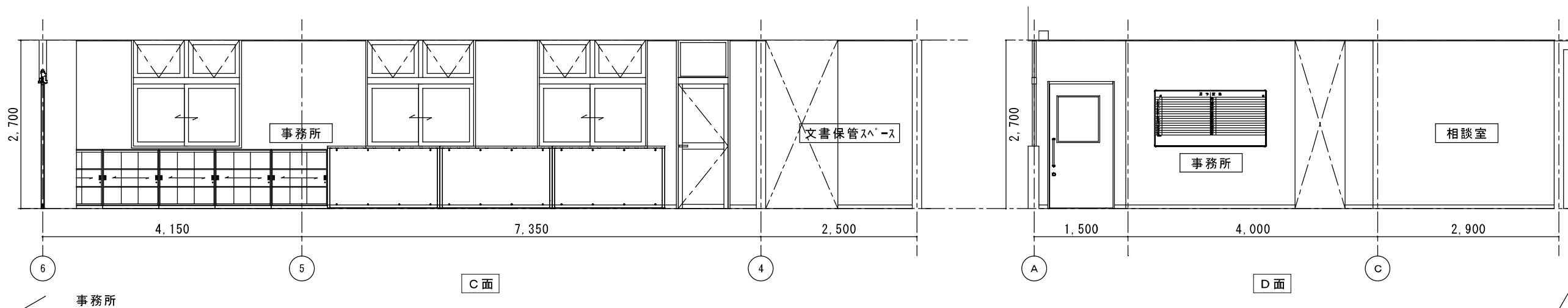
工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	展開図1	スケール 1/50	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-31
					図番						



多目的研修室




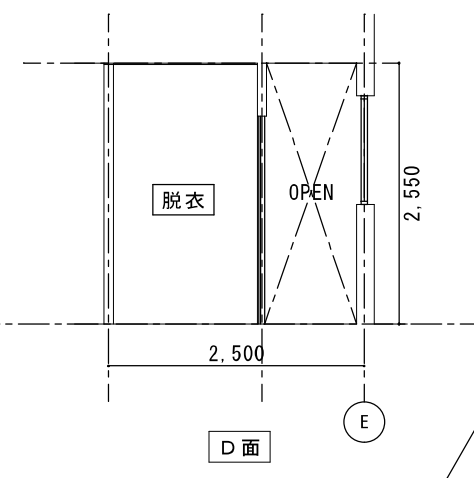
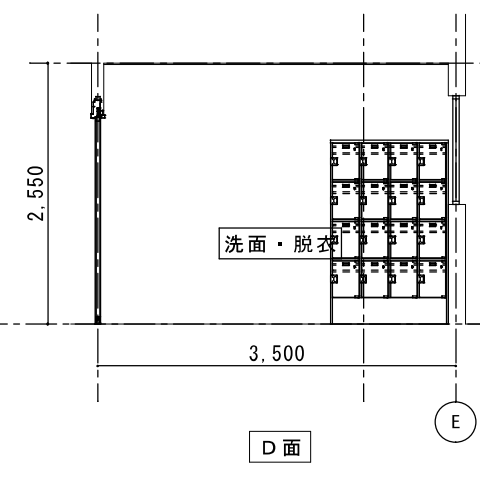
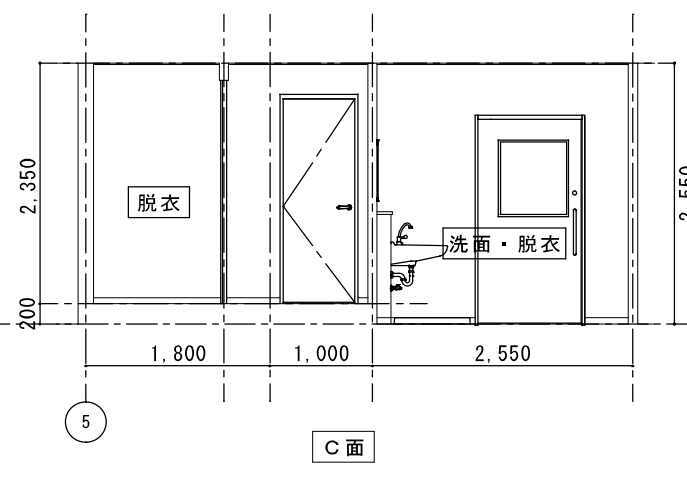
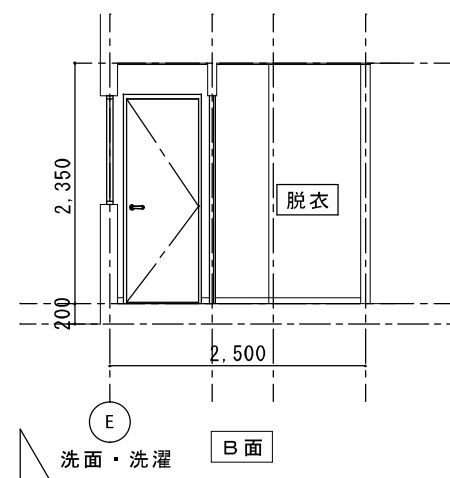
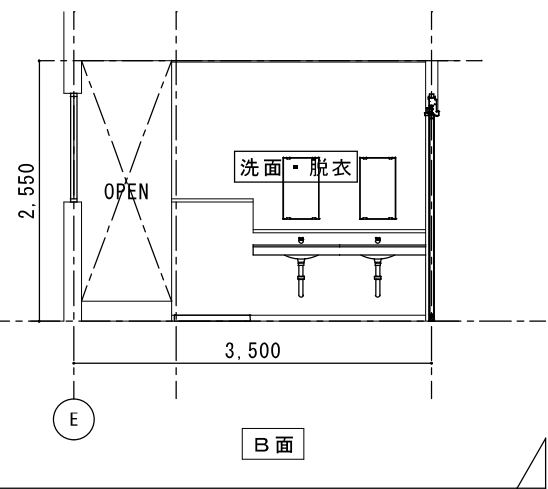
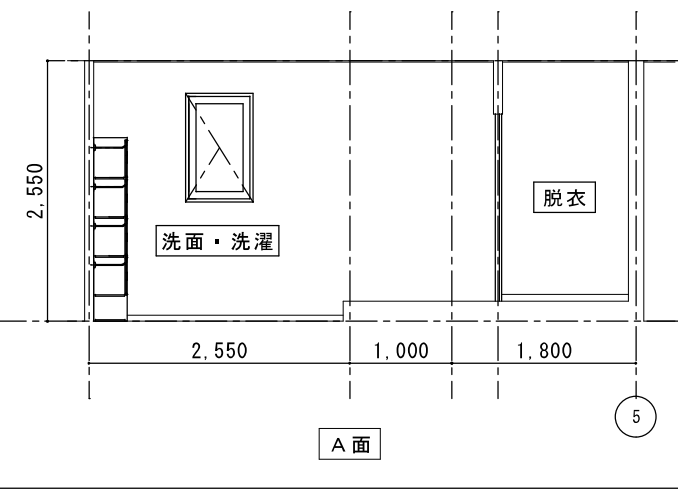
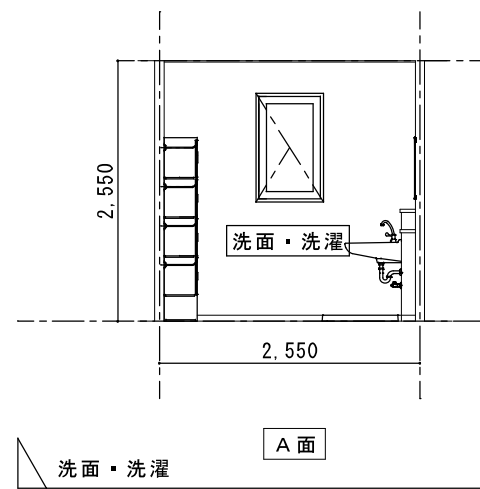
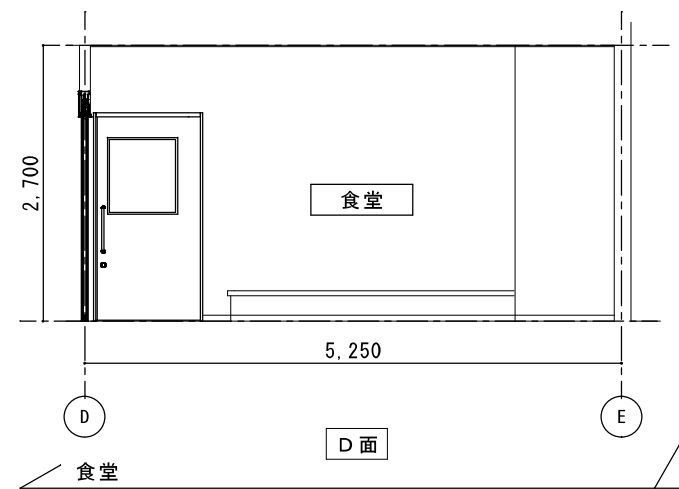
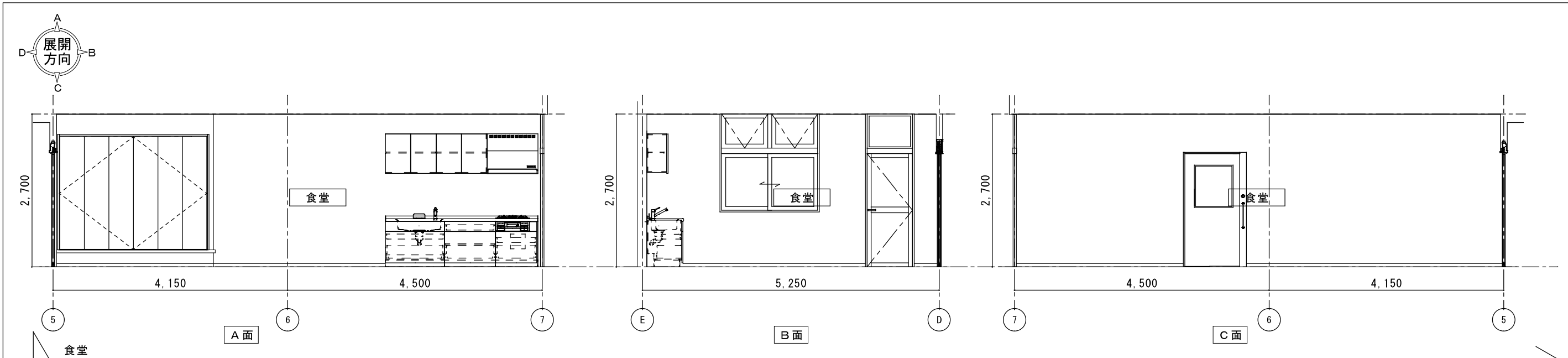
事務所



事務所

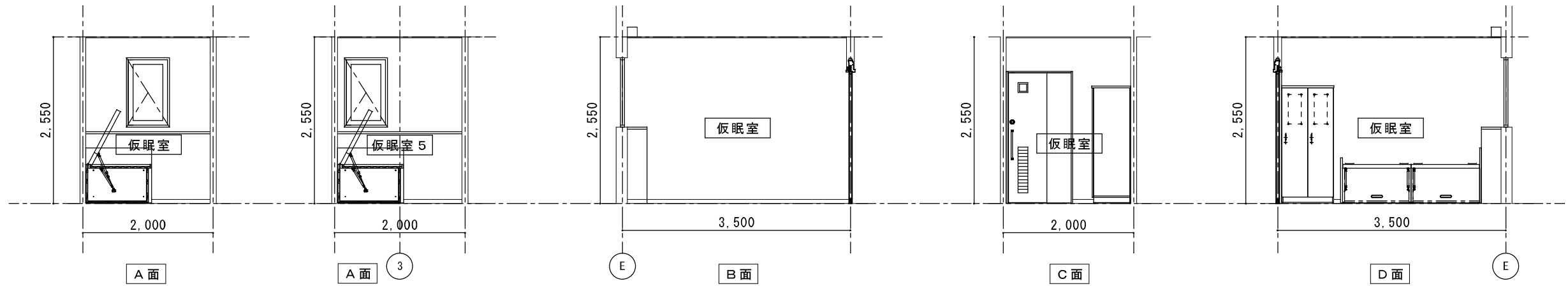
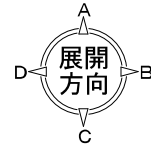
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 展開図2	スケール 1/50	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-32



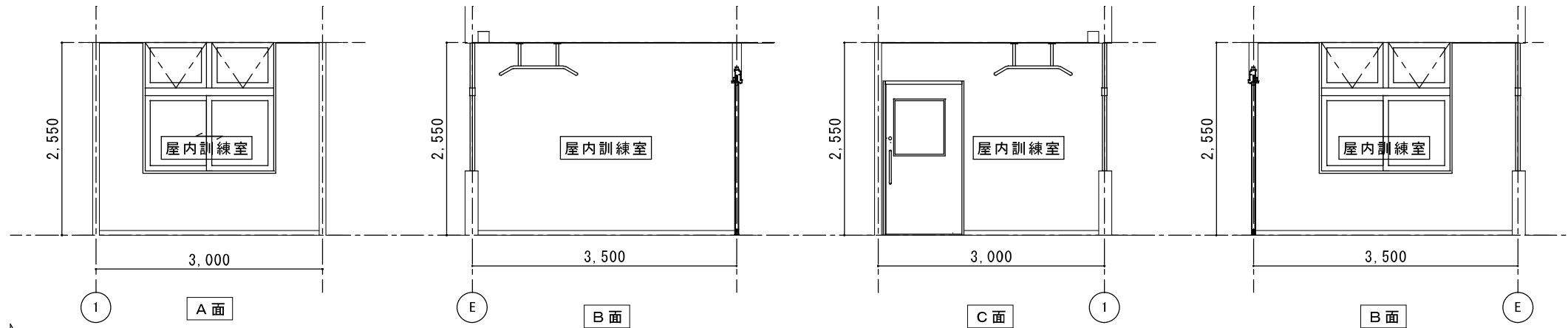
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂 製図 校図 承認	名称 展開図3	スケール 1/50	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-33
		図番	図番	図番			

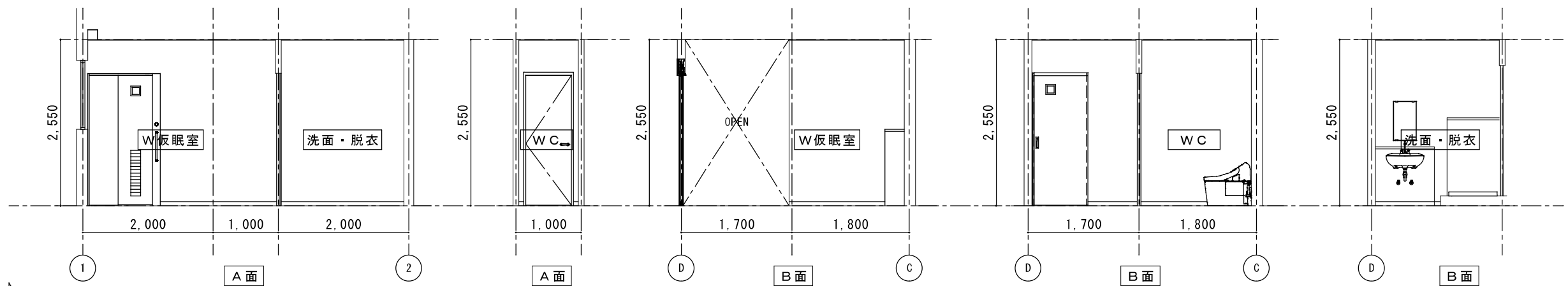


仮眠室 1 ~ 8

※仮眠室5のみ



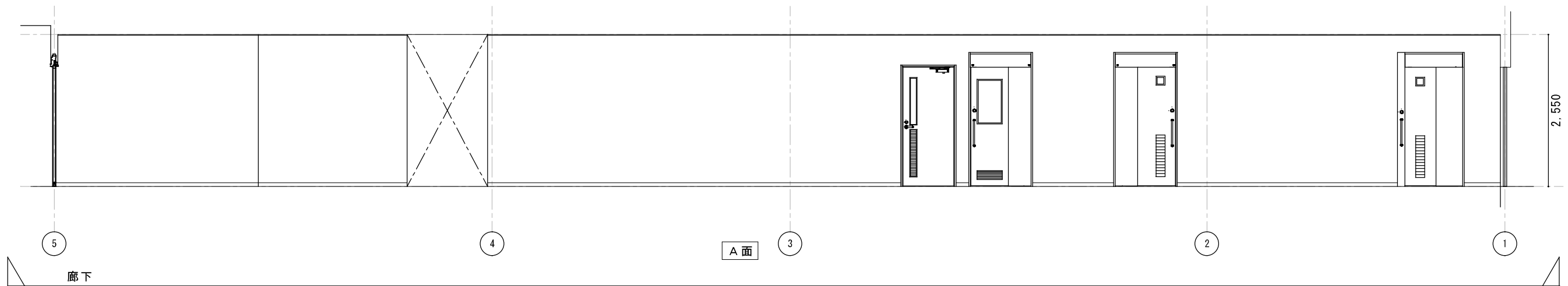
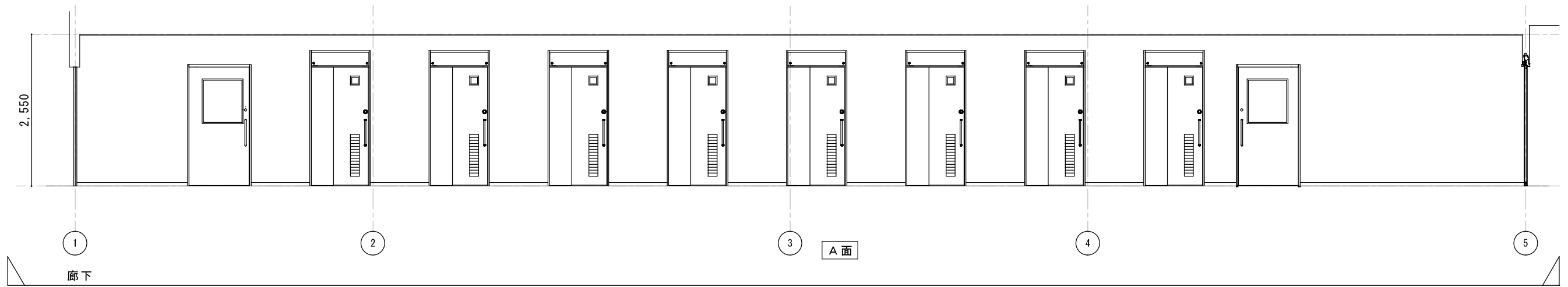
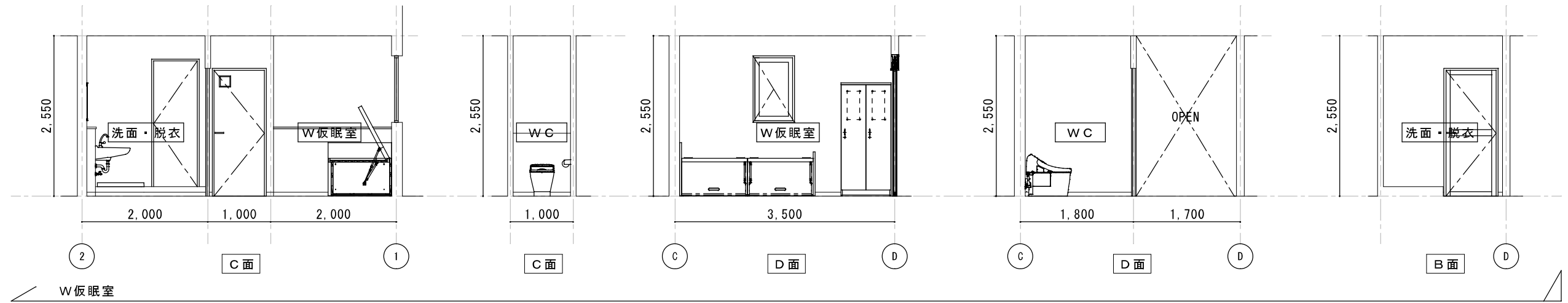
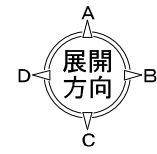
屋内訓練室




W仮眠室

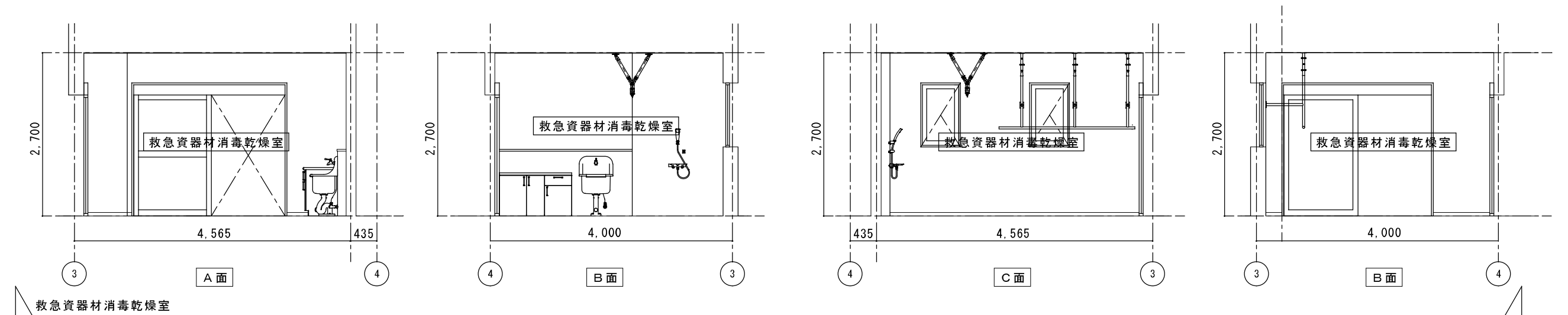
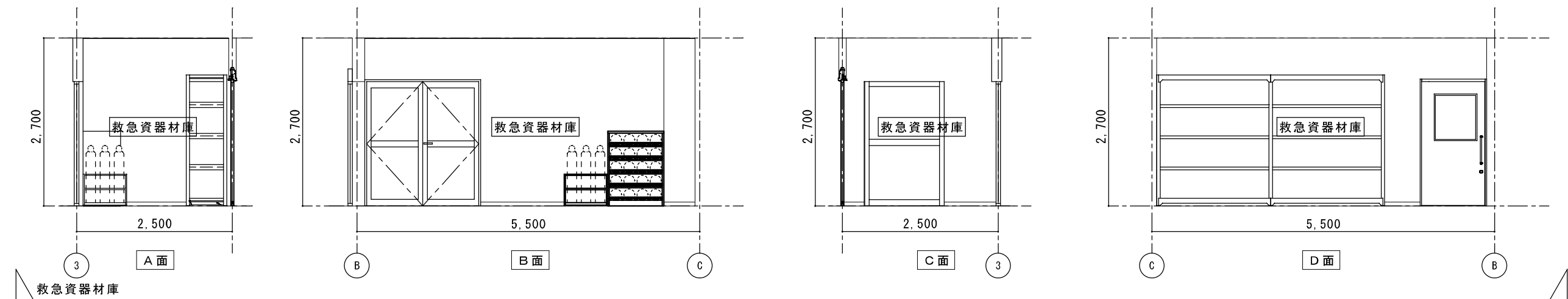
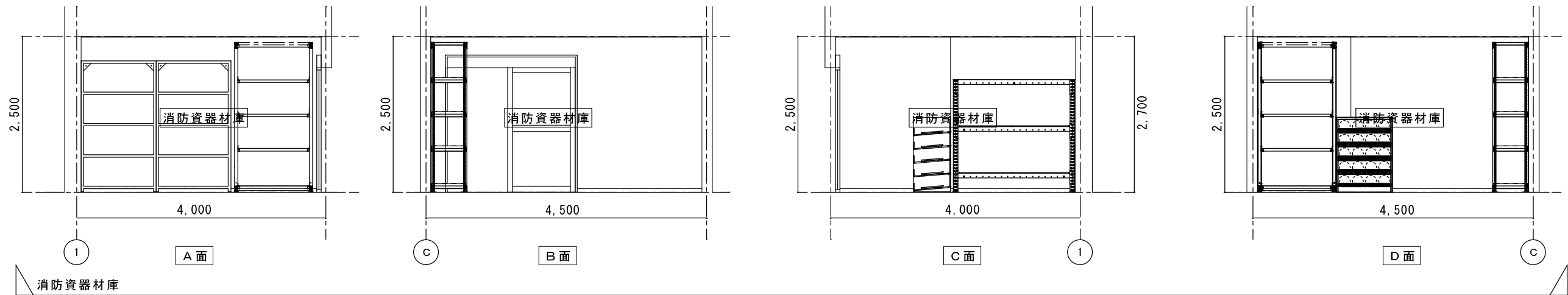
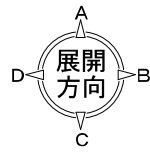
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連台南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	展開図4	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 TEL 0964-52-3204	No. A-34
					図番		1/50				



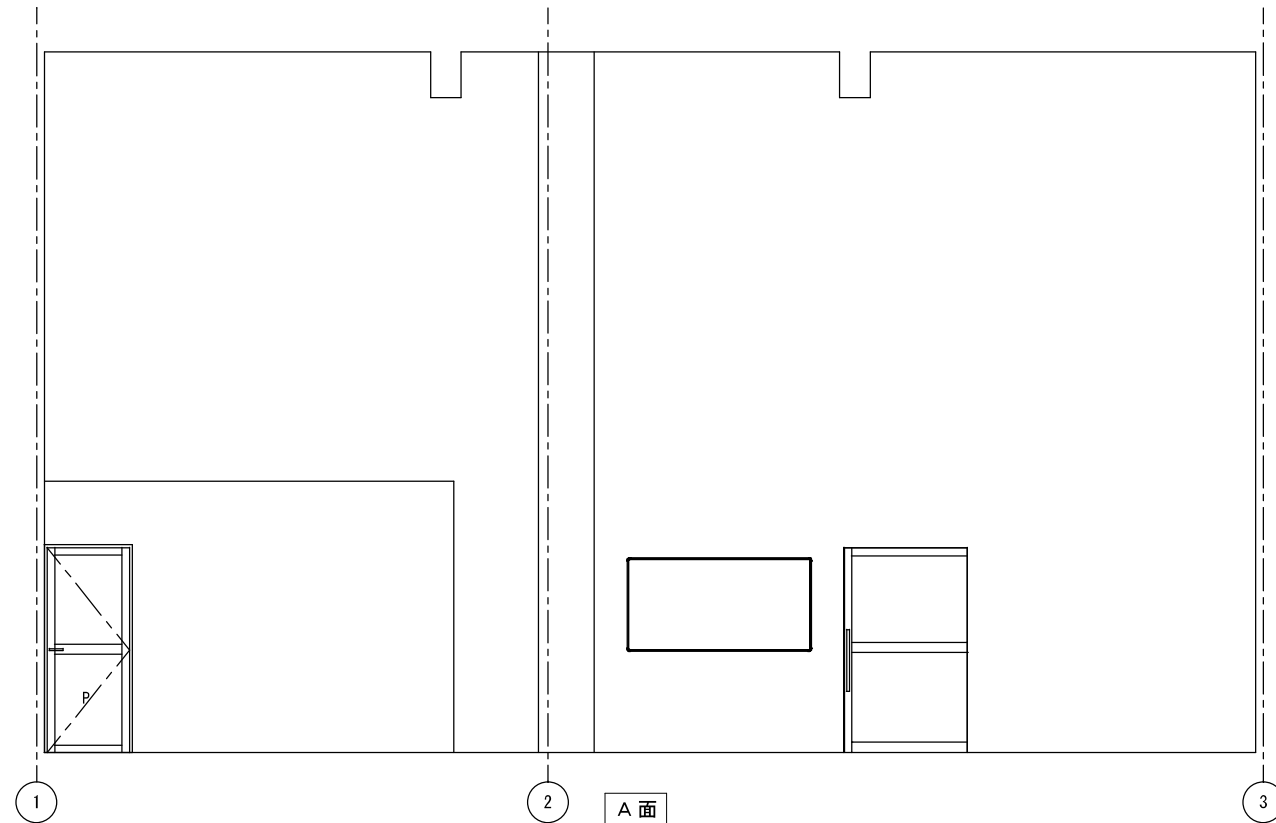
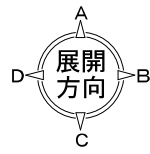
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 展開図5 図番	スケール 1/50	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-35

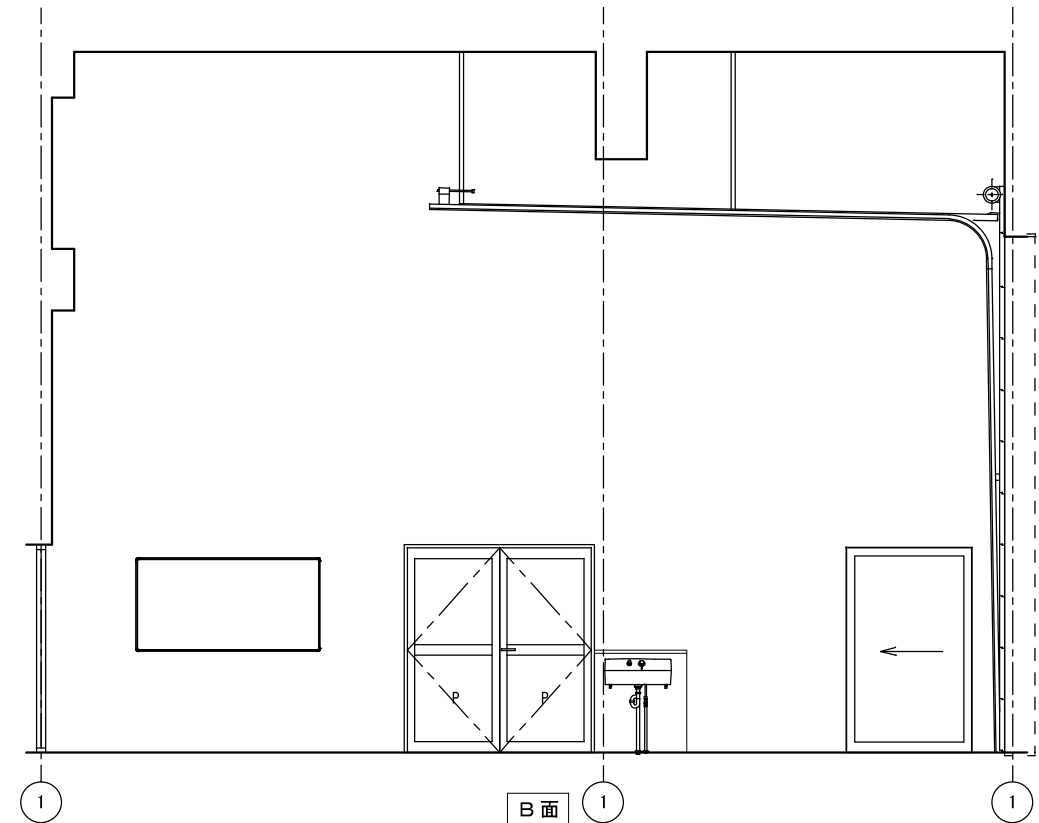


A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	展開図7	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-37
					図番		1/50				

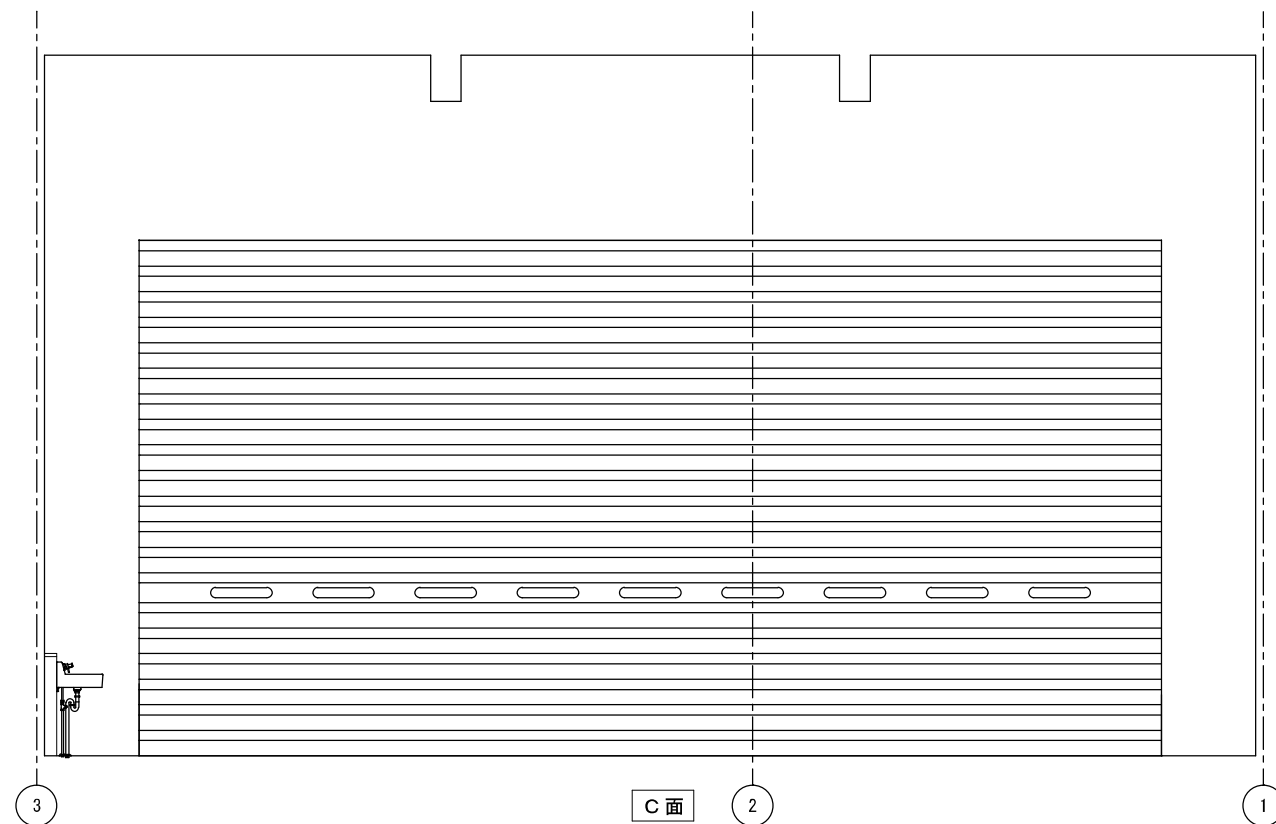


A面



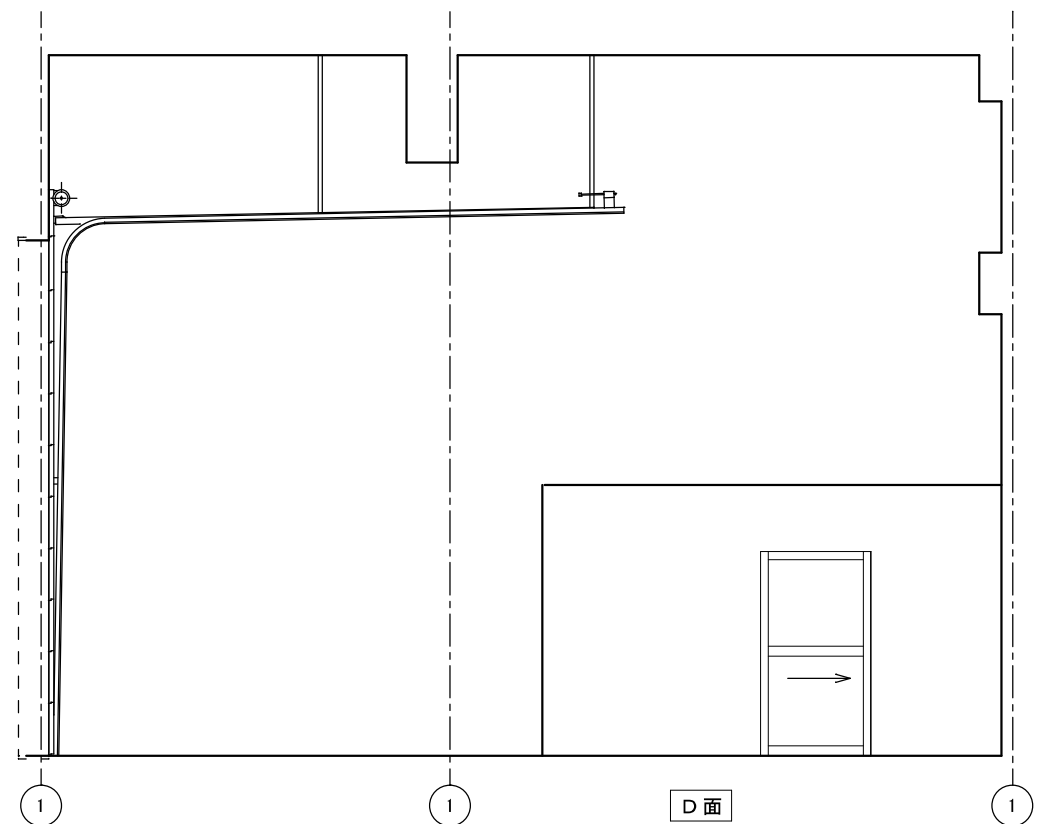
B面

消防車庫



C面

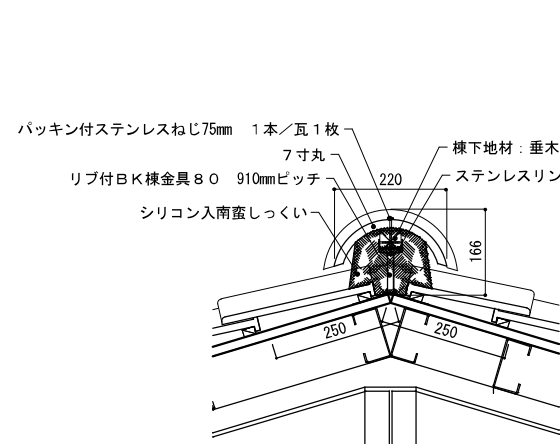
消防車庫



D面

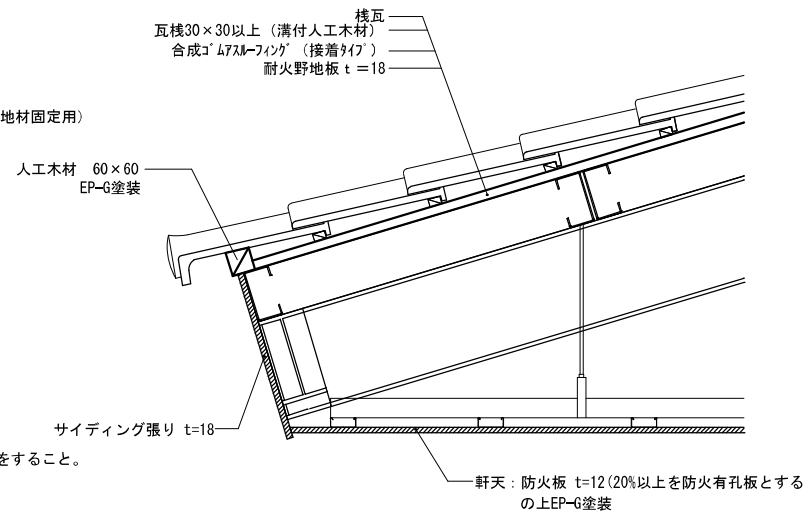
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連台南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	展開図8	スケール	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-38
		図番				1/50		1級建築士 241080号			

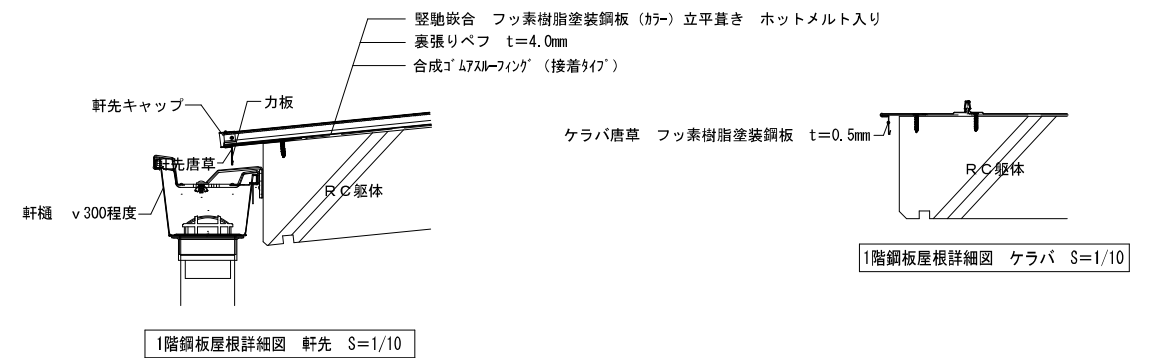


棟部分のルーフィングは、両方向へそれぞれ250mm以上重ね合わせる。
 隅棟部分のルーフィングは、重ね貼りの上に両方向へそれぞれ250mm以上増し貼りをすること。

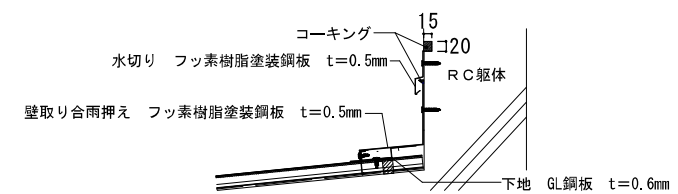
車庫屋根詳細図 棟 S=1/10



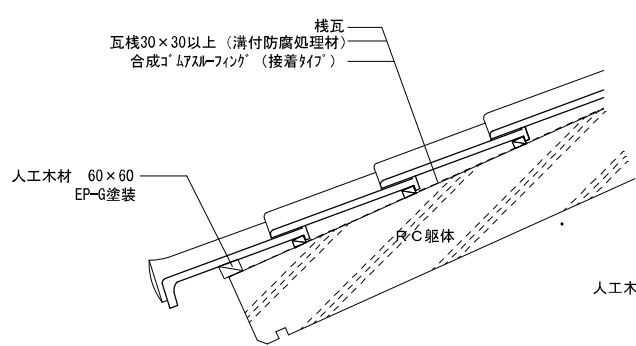
車庫屋根詳細図 棟 S=1/10



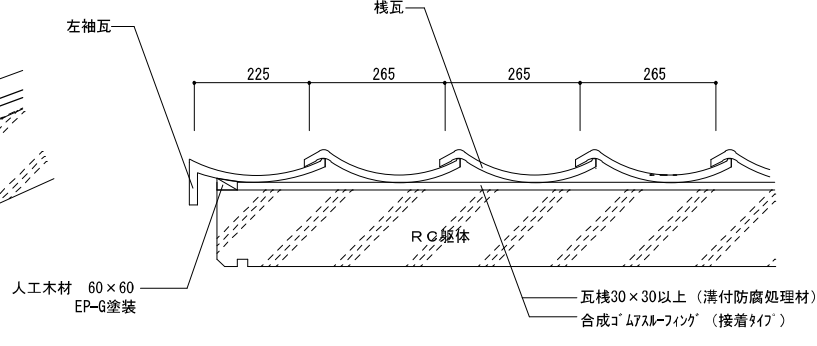
1階鋼板屋根詳細図 軒先 S=1/10



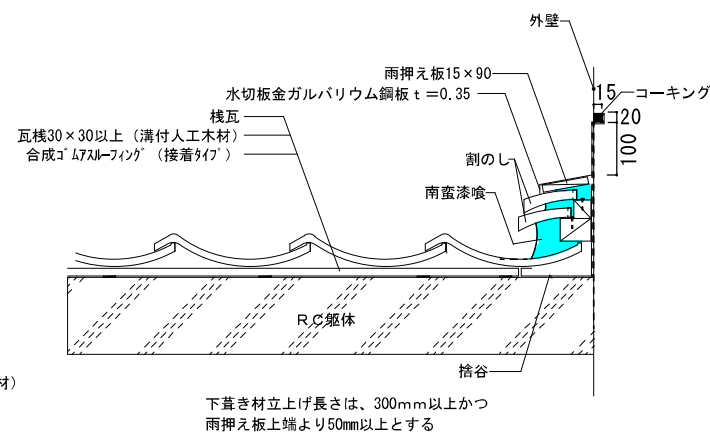
1階鋼板屋根詳細図 壁際 S=1/10



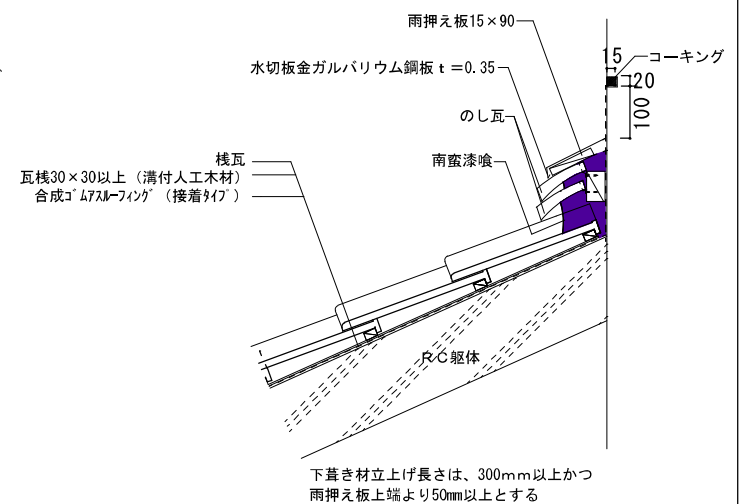
1階瓦屋根詳細図 軒先 S=1/10



1階瓦屋根詳細図 袖 S=1/10



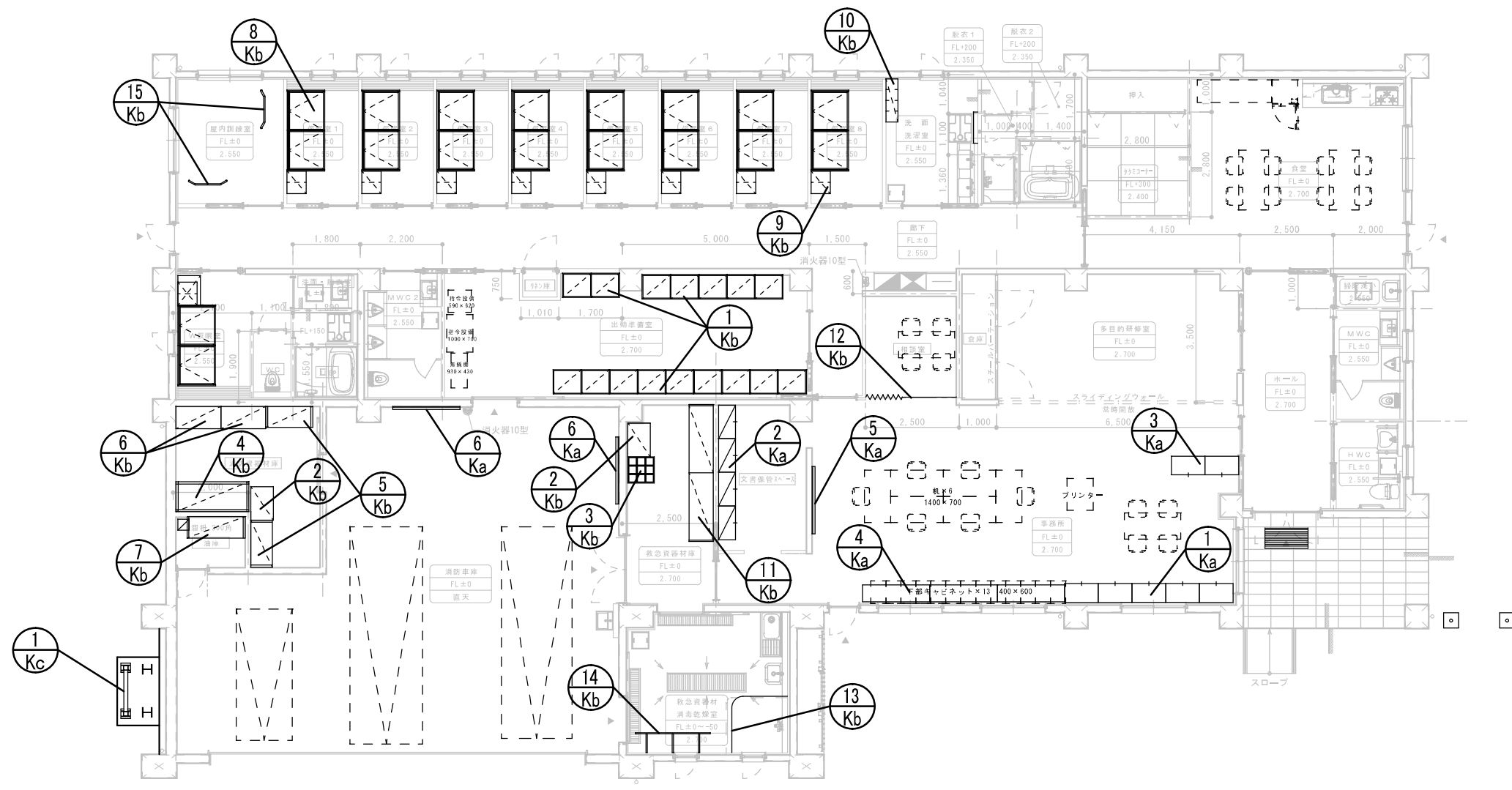
1階瓦屋根詳細図 袖 S=1/10



1階瓦屋根詳細図 壁際 S=1/10

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	屋根詳細図	スケール 1/10	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 TEL 0964-52-3204	No. A-39
		図番									



A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 家具キープラン	スケール 1/100	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-40
					図番		1級建築士 241080号			

<p>① 名称：レクトライン 収納庫 場所：事務所 S:1/** 計5セット</p> <p>品名：レクトライン 天板：ハイテックボード 天板/ABS樹脂 本体：スチール製 粉体焼付塗装</p>	<p>② 名称：レクトライン 収納庫 場所：文書保管スペース S:1/** 計4セット</p> <p>品名：レクトライン 天板：ハイテックボード 天板/ABS樹脂 本体：スチール製 粉体焼付塗装</p>	<p>③ 名称：レクトライン 収納庫 場所：事務所 S:1/** 計1セット</p> <p>品名：レクトライン 天板：ハイテックボード 天板/ABS樹脂 本体：スチール製 粉体焼付塗装</p>	<p>④ 名称：SEカウンター 場所：事務所 S:1/** 計1セット</p>
--	---	--	---

<p>⑤ 名称：月予定表 場所：事務所 S:1/** 計1枚</p> <p>品名：SEカウンター 天板：ハイテックボード 天板/ABS樹脂 本体：スチール製 粉体焼付塗装</p>	<p>⑥ 名称：ホワイトボード 場所：車庫 S:1/** 計2枚</p> <p>品名：438Dシリーズ 天板：アクリル板 アクリル板製 裏面：アルミ製</p>	<p>⑦ 名称：防火服ロッカー (1人用) 場所：出場準備室 S:1/50 基本型 x 3台 運転型 x 13台</p> <p>品名：FRH-1100 天板：FRP板 本体：FRP板</p>	<p>⑧ 名称：傾斜付ポンベ収納組 (5段20本用) 場所：救急資器材庫、消防資器材庫 S:1/50 2台</p> <p>品名：FRS-1200S 天板：FRP板 本体：FRP板</p>
---	---	---	---

<p>⑨ 名称：縦置きポンベ組 (9本用) 場所：救急資器材庫 S:1/50 1台</p> <p>品名：FRB-050 天板：FRP板 本体：FRP板</p>	<p>⑩ 名称：消防用タイヤラック 場所：消防資器材庫 S:1/50 1台</p> <p>品名：FRH-1100 天板：FRP板 本体：FRP板</p>	<p>⑪ 名称：消防用資材棚 場所：消防資器材庫 S:1/50 2台</p> <p>品名：FRH-2112 天板：FRP板 本体：FRP板</p>	<p>⑫ 名称：消防用ホース棚 場所：消防資器材庫 S:1/50 2台</p> <p>品名：FRH-2112 天板：FRP板 本体：FRP板</p>
---	--	---	--

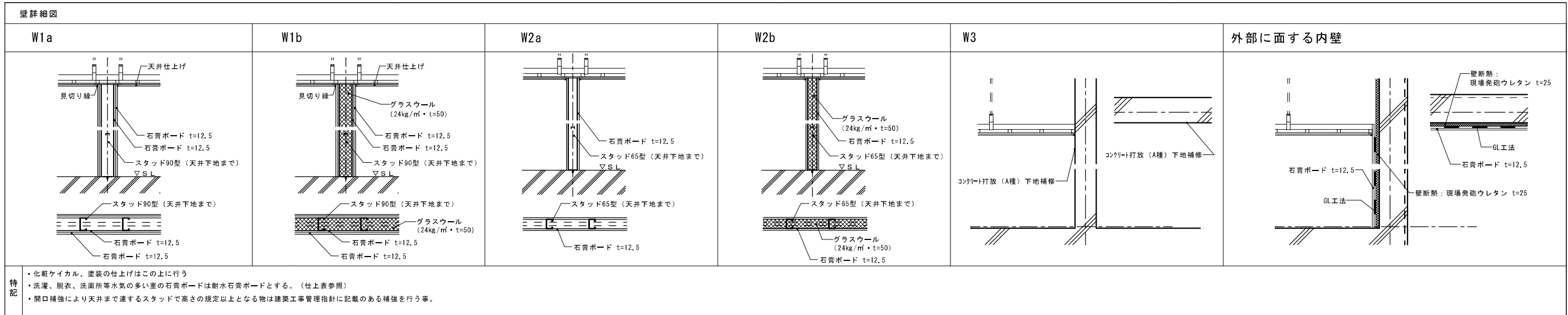
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

<p>名称: 中量ボルトレスラック 場所: 油庫 S:1/50 1台</p> <p>※搬入時の取り合いを施工時検討 ※貯蔵物の転落防止付き</p>	<p>名称: 木製ベッド(脱衾上げ式) 場所: 仮居室1~8・W S:1/50 9台</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>	<p>名称: 2連更衣ロッカー 場所: 仮居室1~8・W S:1/50 9台</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>	<p>名称: 4列4段16人用洗面バスワイドカー 場所: 洗面・洗濯室 S:1/50 1台</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>
---	--	--	---

<p>名称: 中量量棚 場所: 救急資器材庫 S:1/50 1セット</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>	<p>名称: アコーディオンカーテン 場所: 相談室 S:1/15 1台</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>	<p>名称: カーテンレール 場所: 救急資器材消毒乾燥室 S:1/50 1式</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>	<p>名称: 物干し金物 場所: 救急資器材消毒乾燥室 S:1/40 1台</p> <p>※脱衾上げ式 ※貯蔵物の転落防止付き</p>
--	--	---	---

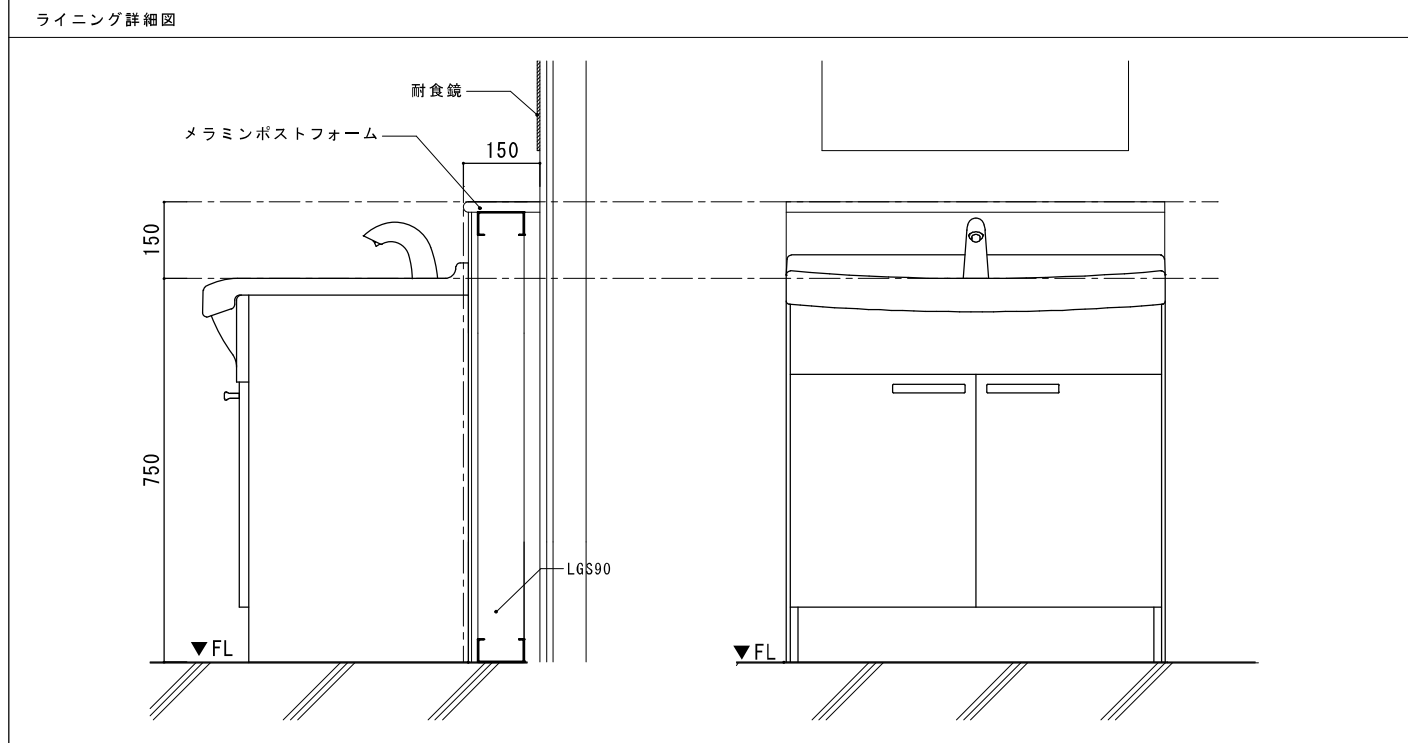
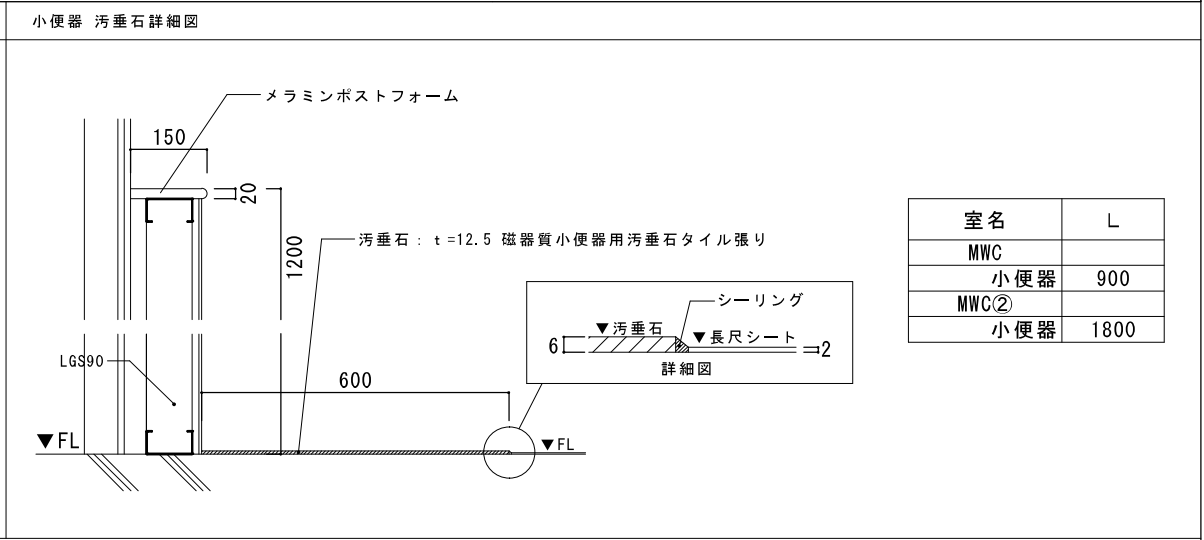
名称: ステンレス懸垂バー
場所: 屋内訓練室
S:1/15
2台

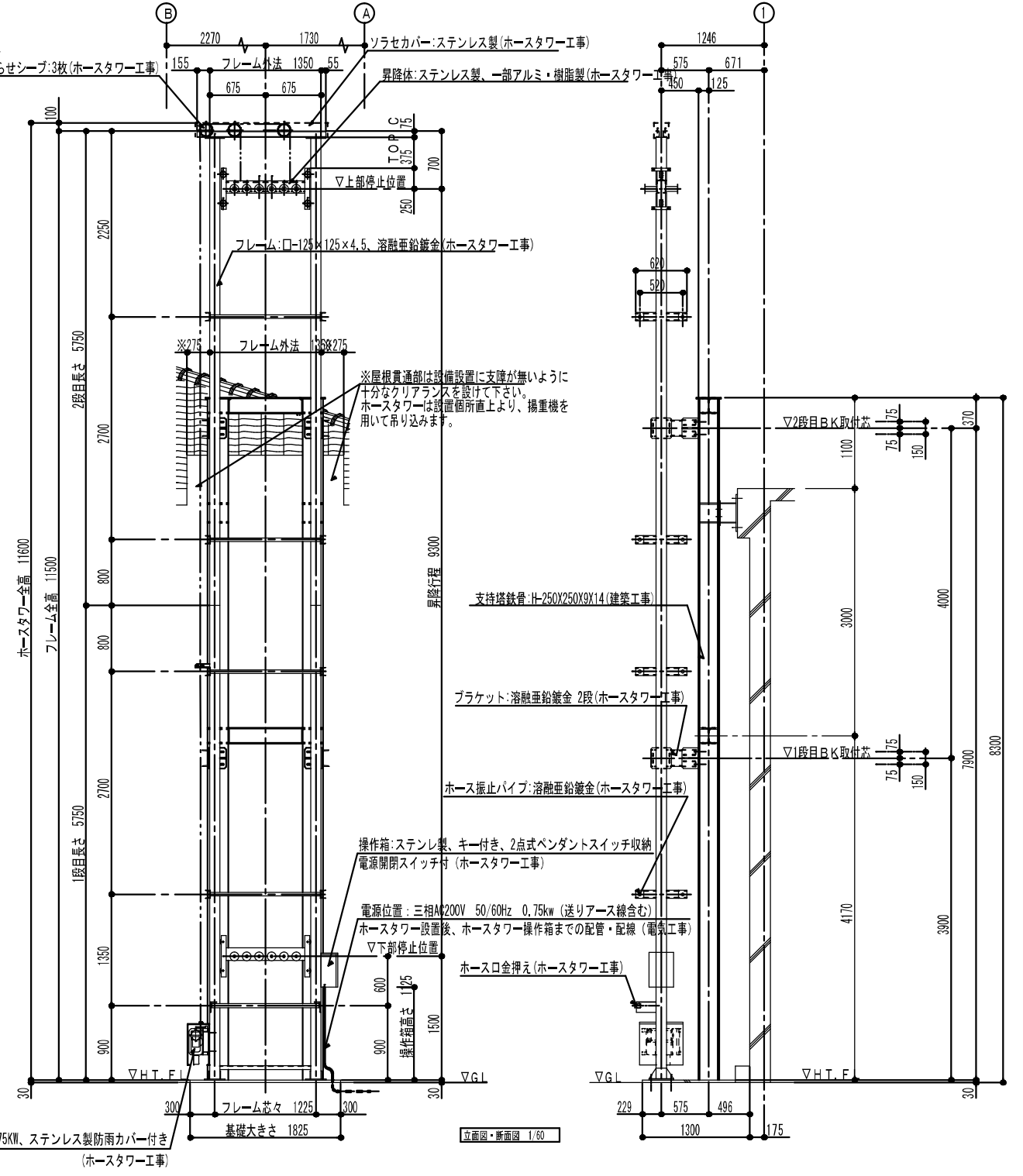
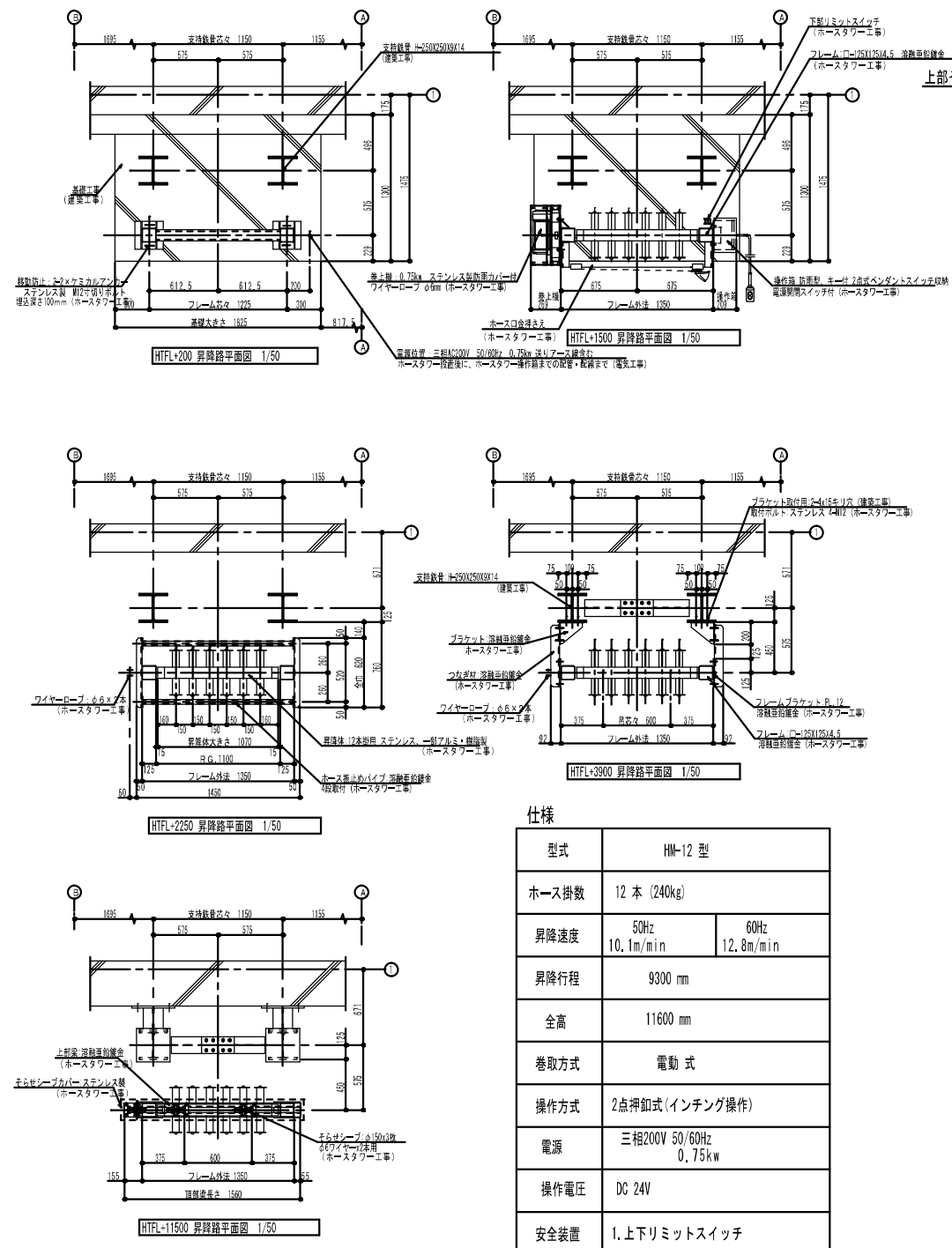
※脱衾上げ式
※貯蔵物の転落防止付き



ライニング詳細図

室名	L	D	H	室名	L	D	H
HWC				W仮眠室			
手洗い	900	150	900	洗面台	900	150	900
大便器	1000	150	900	洗濯機パン	800	120	1200
MWC				大便器	900	150	1000
手洗い	900	150	900	救急資器材			
小便器	900	150	1200	消毒乾燥室			
大便器	900	150	900	流し台	2000	150	1100
掃除流し	900	120	2550	汚物洗い			
洗面・洗濯室				シャワー水栓	1500	150	2700
洗面台	1600	150	900	消防車庫			
洗濯機パン	800	120	1200	手洗い	900	150	900
MWC②							
手洗い	900	150	900				
小便器	1800	150	1200				
大便器	900	150	900				



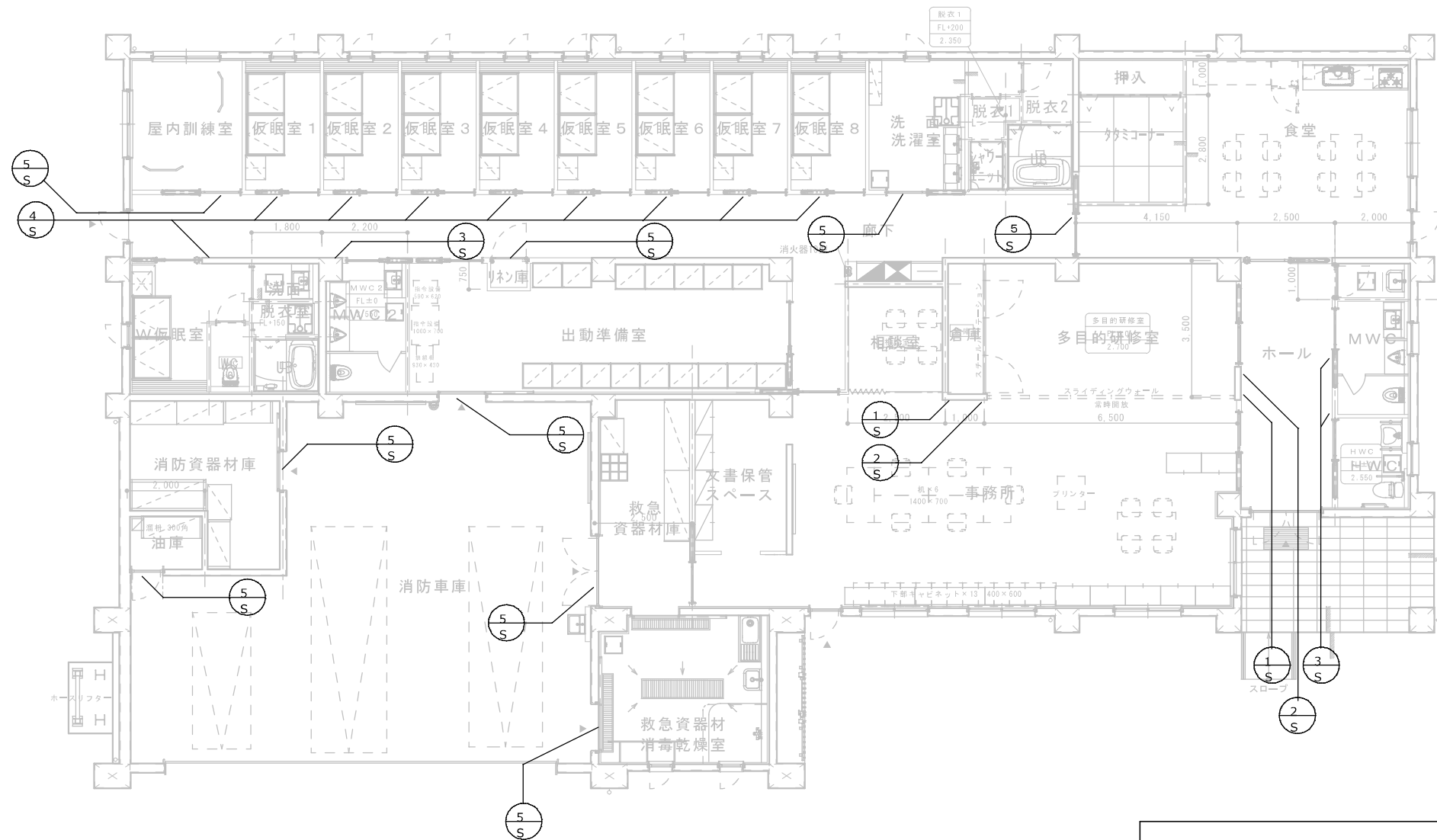


仕様

型式	HM-12 型	
ホース掛数	12 本 (240kg)	
昇降速度	50Hz 10.1m/min	60Hz 12.8m/min
昇行程	9300 mm	
全高	11600 mm	
巻取方式	電動式	
操作方式	2点押釦式(インテグレーション)	
電源	三相200V 50/60Hz 0.75kw	
操作電圧	DC 24V	
安全装置	1. 上下リミットスイッチ 2. 上下限ファイナルリミット 3. 電磁ブレーキ	

※HT, FLとはホースタワー設置基礎仕上げ天端を示します。
 ※ホースタワーは仕上がった基礎に直に置いて設置します。
 ※ホースタワーB. P.Lには、水抜き穴が開いています。根巻などにより、塞がないようご注意ください。

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。



- ① 室名札(平付) ⑤ 室名(シート切り文字)・・・9
- ② 室名札(平付・在空表示付き) 2
- ③ ピクト(平付) 3
- ④ 室名札-表示切り替え式札(壁付)・・・9

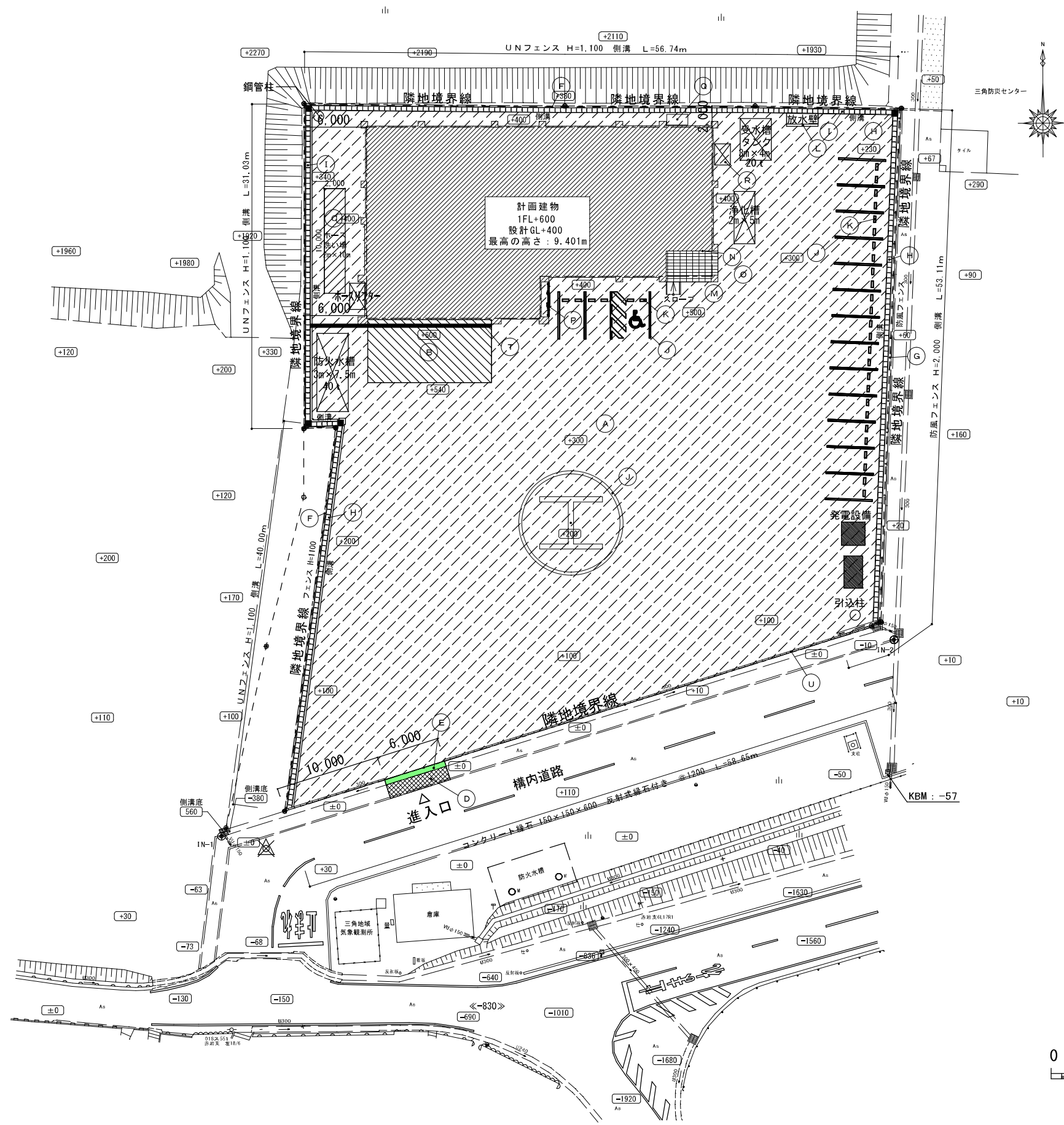
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂		製図 検図 承認	名称 サインキープラン 図番	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-45
----------------------------	----	--	----------------	----------------------	---------------	-------	---	--------------------------------	-------------

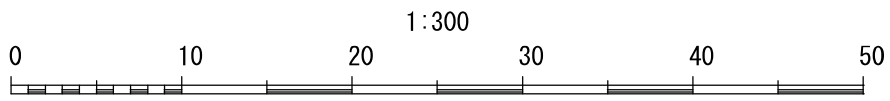
<p>① S</p> <p>名称：室名札(平付)</p> <p>場所： 下図表示箇所</p> <p>S:1/8 計1ヶ所</p>	<p>② S</p> <p>名称：室名札 (平付・在空表示付き)</p> <p>場所： 下図表示箇所</p> <p>S:1/8 計2ヶ所</p>	<p>③ S</p> <p>名称：ピクト(平付)</p> <p>場所： トイレ・洗面室</p> <p>S:1/8 計3ヶ所</p>	<p>④ S</p> <p>名称：室名札 表示切替式(壁付)</p> <p>場所：仮眠室</p> <p>S:1/8 計9ヶ所</p>
<p>表示：シート切り文字</p> <p>表示面： アルミアルマイト仕上</p> <p>フレーム：アルミ押出型材、 アルミアルマイト仕上</p>	<p>表示：シート切り文字</p> <p>表示面： アルミアルマイト仕上</p> <p>フレーム：アルミ押出型材、 アルミアルマイト仕上</p> <p>在空表示</p>	<p>表示：シート切り文字</p> <p>表示面： アルミアルマイト仕上</p> <p>フレーム：アルミ押出型材、 アルミアルマイト仕上</p>	<p>仮眠室</p> <p>消防大箱 消防左助</p> <p>左右にスライド</p> <p>仮眠室</p> <p>消防大箱 消防左助</p> <p>アクリル製</p>
<p>⑤ S</p> <p>名称：室名 (シート切り文字)</p> <p>場所： 下図表示箇所</p> <p>S:1/5 計9ヶ所</p>			
<p>30</p> <p>〔 食堂 洗面・洗濯室 屋内訓練室 消防資器材庫 油庫 救急資器材庫 リネン庫 出勤準備室 救急資器材 消毒乾燥室</p>			

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

<p>工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事</p>	<p>改訂</p>	<p>製図 検図 承認</p>	<p>名称 サイン詳細図 図番</p>	<p>スケール 1/5・8・10</p>	<p>作成年月日</p>	<p>株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204</p>	<p>No. A-46</p>
------------------------------------	-----------	-----------------	-------------------------	--------------------------	--------------	---	---------------------

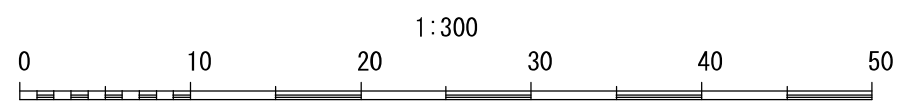
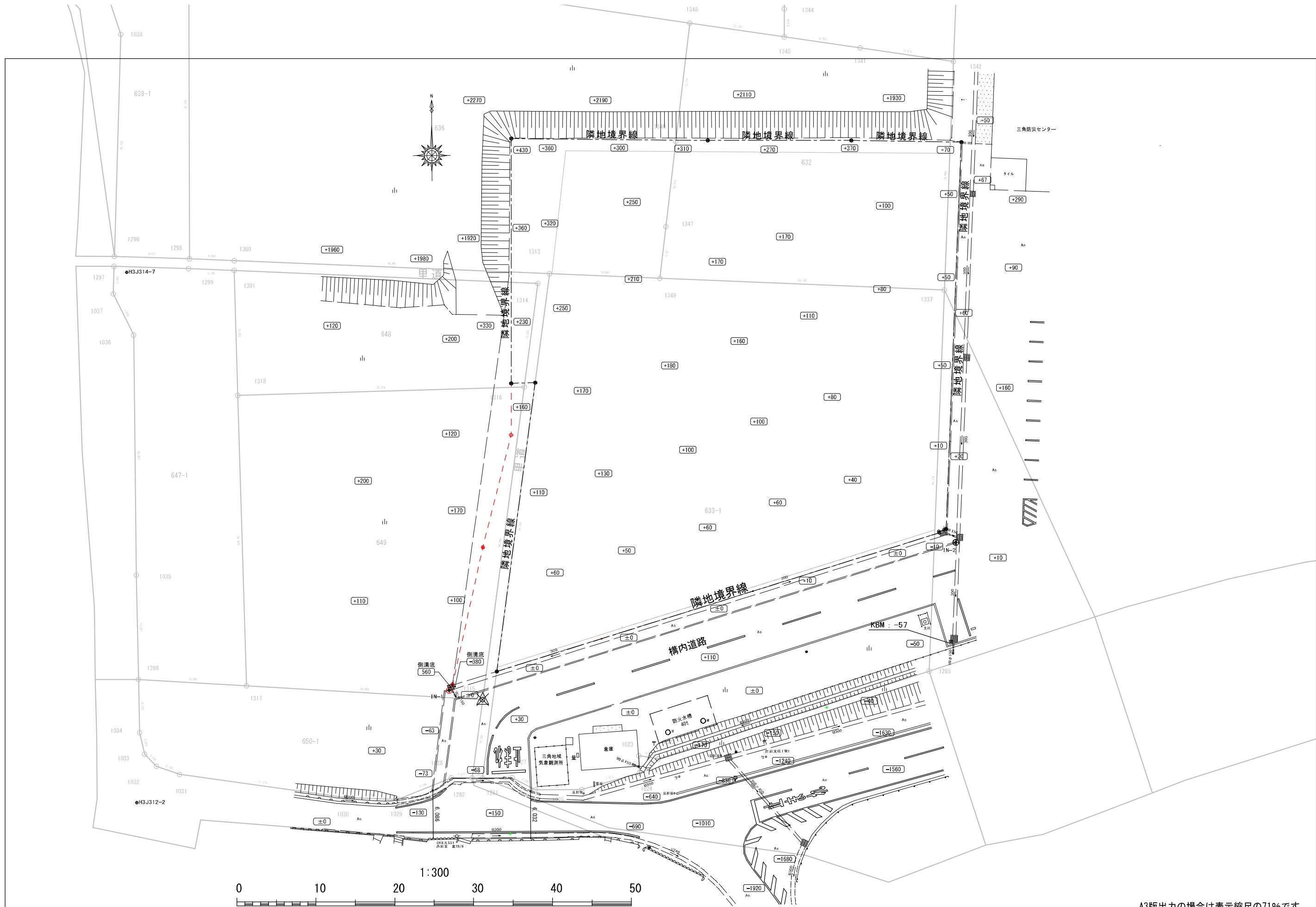


凡例		
(A)	アスファルト舗装	
(B)	コンクリート舗装 t=250	
(C)	コンクリート舗装 t=100	
(D)	車両進入口舗装やり替え	
(E)	車両進入口既設側溝蓋取替 (車道300用)	
(F)	メッシュフェンス H=1,100	
(G)	防風フェンス H=2,000	
(H)	グレーチング付集水樹	
(I)	雨水側溝	
(J)	白線 W=150	
(K)	コンクリート車止め	
(L)	放水壁	
(M)	定礎	
(N)	施設名サイン (エッチング銘板)	
(O)	フラッグポール	
(P)	目隠しフェンス	
(Q)	プロパン庫	
(R)	ゴミ置き場	
(S)	防火水槽	
(T)	雨水側溝 (グレーチング)	
(U)	コンクリート緑石 150×150×600	



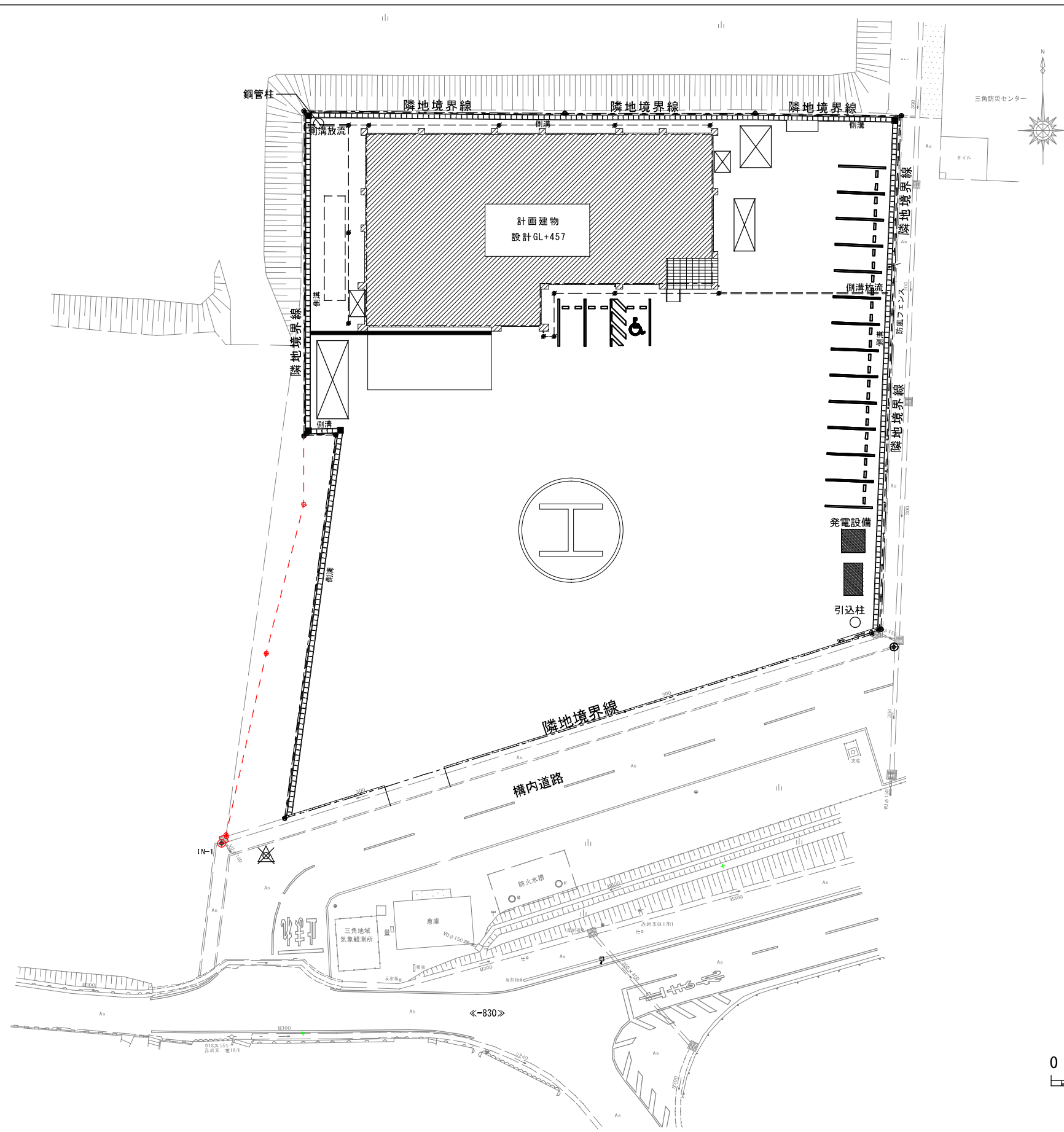
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. A-47
		外構計画図	図番	1/300						

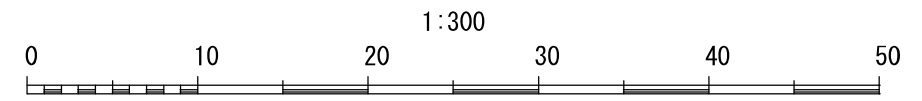


A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 TEL 0964-52-3204	No. A-48
		図番	現況平面図	1/300						

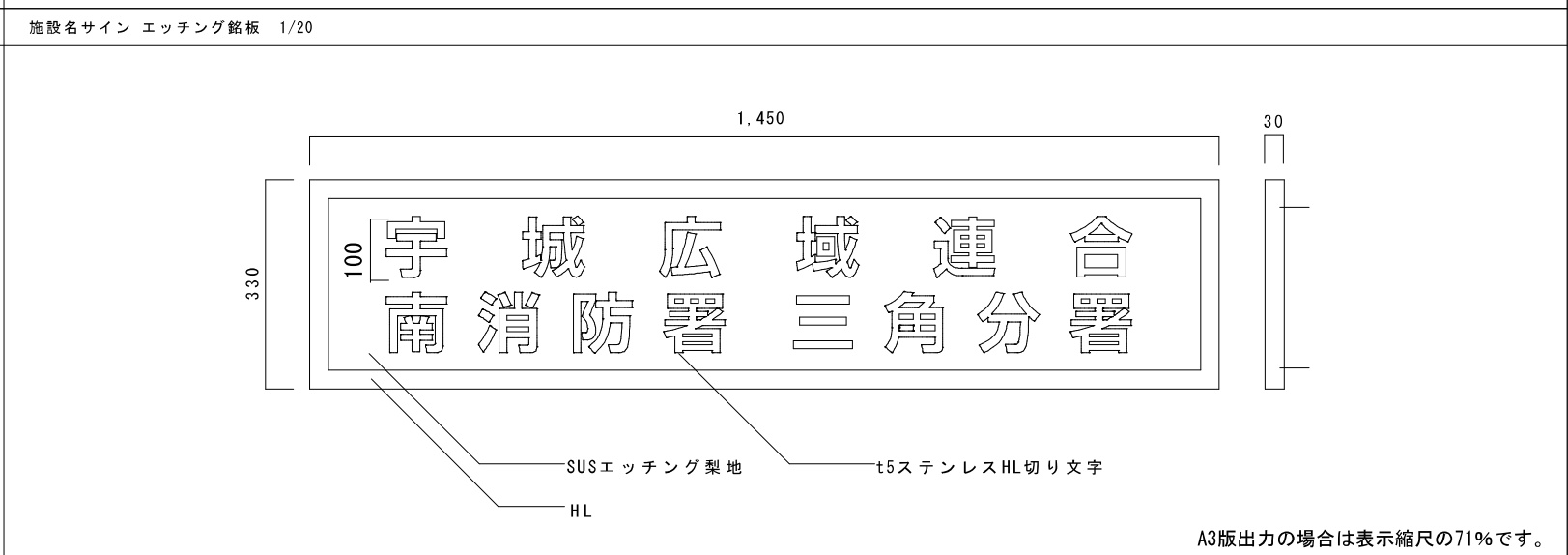
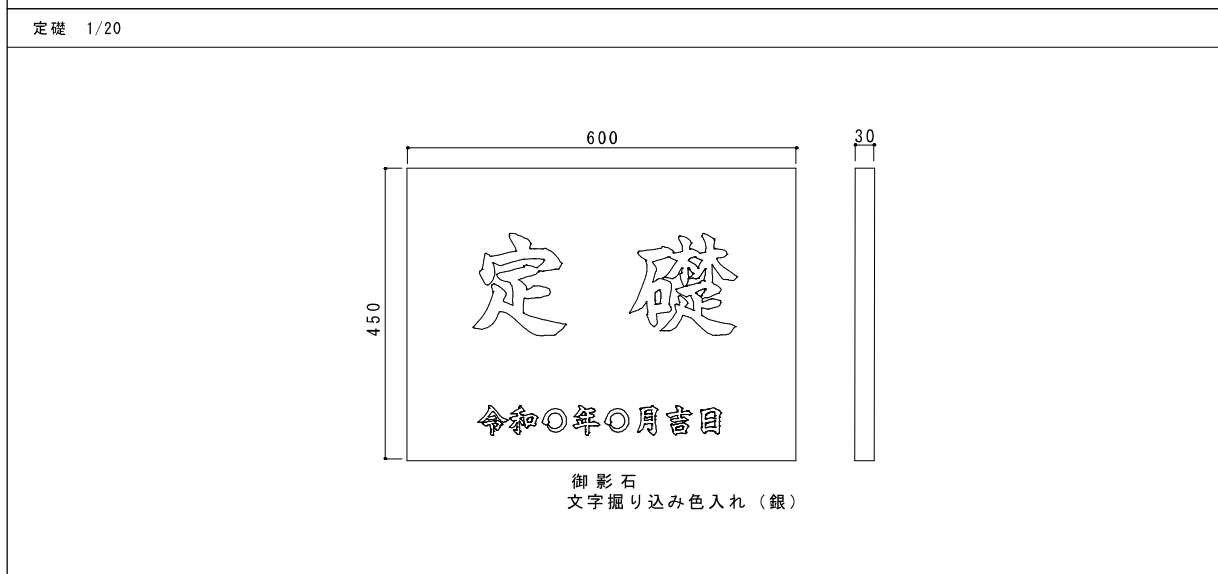
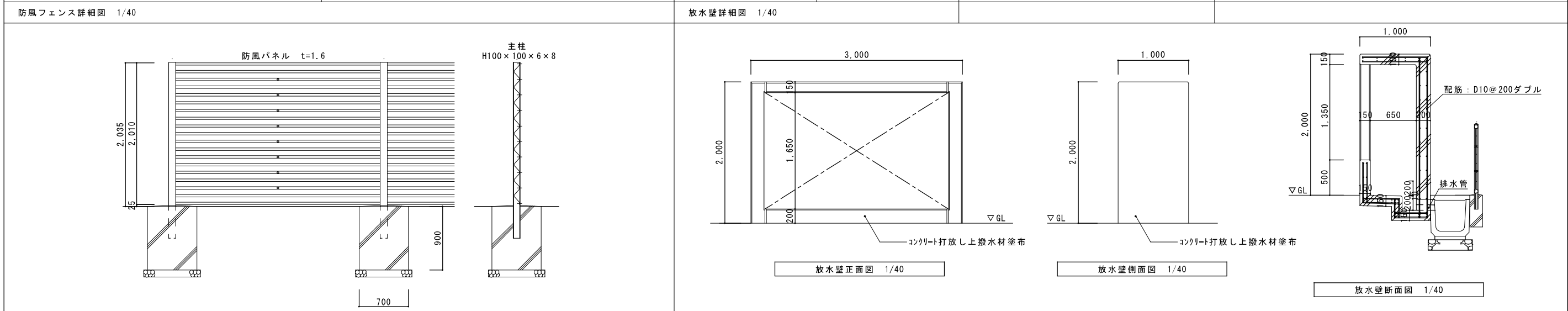
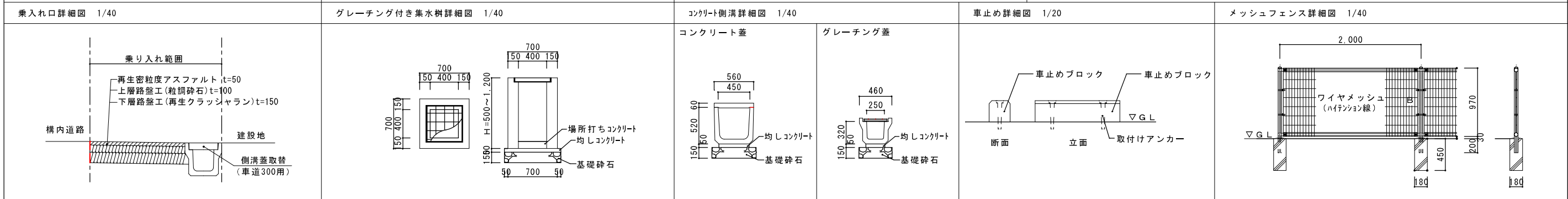
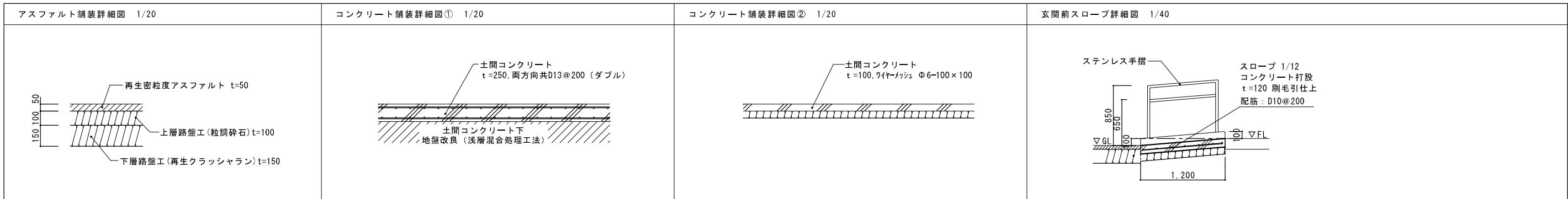


∅	小口径樹150φ
---	V P 150φ
---	V P 200φ



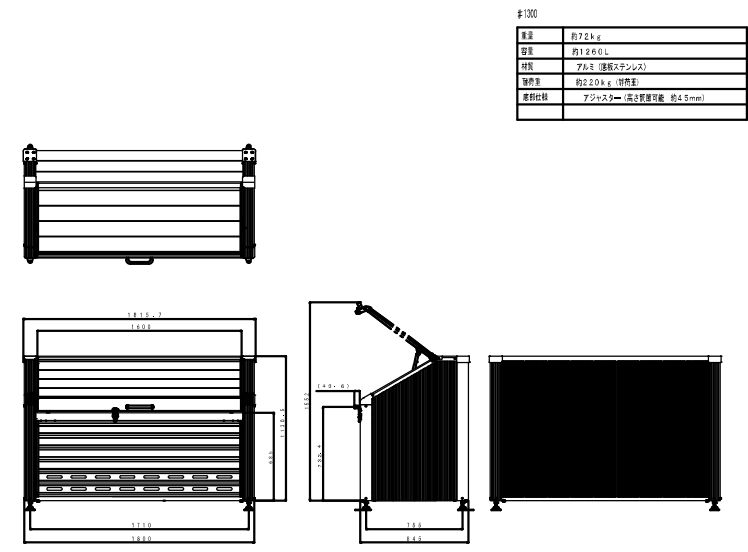
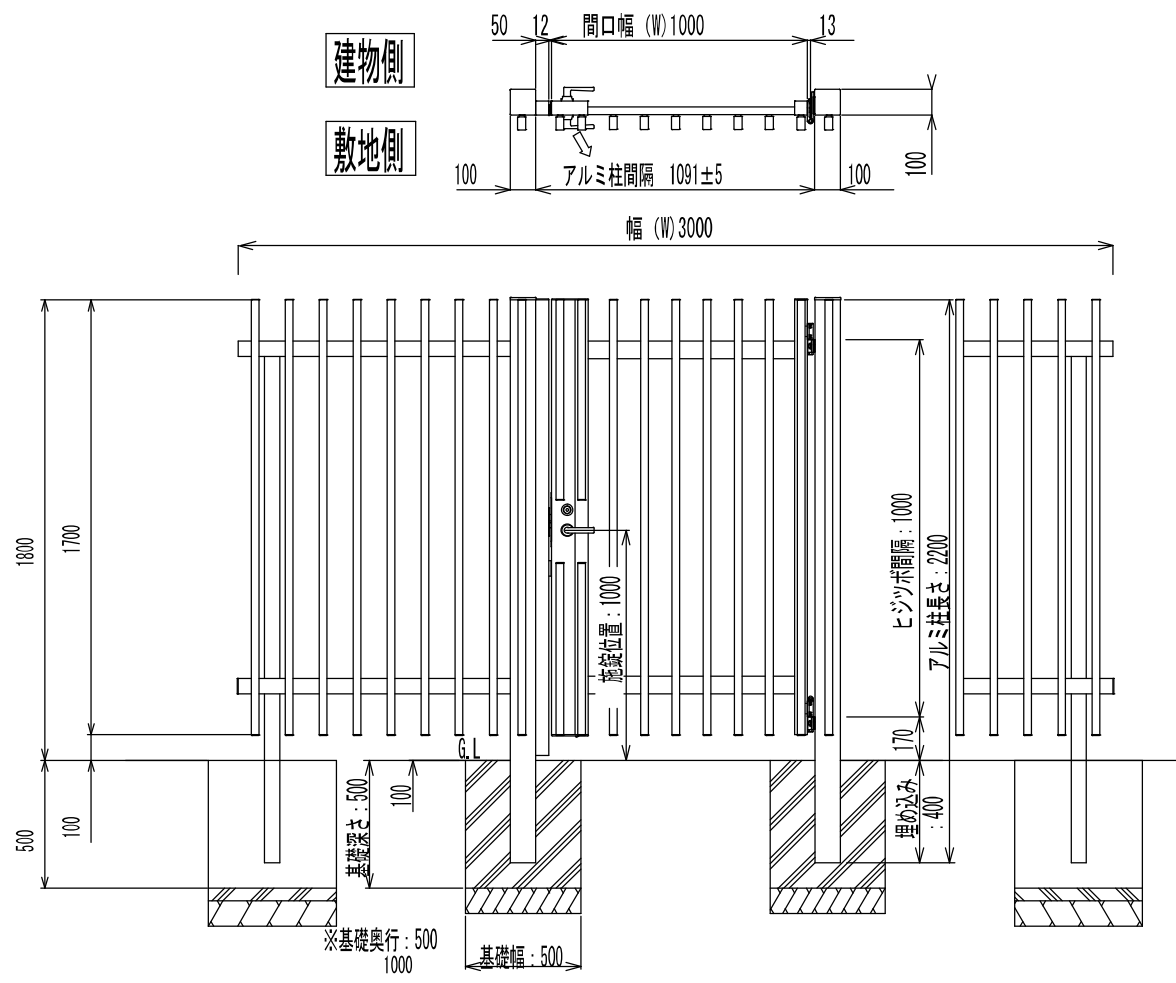
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計	改訂	製図	検図	承認	名称 雨水配管計画図	スケール 1/300	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. A-49
					図番		1級建築士 241080号			



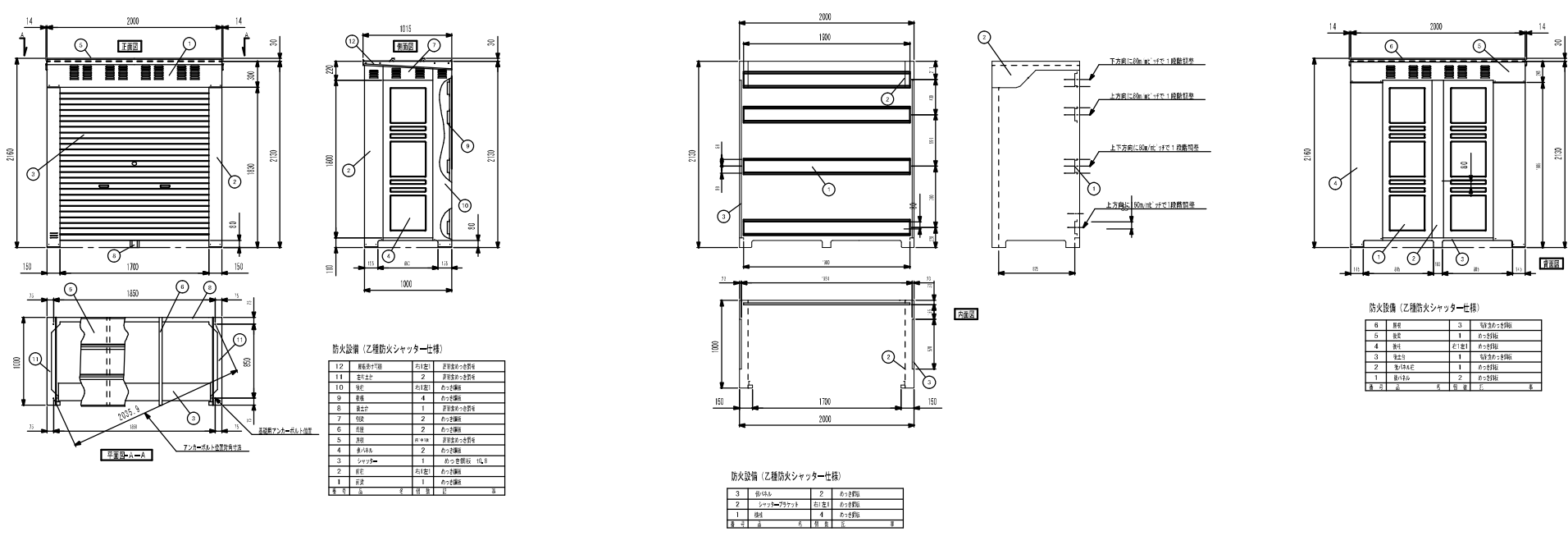
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

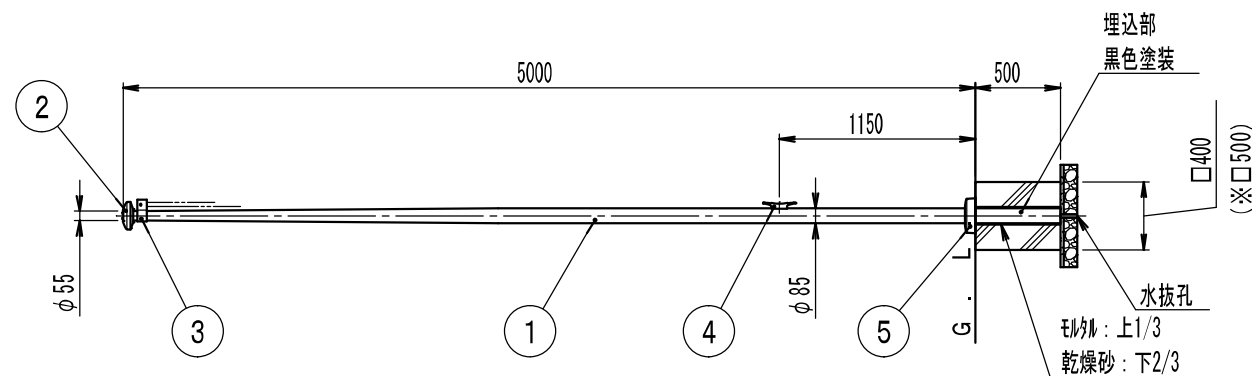
<p>工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事</p>	<p>改訂</p>	<p>製図</p>	<p>検図</p>	<p>承認</p>	<p>名称 外構詳細図1</p>	<p>スケール 1/20, 1/40</p>	<p>作成年月日</p>	<p>株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204</p>	<p>No. A-50</p>
------------------------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------------------	----------------------------	--------------	---	---------------------



※1/300

材質	アルミ
仕様	アルミ (厚板)
色	シルバー
備考	アルミ (厚板) (付帯)
その他	アルミ (厚板) (付帯)





冠頭部詳細図

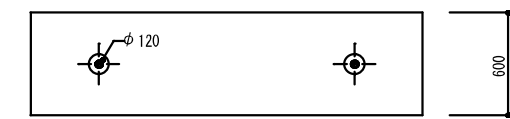
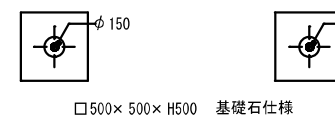
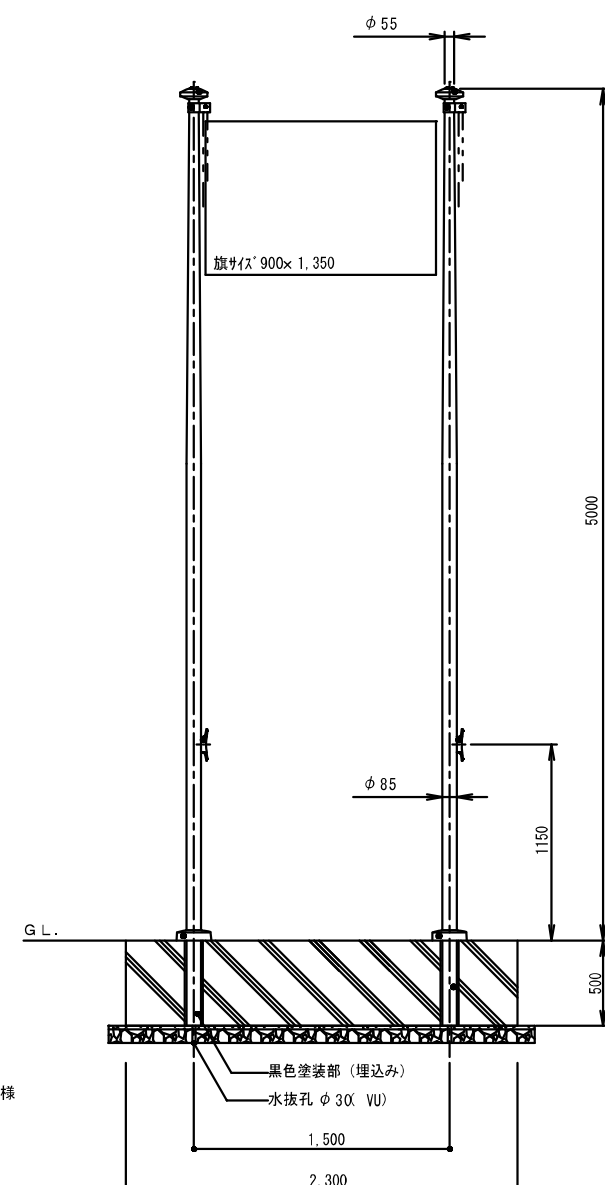
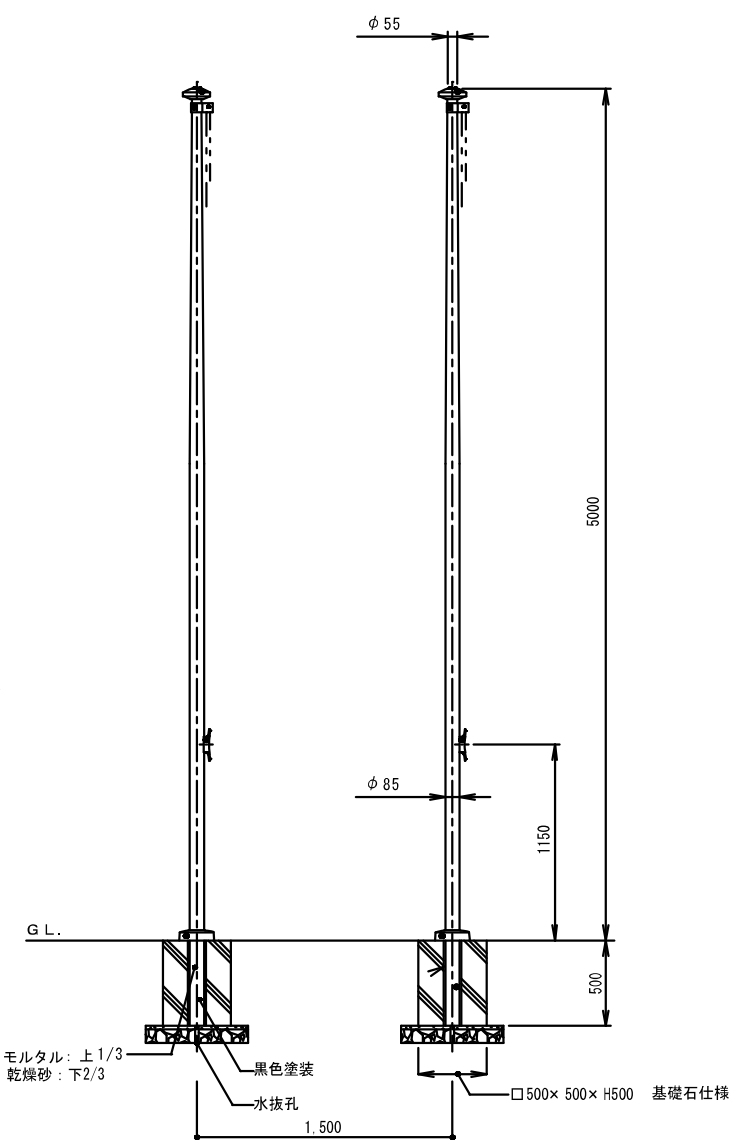
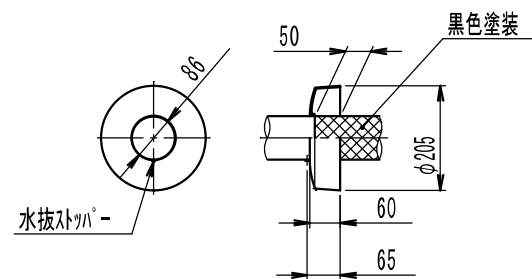
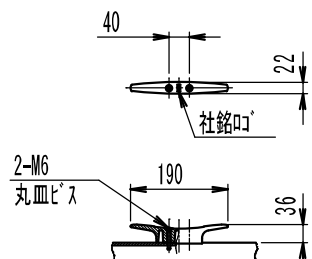
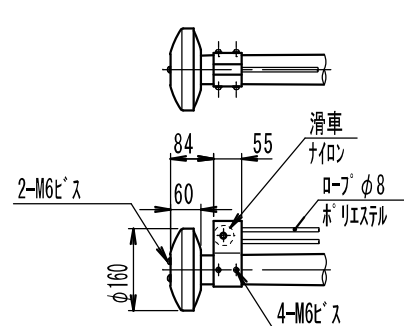
S=1/10

クリート詳細図

S=1/10

グラウンドセット詳細図

S=1/10

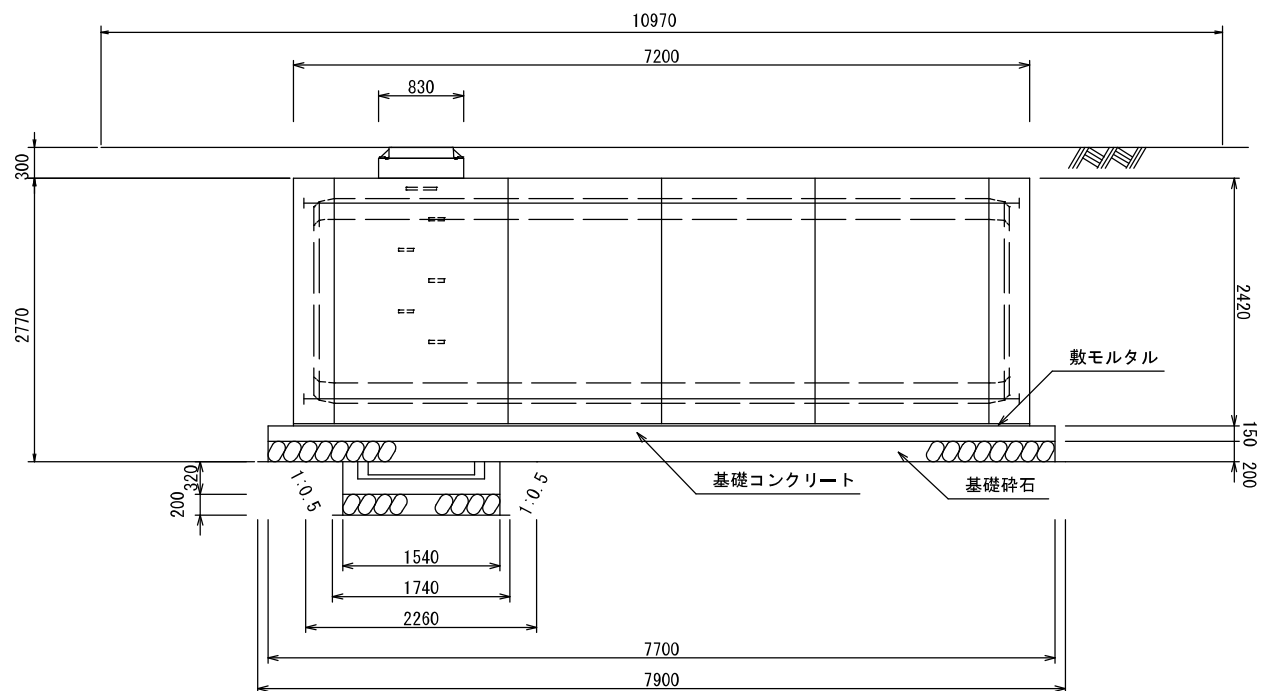


※地表面粗度区分 III・基準風速36(m/sec)を超える環境下では、基礎幅をφ500に変更してください。

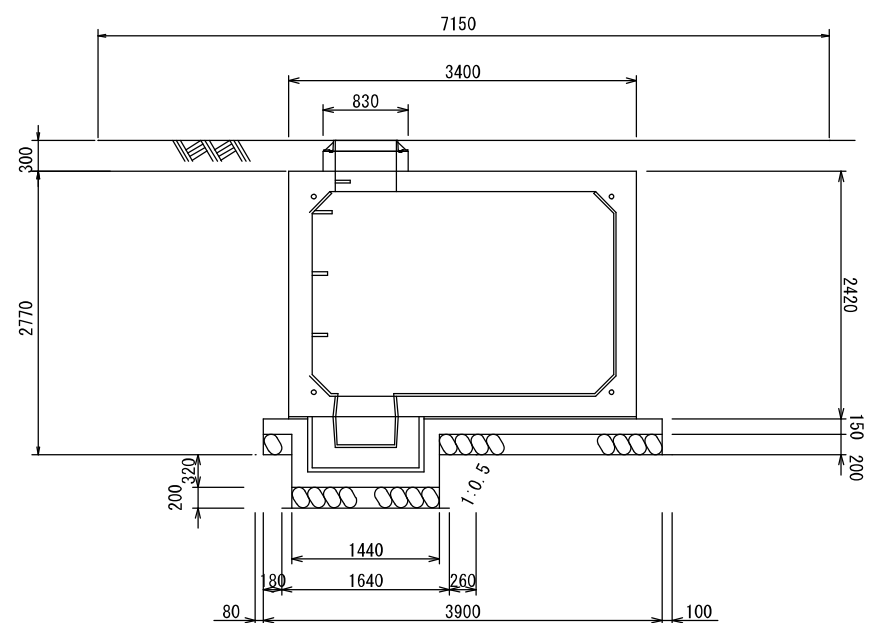
安全上、風速15m/sec以上での旗の使用はさけてください。

番号	品名	数量	材質	備考
5	グラウンドセット	1	アルミ合金ダイカスト ADC12	塗装仕上げ
4	クリート	1	アルミ合金ダイカスト ADC6	ハブ研磨後クリアー焼付塗装
3	滑車ホルダー	1	アルミ合金 A6063S-T5	焼付塗装
2	キャップ	1	アルミ合金/ポリプロピレン A1050P/PP	アルマイト処理
1	ポール	1	アルミ合金継目無管 YBZTD-T8 φ85×t2.0	H.L. 後アルマイト処理クリアー電着塗装

断面図1
S=1:50



断面図2
S=1:50



工事名称
宇城広域連合南消防署三角分署新築工事

訂

製図 検図 承認

名称 外構雑詳細図4

スケール

作成年月日



株式会社 宮田設計
管理建築士 宮田 真一
MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204

事務所登録番号 3266号

1級建築士 241080号

No.

A-53

構造特記仕様書

・適用は口内に■印又はレ印を記入
・特記なき事項は、(一社)公共建築協会【公共建築工事標準仕様書】、日本建築学会【鉄筋コンクリート造配筋指針】、日本建築学会【壁構造配筋指針】による

1. 建物概要
(1) 工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事
(2) 構造種別 ■ 鉄筋コンクリート造
(3) 階数・規模 地上 1 階 地下 1 階 塔屋 1 階
(4) 屋上付属物
(5) 工事種別 ■ 新築
(6) 増築予定
(7) 特殊荷重
(8) 基礎形式 ■ 独立基礎
(9) 構造計算ルート
(10) その他

2. 使用構造材料
(1) コンクリート
(2) コンクリートブロック
(3) 鉄筋
(4) 鉄骨
(5) ボルト類
(6) 地業工事

(3) 杭基礎
杭種 材料 施工法
既製杭
場所打杭
杭仕様
杭径(mm) 長期支持力(kN) 本 備考

4. 鉄筋コンクリート工事
(1) コンクリート
(2) 鉄筋
(3) 型枠

注) 1. 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。
注) 2. 大梁の支柱の盛り替えは行わない。また、その他の梁の場合も、盛り替えは原則として行わない。

5. 鉄骨工事
(1) 工事監理者の承諾を必要とするもの
(2) 工事監理者が行なう検査項目
(3) 溶接部の検査
(4) 防錆塗料

6. 設備関係
(1) 特記以外の縦貫通孔は原則として設けない。
(2) 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承諾を得ること。
(3) 床スラブ内に設備配管を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を5cm以上とする。

7. その他
各試験及び検査は、事前に工事監理者に連絡すること。
各試験の供試体は、公的機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。

発行 一般社団法人 熊本県建築士事務所協会
熊本市中央区九品寺四丁目 8-1-1 熊本県建設会館 別館 2 階
平成 24 年 3 月 改訂
平成 26 年 6 月 改訂
平成 30 年 3 月 改訂
建築士法及び著作権法により、本標準図の全部もしくは一部のコピーは禁じられています。
本標準図は 1 物件 1 工事ごとに原図を使用して下さい。

認定(評定)項目・認定(評定)番号
株式会社ビルド総合設計
一級建築士事務所
一級建築士登録番号 第305026号
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号
株券図 申請図 最終図 変更図 2025.01.10.
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事
改訂
製図 検図 承認
名称 構造特記仕様書
スケール NS
作成年月日
株式会社 富田設計
管理建築士 富田 真一
事務所登録番号 3266号
1級建築士 241080号
No. S-01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1-1 基本事項

- § 1 . 一般事項
- 仕様材料、工法等は構造特記仕様書による。
 - 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書にて指定した仕様書及び日本建築学会「JASS5(2015)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
 - 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
 - 本標準図に示す単位は特記なき限り全てmmとする。

1-2 その他

2-1 鉄筋の表示記号

§ 2 . 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	×	○	◎	⊙	⊚	⊛	⊜	⊝	⊞	
呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径D	11	14	18	21	25	28	33	38	40	43	46

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- 溶接継手表示(ガス圧接)

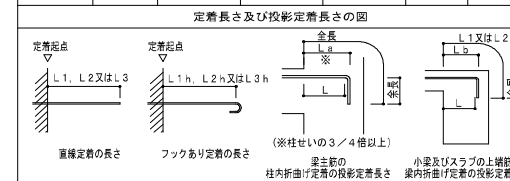
鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A, SD295B, SD345	SD390	SD390
180°		D16以下	D19~D38	D19~D38
135°		3d以上	4d以上	5d以上
90°		4d以上	5d以上	6d以上
135°及び90°(複合折曲)		4d以上	5d以上	6d以上

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
2. 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

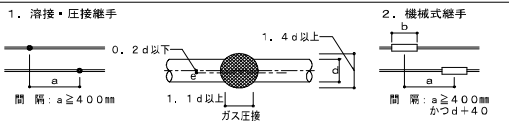
2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(N/mm ²)	定着の長さ				投影定着	
		重ね継手	一般	小梁・スラブ	La	Lb	
SD295A, SD295B, SD345	18	4.5d(50d)	4.0d(40d)	3.5d(35d)	20d	15d	
	21	4.0d(45d)	3.5d(35d)	3.0d(30d)	15d	(20d)	
	24・27	3.5d(40d)	3.0d(35d)	2.5d(25d)	15d	15d	
SD390	21	5.0d	4.0d	3.5d	20d	20d	
	24・27	4.5d	4.0d	3.5d	20d	20d	
	30~36	4.0d	3.5d	3.0d	20d	15d	

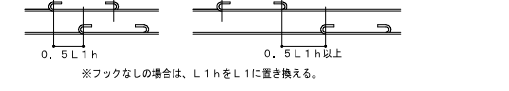


- フックありの場合は、フック部分を含まない。
- 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。
- 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の重ね継手の長さは特記による。特記がない場合、耐力壁の鉄筋の重ね継手は40d(軽量コンクリートの場合は50d)と表の重ね継手の長さのうち大きい値とし、耐力壁以外は上表の値とする。

2-4 継手一般



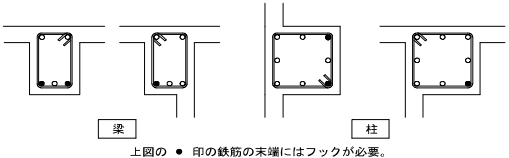
- 重ね継手(下記のいずれかとする。壁及びスラブ筋でD16以下の場合は除く)
- ガス圧接
- 機械式継手



- D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いず、溶接、機械式継手等とする。
- 鉄筋径の差はガス圧接の場合は2サイズとする。
- 突合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2-5 鉄筋のフック

- 下記の1.~7.に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
- あばら筋及び帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)



2-6 鉄筋のあき

- 片持ちスラブの上端筋の先端
- 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭部の四隅の鉄筋
- 杭基礎の基礎筋
- 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

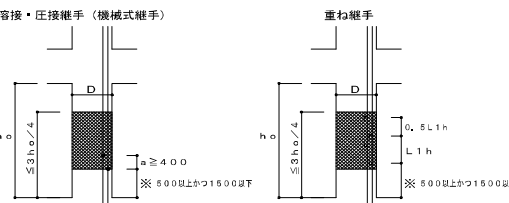
2-7 かぶりの厚さ

- 鉄筋のあきaは原則として下記による。
- 呼び名の数値dの1.5倍以上
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
- かつ2.5以上

構造部分の種類	最小かぶり厚さ
採用する欄に○印を記入すること	標準 特記
スラブ、耐力壁	仕上げあり 20
以外の壁	仕上げなし 30
柱	屋内 仕上げあり 30
梁	仕上げなし 30
耐力壁	屋内 仕上げあり 30
	屋外 仕上げなし 40
擁壁、耐圧スラブ	40
土に接しない部分	柱、梁、スラブ、壁 *40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ *60
土に接する部分	煙突等高温を受ける部分 60

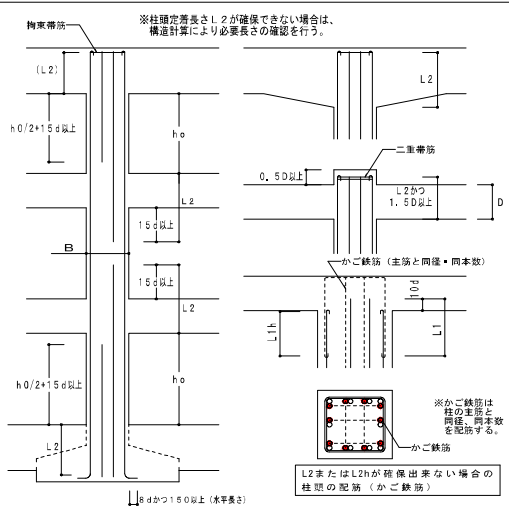
- *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し軽量コンクリートの場合は特記による。
- *「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗料、塗装等)のものを除く。
- スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
- 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。
- 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋径の1.5倍以上を最小かぶり厚さとする。

3-1 主筋の継手

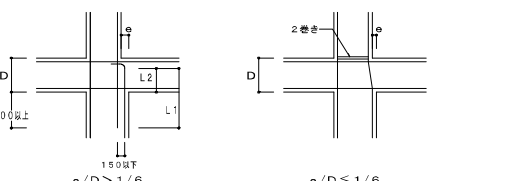


- 溶接・圧接継手(機械式継手)
- 重ね継手

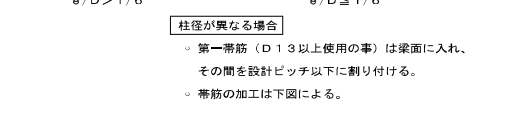
3-2 主筋の定着



3-3 帯筋



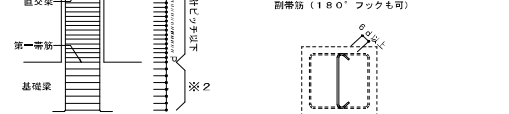
3-4 斜め柱・斜め梁



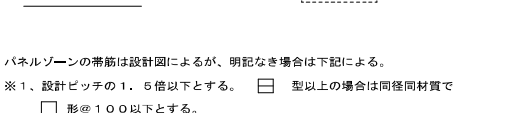
3-5 二段筋の保持



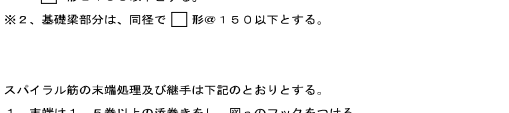
3-6 主筋の継手



3-7 主筋の定着及び余長



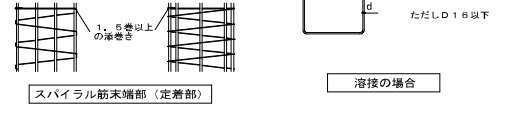
3-8 中柱



3-9 外柱



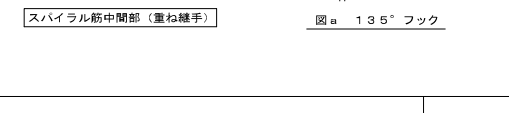
3-10 最上階



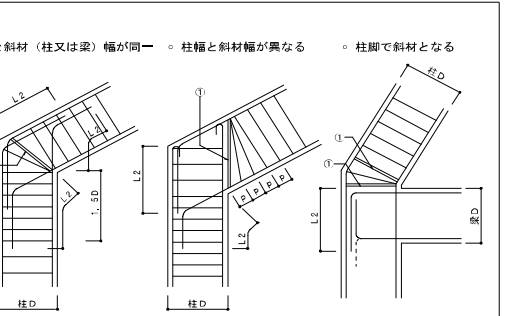
3-11 一般階



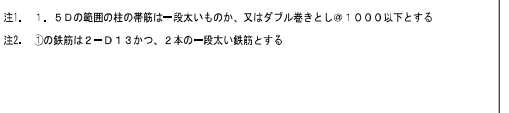
3-12 梁成り異なる場合



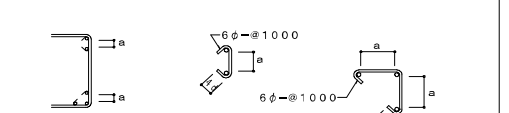
§ 4 . 梁



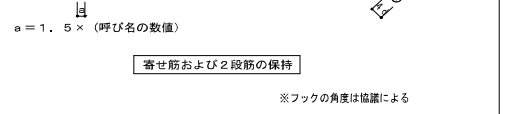
4-1 主筋の継手



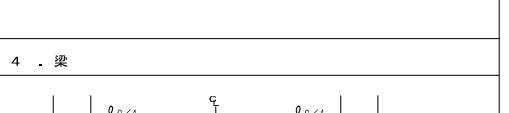
4-2 主筋の定着及び余長



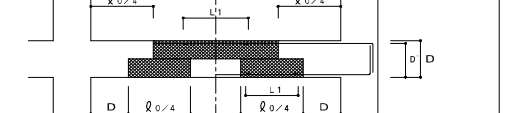
4-3 中柱



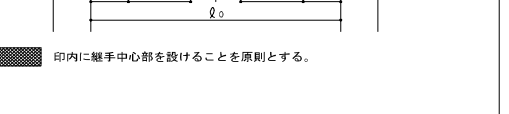
4-4 外柱



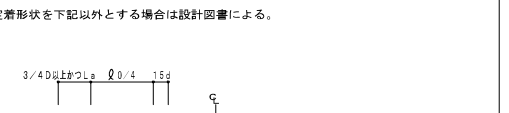
4-5 最上階



4-6 一般階



4-7 梁成り異なる場合



発行 一般社団法人 熊本県建築士事務所協会
熊本市中央区九品寺四丁目8-17 熊本県建設会館 別館2階

平成24年 3月 改訂
平成24年 6月 改訂
平成26年 6月 改訂
平成30年 3月 改訂

建築士法及び著作権法により、本標準図の全部もしくは一部のコピーは禁じられています。
本標準図は1物件1工事ごとに原図を使用して下さい。

設計者

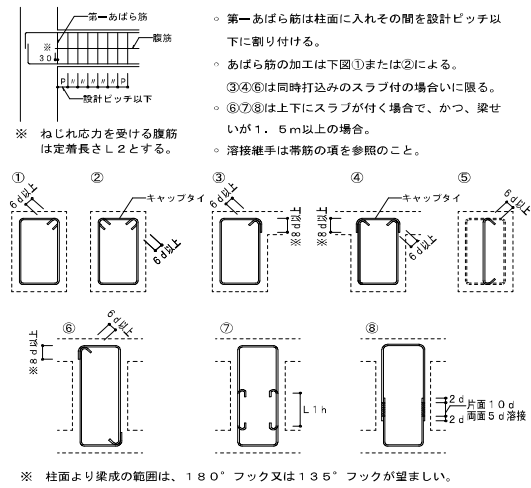
株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所
一級建築士登録番号 第305026号
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号
熊本市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
谷口 規子
2025.01.10

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	スケール	NS	作成年月日		設計者	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No.	S-02
------	--------------------	----	----	----	----	----	--------------------	------	----	-------	--	-----	--	--------------------------------	-----	------

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

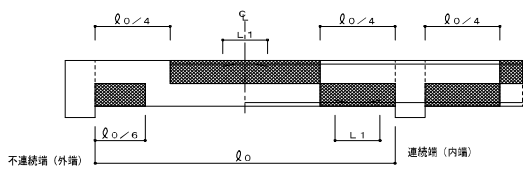
4-3 あばら筋 副あばら筋



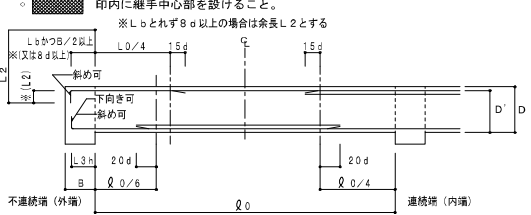
4-4 補助筋



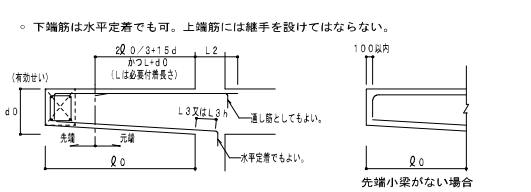
4-5 小梁及び片持梁



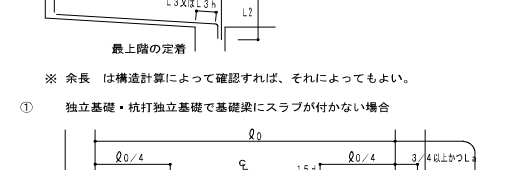
定着



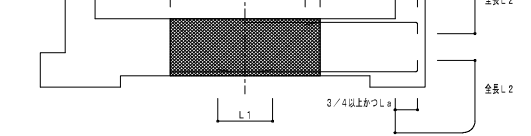
b) 片持梁 定着 継手



4-6 基礎梁及び基礎小梁

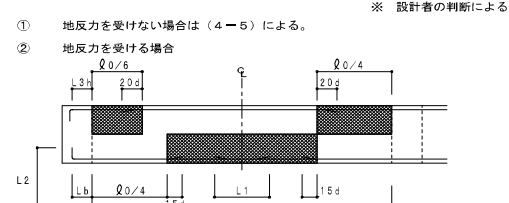
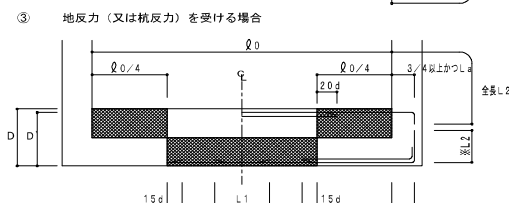
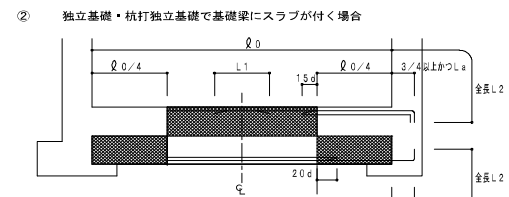


a) 基礎梁の継手及び定着

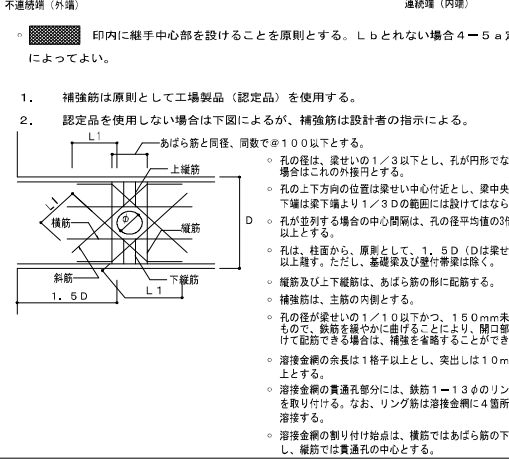


b) 基礎小梁の継手及び定着

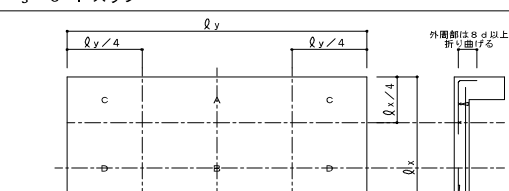
4-7 梁の貫通補強



4-7 梁の貫通補強



5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着

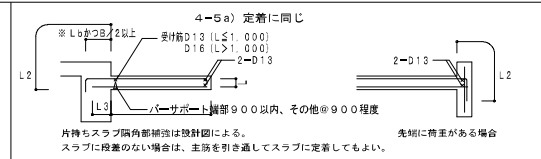


5-2 継手

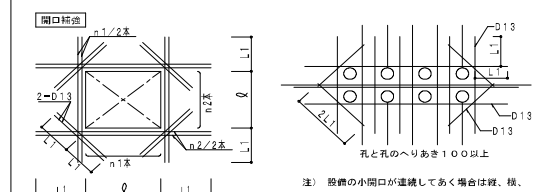


		標準継手位置	
上端筋	短辺方向	B	D
	長辺方向	A	B
下端筋	短辺・長辺方向	A	C

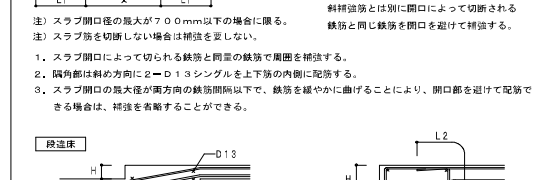
5-3 片持ちスラブ



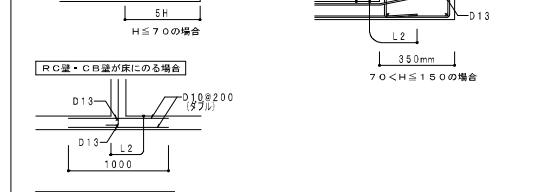
5-4 スラブ開口補強



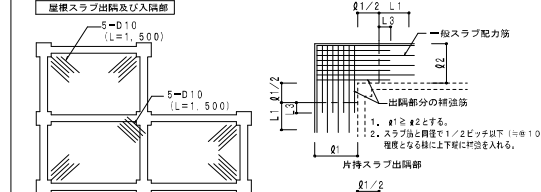
5-5 定着に同じ



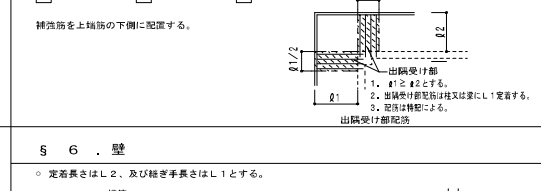
5-6 壁



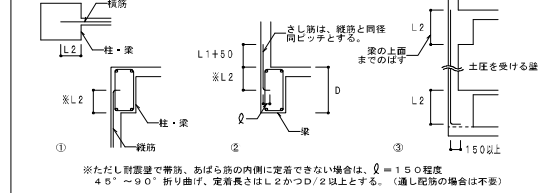
5-7 基礎



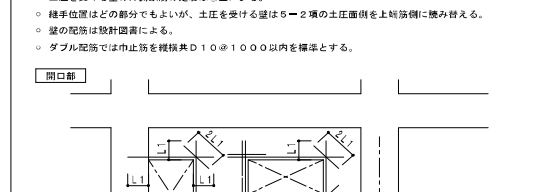
5-8 継手



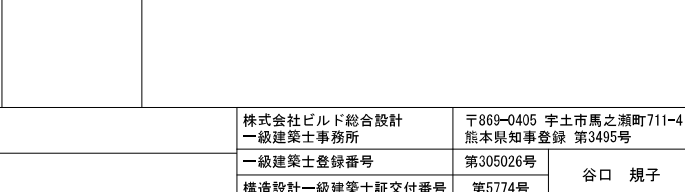
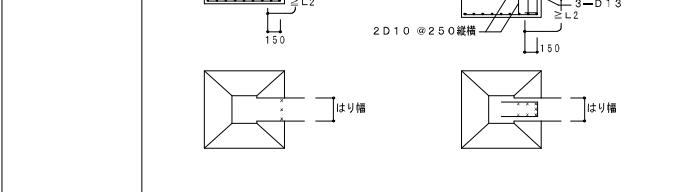
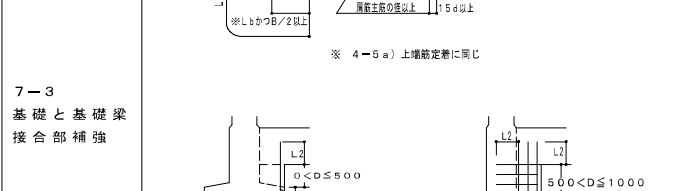
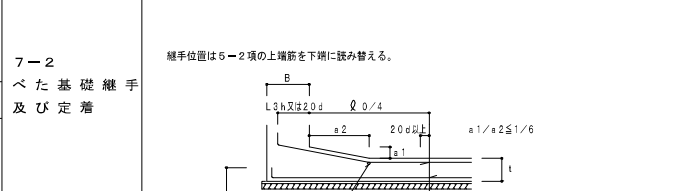
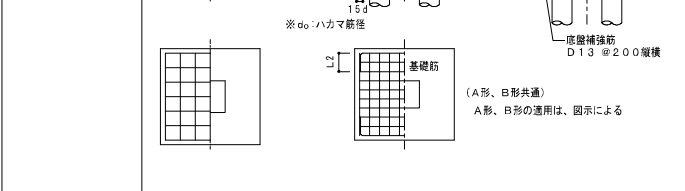
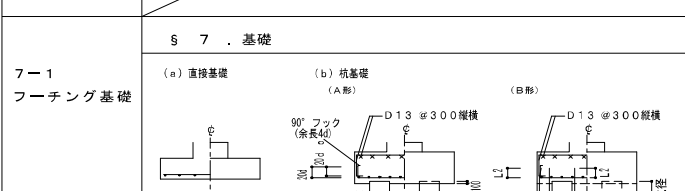
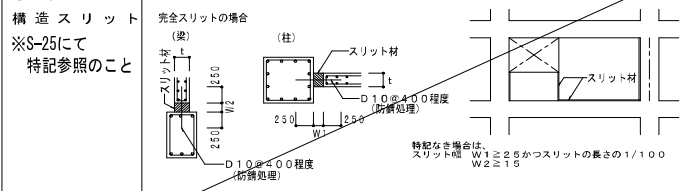
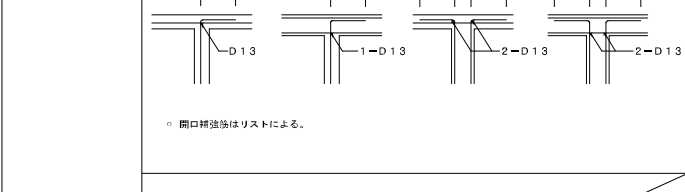
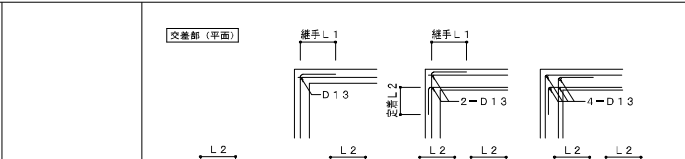
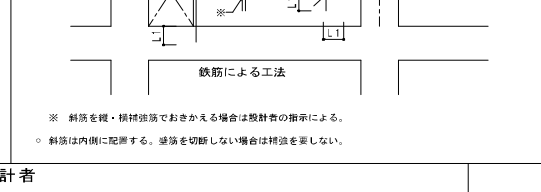
5-9 定着及び継手



5-10 壁配筋



5-11 補強筋



発行 一般社団法人 熊本県建築士事務所協会
 熊本市中央区九品寺四丁目8-17 熊本県建設会館 別館2階

平成24年3月改訂
 平成24年6月改訂
 平成26年6月改訂
 平成30年3月改訂

建築士法及び著作権法により、本標準図の全部もしくは一部のコピーは禁じられています。
 本標準図は1物件1工事ごとに原図を使用して下さい。

設計者

株式会社ビルド総合設計
 一級建築士事務所
 一級建築士登録番号 第305026号
 構造設計一級建築士証交付番号 第5774号
 株券図 申請図 最終図 変更図 2025.01.10.

〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4
 熊本県知事登録 第3495号

谷口 規子

工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図 検図 承認	名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	スケール	NS	作成年月日		設計者	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号	3266号	No.	S-03
------	--------------------	----	----------	----	--------------------	------	----	-------	--	-----	--	---------	-------	-----	------

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

1. 一般事項

- 本仕様書は、(財)日本建築センターの一般評定「BCJ評定-RC0097-07」に適合するように標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- 本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」及び「建築工事標準仕様書・同解説 (JASS5) 鉄筋コンクリート工事」による。

2. 適用範囲

(1) 使用材料

a) コンクリート設計基準強度

$$21 \leq F_c \leq 80 \text{ N/mm}^2$$

b) 主筋

普通鉄筋のうち以下の種類

SD295A, SD345, SD390, SD490

高強度鉄筋のうち以下の種類

SD590, SD685 ただし、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品

c) あばら筋

普通鉄筋のうち以下の種類

SD295A, SD345, SD390

高強度鉄筋のうち以下の種類

685N/mm², 785N/mm² 級または1275N/mm² 級高強度鉄筋のうち、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品

d) 開孔補強筋

785N/mm² 級せん断補強筋ストロングフープ用棒鋼【認定番号 MSRB-0005】

785N/mm² 級せん断補強筋ストロングフープ用棒鋼 (インデント付)【認定番号 MSRB-0124】

785N/mm² 級せん断補強筋ストロングフープ用棒鋼 (インデント無)【認定番号 MSRB-0125】

(2) 開孔径および位置

a) 開孔径 H

あばら筋に普通強度鉄筋を用いる梁 $100\text{mm} \leq H \leq 750\text{mm}$

あばら筋に高強度鉄筋を用いる梁 $100\text{mm} \leq H \leq 450\text{mm}$

開孔の形状は円形または多角形とし、梁成の1/3以下とする。

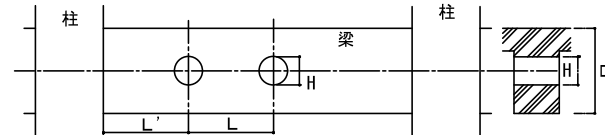
(多角形の場合は外接する円形とみなす。)

b) 開孔中心間距離 L

開孔中心間距離は、開孔径の3倍以上とする。また、隣り合う開孔径が異なる場合には、双方の開孔径の平均値の3倍以上とする。

c) 柱際から開孔中心までの距離 L'

柱面から梁せい以上離すこととする。



d) へりあきの最小寸法

梁せい $450\text{mm} \leq D < 700\text{mm}$ へりあき 175mm

梁せい $700\text{mm} \leq D < 900\text{mm}$ へりあき 200mm

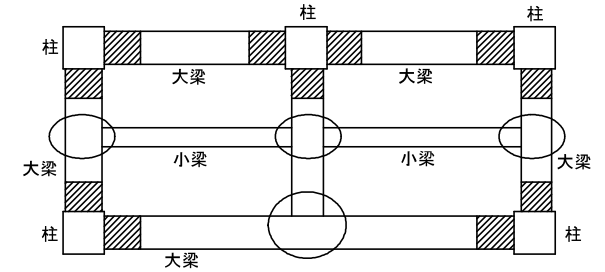
梁せい $900\text{mm} \leq D$ へりあき 250mm

e) 梁が交差する場合の梁面から開孔中心までの距離

開孔補強筋が直交する梁の配筋と干渉しない範囲で開孔を設けることができる。

■ : 柱面から梁せい以上離す。

○ : 大梁、小梁とも開孔補強筋が直交する梁の配筋に干渉しない範囲で開孔可。



3. 標準配筋図

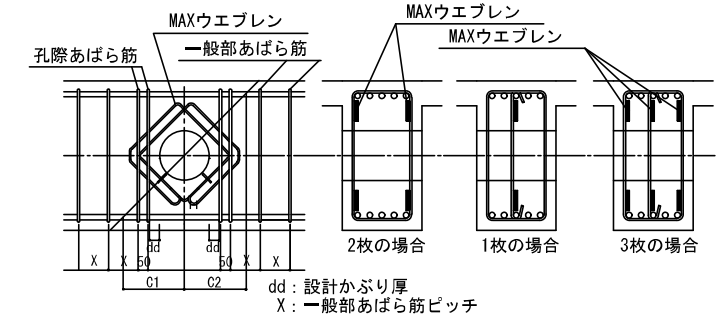
(1) MAXウェブレンの取り付け位置

MAXウェブレンはあばら筋の内側に取り付ける。

3枚以上施工する場合は中子筋へ取り付けるか、開孔補強筋を連続固定できるJ筋 (ジョイント金具) により施工する。

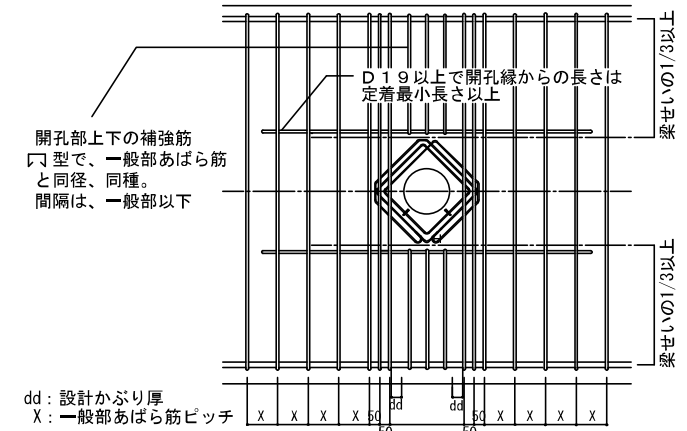
(2) 孔際あばら筋

孔際あばら筋は、原則として一般部あばら筋と同種、同径、同本数とし、開孔部の両側に1組以上配筋する。位置は開孔縁から設計かぶり厚を確保した位置に1組目を配筋し、複数組配筋する場合は、その間隔を50mmとする。



4. 大开孔時の補強方法

開孔径が400mm以上で主筋とMAXウェブレンの最外位置との間隔が梁せいの1/3以上となる場合は右図に示す補強を行う。なお、この補強が必要となる条件は(財)日本建築センターの評定時に指導された最低基準であるので、開孔位置等の状況によっては図に示す数値以下であっても補強が必要となる場合がある。従って開孔部の上下補強については設計担当者と協議検討のうえ決定する。



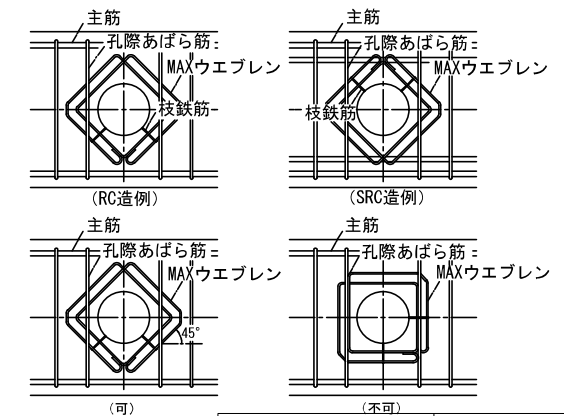
5. 施工要領

(1) 標準的な施工順序

- RC造
 - 開孔位置の芯出しを行う。
 - MAXウェブレンをあばら筋内に挿入し、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。
- SRC造
 - あばら筋の配筋前に、鋼管スリーブにMAXウェブレンを掛け、仮置きする。
 - あばら筋を配筋後、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。

(2) MAXウェブレンの取り付け方向

MAXウェブレンはあばら筋に対して環状鉄筋が45° になるように取り付ける。



※施工前に使用する梁貫通孔について検討を行うこと。

株式会社ビルド総合設計		〒869-0405 宇土市馬之瀬町711-4	
一級建築士事務所		熊本県知事登録 第3495号	
一級建築士登録番号		第305026号	
構造設計一級建築士証交付番号		第5774号	
執筆図	申請図	最終図	変更図
		2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 MAXウェブレン標準仕様書	スケール NS	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-07
		図番								

エルマッドS工法 (GBRC性能証明第11-14号 改3(更1)) 特記仕様書
 — スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法 —

1. 工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を構築する工法である。

2. 一般事項

本工法は、本特記仕様書によるほか下記の参考資料による。
 『2018年版 建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針』
 (財) 日本建築センター・ベターリビング

3. 特記事項

改良体の形状、寸法、及び配置は、設計図書による。ただし土質や地盤の状況により設計仕様を変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認を受けて変更することができる。

本工事における改良体の設計基準強度 (σ_{28}) は下記の通りとする。
 $F_c = (\quad 0.90 \quad) N/mm^2$

- ・長期設計地耐力 : LFe= 300 kN/m²
- ・推定配合量 : 240 kg/m³
- ・使用予定硬化材料 : セメント系固化材
- ・改良長 (1回につき) : 0.6~6.0m
- ・施工管理装置 : 改良体の出来形・電気比抵抗値
攪拌時間もしくは羽根切り回数記録
- ・攪拌混合装置 : ローター式バケットミキサー もしくは (砂質土) ミキシングバケット・スケルトンバケット
- ・供試体の採取方法 : 未固化試料採取 または、頭部コア・全長コア
- ・造成工事業者 : 建築技術審査証明書を取得した専門業者の責任施工

4. 施工計画

工事に先だち下記事項を記載した施工計画書を監督員に提出し承諾を受ける。

- ① 工事概要
- ② 計画・設計の条件
- ③ 施工計画 (施工機械・作業計画・材料計画・工程計画)
 - 組織編成表
 - 工程
 - 使用機械
 - 使用材料
 - 施工手順
 - 作業手順
- ④ 施工管理計画
- ⑤ 品質管理計画
- ⑥ 安全管理計画
- ⑦ 技術資料
- ⑧ その他

5. 配合計画

(1) 配合強度

次式を用いて求める。
 $Xf = at \times Fc$

Xf: 配合強度
 at: 変動係数・採取ヶ数による割増係数
 Fc: 設計基準強度

割増係数 (at) 合格率90%

採取ヶ数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
変動係数 0.25	0.25	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651
変動係数 0.30	0.30	2.237	1.939	1.835	1.736	1.619
Vd	0.35	2.425	2.064	1.923	1.794	1.711

(2) 室内配合試験

室内配合試験用サンプル採取 1箇所

室内試験用土砂採取の上、改良対象土について下記の試験を行い、試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。

- ① 単位体積重量・含水比・粒度組成
- ② 試験体 (JGS0821による供試体の製作)
 - イ. 推定算定式を用い、必要固化材量・水量を求める。
 - ロ. 所定量の土・固化材・水を加え、ソイルミキサーにて混合する。
- ・材令3日・材令7日の一軸圧縮試験
 - 一軸圧縮試験は、JIS A 1109による。
- ・六価クロム溶出試験を行い、基準値以内であることを確認する。

6. 施工要領

基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が判明した場合は別途検討する。

- ① 施工位置を確認する。
- ② 掘削
- ③ 掘削完了・計測
- ④ 流動化処理工程 (計測初期値セット)
- ⑤ 流動化処理工程 (造成)
- ⑥ 流動化処理工程 (品質管理)
- ⑦ 未固化試料採取
- ⑧ 造成完了
- ⑨ 施工に対して質疑が生じた場合は、ただちに監督員と協議しその指示を受ける。

7. 施工管理

施工管理には、改良寸法と混合状態がリアルタイムに表示される管理装置を用いる。

- (1) 支持層を目視にて確認
- (2) 改良寸法の計測
- (3) 固化材及び添加水の計量
- (4) 混合状態及び出来形を管理装置にて確認
 - ・電気比抵抗値測定センサーにて比抵抗が20Ω以内であること。
 - ・攪拌時間を1m² 当り1.5分以上であること。もしくは、バケットミキサーを使用時は回転計にて羽根切り回数が1000回/m² に達しているか確認する。
- (5) 改良天端レベルの確認

8. 配合管理

- (1) 本工法に用いる固化材は、セメントおよびセメント系固化材とする。
- (2) 一回に施工する改良体積 (B×L×H) を計測し、必要な固化材量と水量を算出する。

9. 品質管理

- (1) 頭部もしくは深部サンブラーの圧縮試験用の供試体は50φ×100Hとする。
- (2) 供試体の作成は原則として検査対象150m² に1ヶ所または一日1回とするが、監督員と協議の上決定する場合がある。
- (3) 材令28日で一軸圧縮試験を行う。
- (4) 検査手法Aによる品質検査とする。
 $Xn \geq XL = Fc + ka \cdot \sigma_d = Fc + ka [Fc \times Vd / (1 - 1.3Vd)]$
 Xn / N ヶ所の一軸圧縮強度の平均値
 XL: 合格判定値
 Fc: 設計基準強度
 ka: 合格判定係数
 σ_d : 標準偏差
 Vd: 変動係数 (2%)

採取箇所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 ka	1.3	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

- (5) 材令28日強度は合格判定値を上回る事を確認する。
- (6) 合格判定値を下回る場合は、その原因を調査し、監督員と協議のうえ適切な処置を施す。

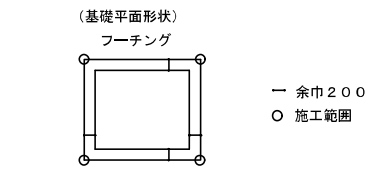
10. 報告書等

工事完了後、以下の項目について報告書を作成し、監督員に提出する。

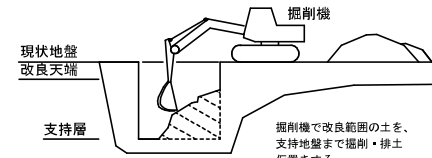
- (1) 工事日報
- (2) 施工順序の記録
- (3) 工事写真
- (4) 一軸圧縮試験結果

標準施工手順

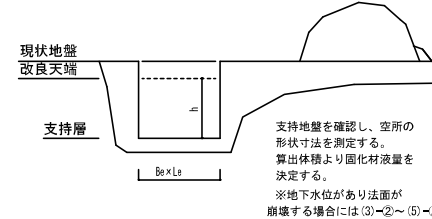
(1) 施工位置の確認



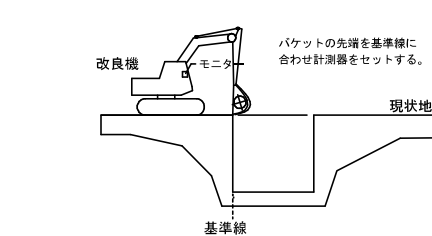
(2) 掘削工程



(3) 掘削完了・計測



(4) 流動化処理工程 (計測初期値セット)

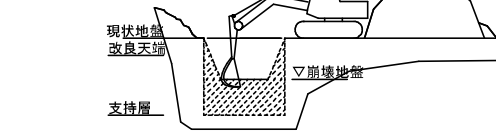


崩壊の危険性が高い場合の施工手順

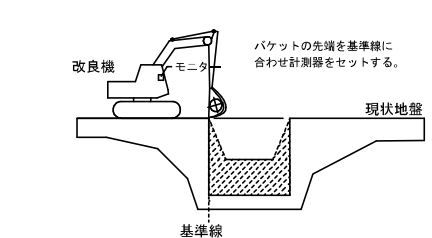
(2) より一

(3) -2

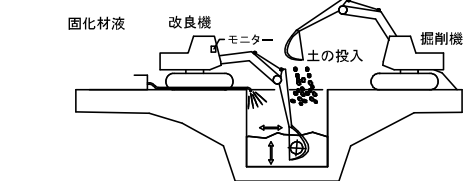
掘削面が崩壊する為、改良範囲内をのり面を付けながら、所定量の排土を行う。掘削完了後に所定の固化材液を投入する。



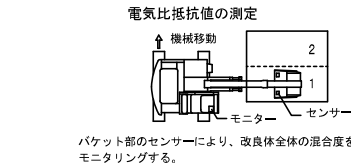
(4) -2 流動化処理工程 (計測初期値セット)



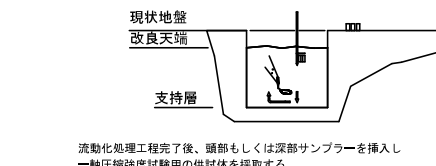
(5) 流動化処理工程 (造成)



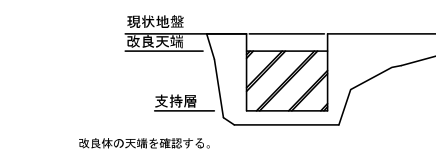
(6) 流動化処理工程 (品質管理)



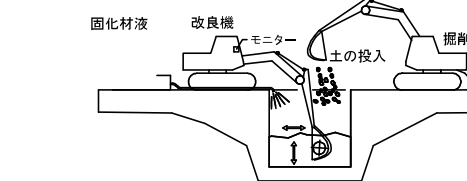
(7) 試料採取 (品質管理)



(8) 造成完了



(5) -2 流動化処理工程 (造成)



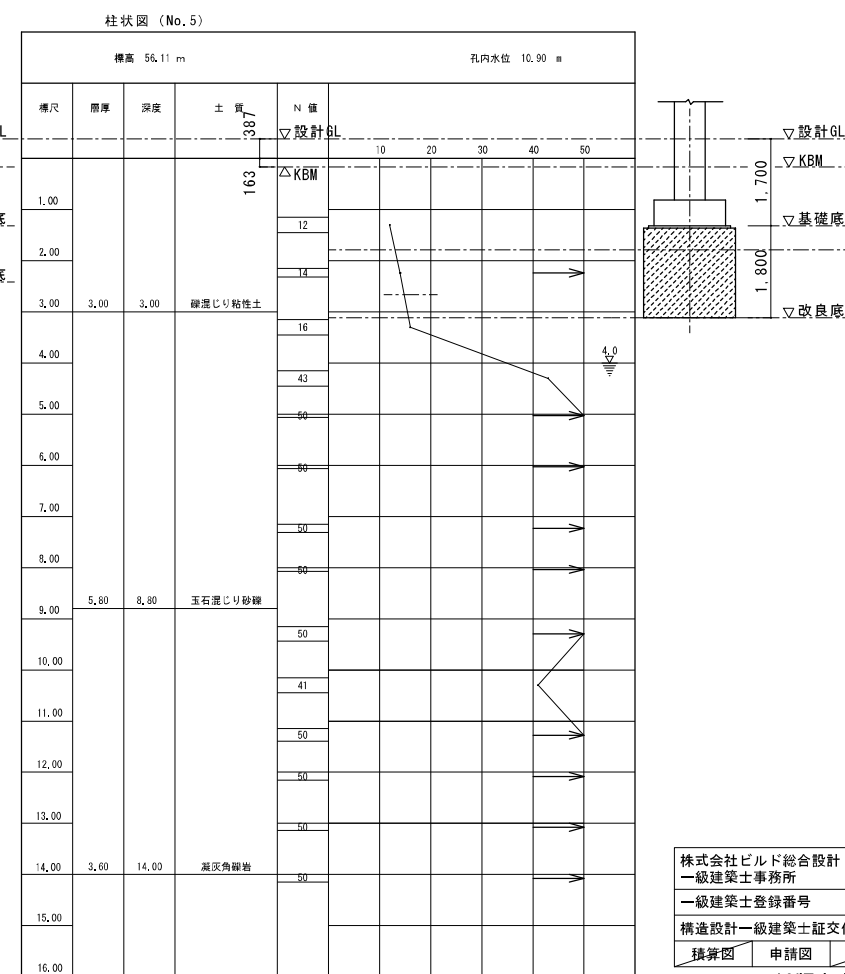
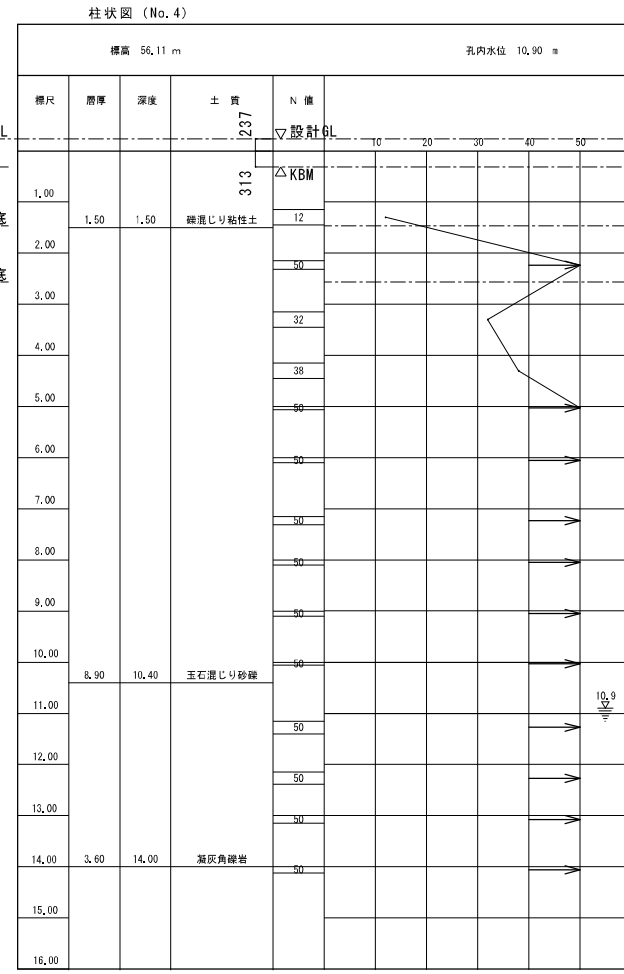
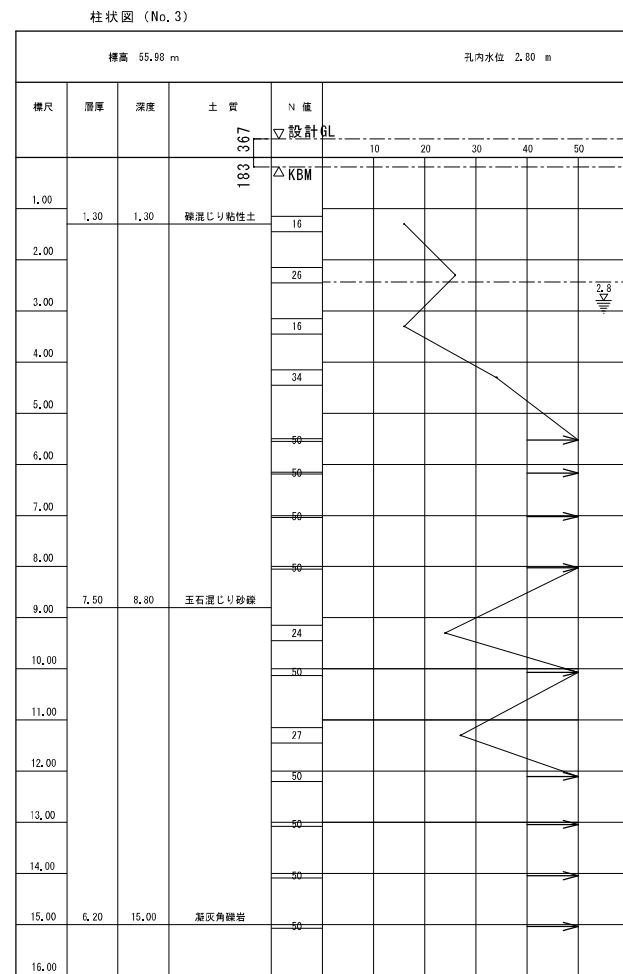
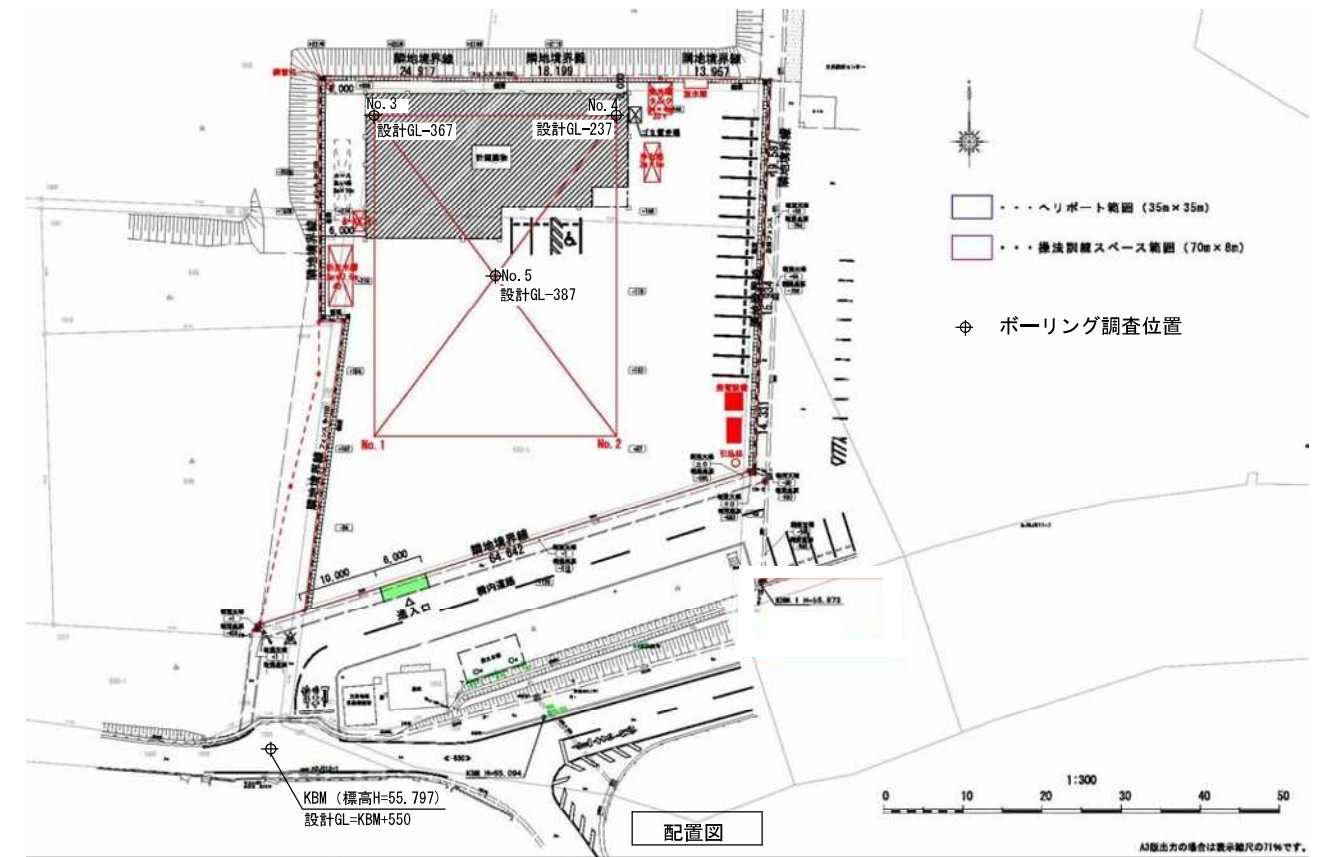
- ① 1次攪拌混合・・・所定の改良範囲まで崩壊地盤以下の現位置土と固化材液を攪拌混合する。
 - ② 2次攪拌混合・・・仮置き土を所定量入れ戻しながら固化材液を攪拌混合する。
 - ③ 改良体全体の攪拌混合
 - ・・・改良体全体を上下前後に攪拌混合し、全体が均質であることをモニターで確認する。
- (6)へ

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒869-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
採算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	エルマッドS工法特記仕様書	スケール	NS	作成年月日		株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-08
					図番									

使用材料	
1) コンクリート	普通ポルトランドセメント使用 A E減水剤使用
° 基礎・地中梁	Fc24 N/mm ² SI = 15.0 cm
° 各階コンクリート	Fc24 N/mm ² SI = 18.0 cm
° 土間コンクリート	Fc18 N/mm ² SI = 15.0 cm
° 捨コンクリート	Fc15 N/mm ²
注)	基礎・地中梁・各階コンクリートは、Fq=Fc+Sとする。 (補正值 S は 3~6 とし建築工事共通仕様書令和4年版による)
2) 鉄筋	
° SD295 D10~D16	重ね継手
° SD345 D19以上	ガス圧接、溶接継手
3) 地業	
° 基礎下	捨コンクリート 厚さ50 + 地盤改良(エルマッドS工法)
° 地中梁下	捨コンクリート 厚さ50 + 砕石敷き 厚さ100
° 土間コンクリート	地盤改良(浅層混合処理工法)
十分に転圧のこと。 ※ 盛土は砂質土とし、30cm毎に十分転圧すること。	
4) 地耐力(基礎底面での有効地耐力)	qa = 300 kN/m ² (長期) = 600 kN/m ² (短期)
注) 床付面の検査は係員立会いの下に行い、承認を受けること。	

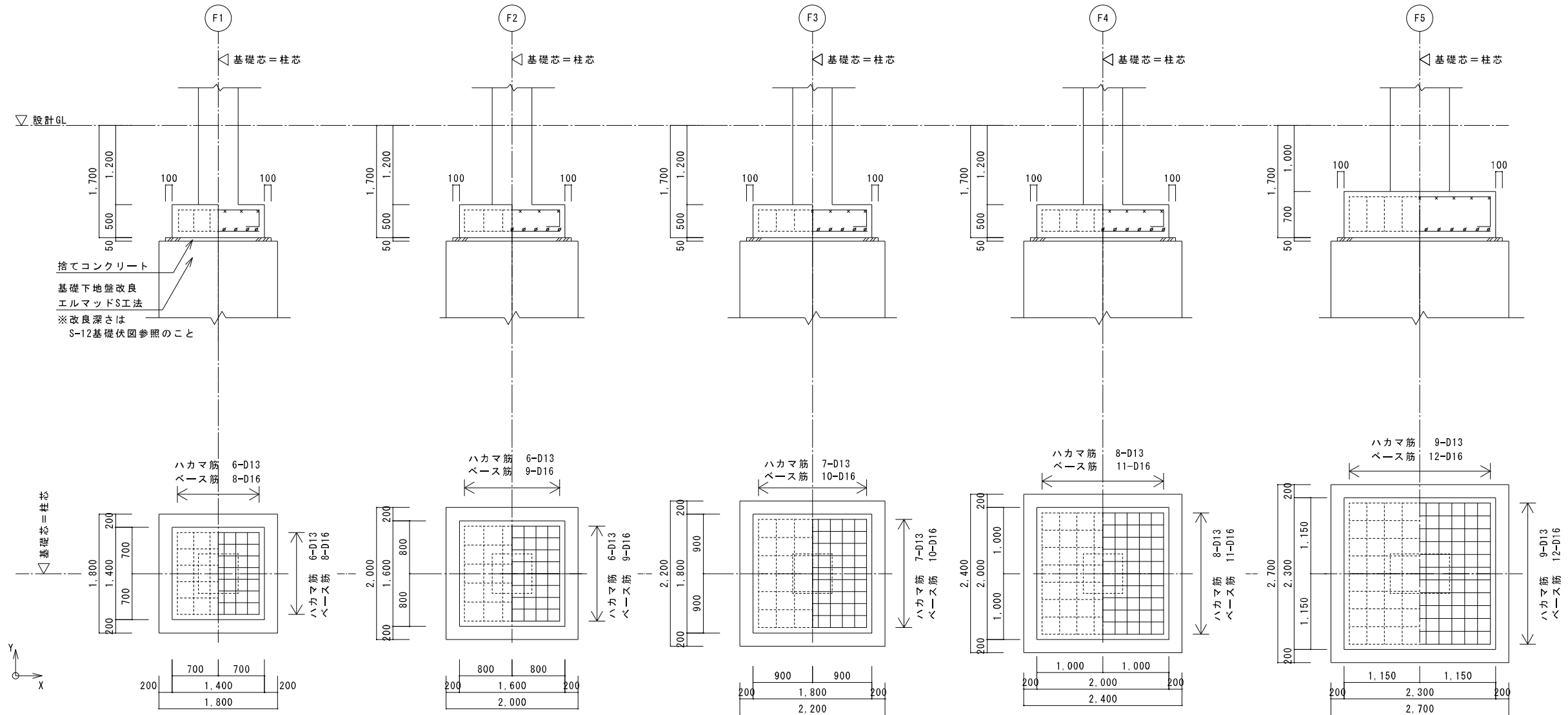


株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒869-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	使用材料・柱状図	スケール	1/100(柱状図)	作成年月日		株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 一級建築士 241080号	No. S-09
------	--------------------	----	----	----	----	----	----------	------	------------	-------	--	--	--------------------------------	-------------

基礎リスト 1/50



株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒669-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 基礎リスト	スケール 1/50	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-10
		図番								

地中梁リスト 1/30

共通事項
幅止め筋は D10@1000程度とする。

符 号	FG1・FG11	FG11A	FG2・FG12	FCG50
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面				
B × D	450 × 1000	450 × 1000	450 × 1400	550 × 800
上 端 筋	5-D22	5-D22	7-D22	3-D19
下 端 筋	5-D22	5-D22	7-D22	3-D19
S T P	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200
腹 筋	4-D10	4-D10	6-D10	2-D10

基礎柱リスト 1/30

共通事項
仕口内HOOPは、D10~□~@100とする。

符 号	FP1
断 面	
主 筋	8-D19
HOOP	□-D10-@100
備 考	柱のない基礎、四隅フック付

地中小梁リスト 1/30

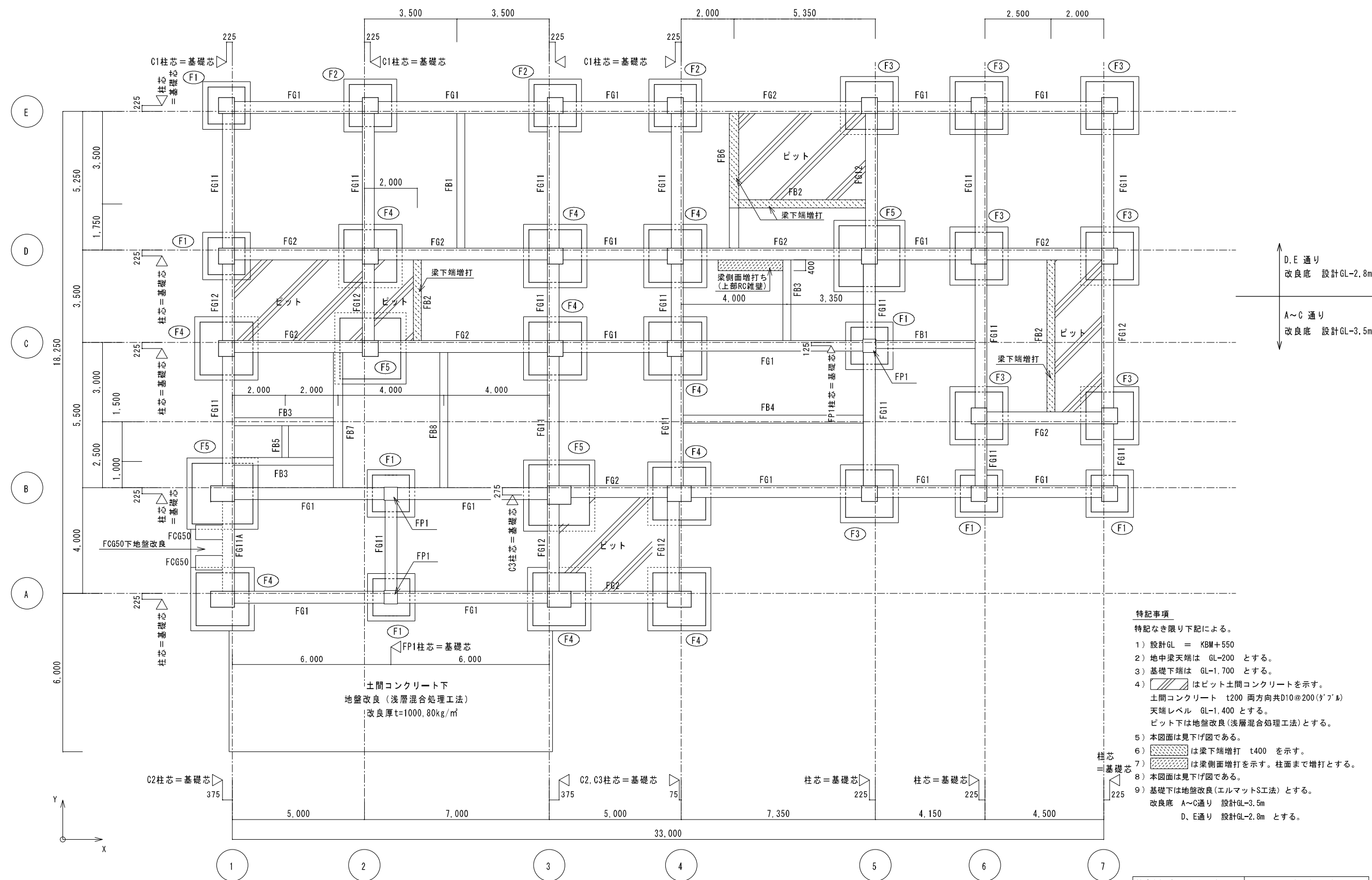
共通事項
幅止め筋は D10@1000程度とする。

符 号	FB1	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6	FB7	FB8
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面								
B × D	300 × 600	300 × 1000	300 × 500	350 × 800	250 × 500	350 × 1000	350 × 800	300 × 800
上 端 筋	3-D19	3-D19	3-D19	4-D22	2-D16	3-D19	5-D22	3-D19
下 端 筋	4-D19	4-D19	4-D19	5-D22	2-D16	4-D19	6-D22	4-D19
S T P	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200
腹 筋	2-D10	4-D10	-	2-D10	-	4-D10	2-D10	2-D10

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒669-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 地中梁・地中小梁・基礎柱リスト	スケール 1/30	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No.
		図番								S-11



D, E 通り
改良底 設計GL-2.8m

A~C 通り
改良底 設計GL-3.5m

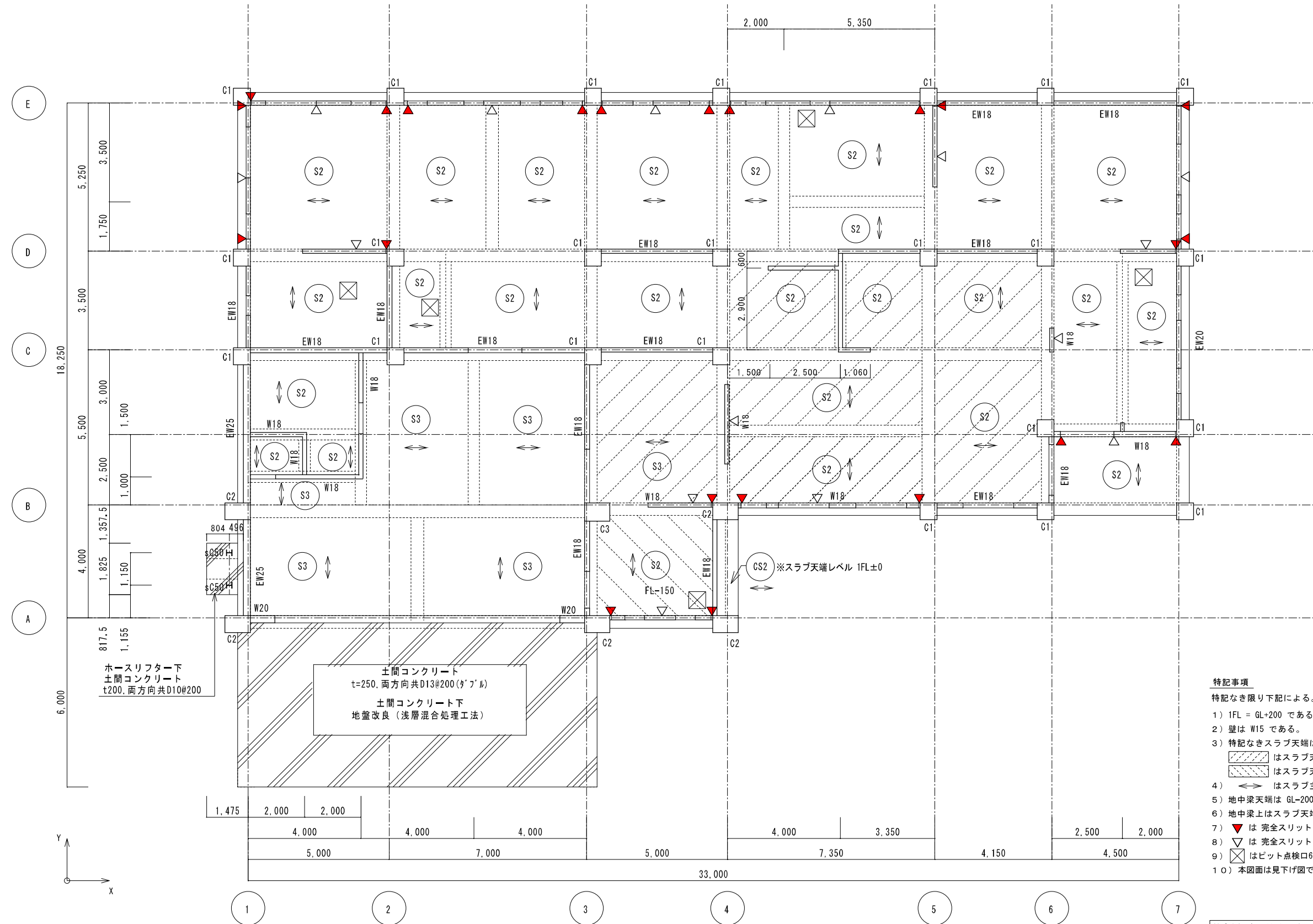
- 特記事項**
特記なき限り下記による。
- 1) 設計GL = KBM+550
 - 2) 地中梁天端は GL-200 とする。
 - 3) 基礎下端は GL-1.700 とする。
 - 4) はビット土間コンクリートを示す。
土間コンクリート t200 両方向共D10@200(9'7"φ)
天端レベル GL-1.400 とする。
ビット下は地盤改良(浅層混合処理工法)とする。
 - 5) 本図面は見下げ図である。
 - 6) は梁下端増打 t400 を示す。
 - 7) は梁側面増打を示す。柱面まで増打とする。
 - 8) 本図面は見下げ図である。
 - 9) 基礎下は地盤改良(エルマットS工法)とする。
改良底 A~C通り 設計GL-3.5m
D, E通り 設計GL-2.8m とする。

基礎伏図 1/100

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
積算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 基礎伏図	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-12
		図番								



特記事項

特記なき限り下記による。

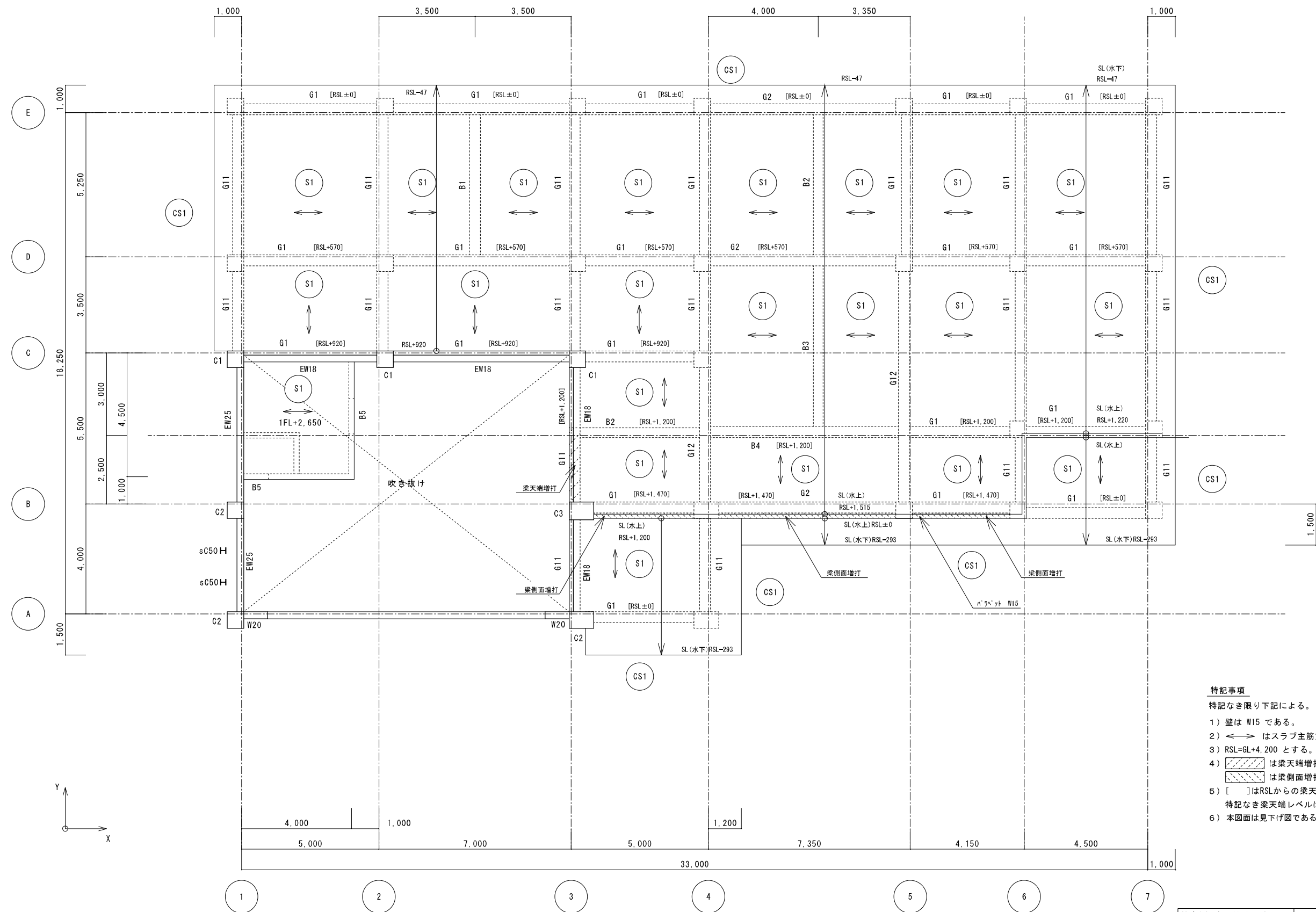
- 1) 1FL = GL+200 である。
- 2) 壁は W15 である。
- 3) 特記なきスラブ天端は 1FL-10 とする。
 はスラブ天端 1FL-50 を示す。
 はスラブ天端 1FL-150 を示す。
- 4) \longleftrightarrow はスラブ主筋方向を示す。
- 5) 地中梁天端は GL-200 とする。
- 6) 地中梁上はスラブ天端レベルまで増打とする。
- 7) \blacktriangledown は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
- 8) ∇ は完全スリット(水平スリット)を示す。
- 9) \boxtimes はビット点検口600角を示す。
- 10) 本図面は見下げ図である。

1階伏図 1/100

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
積算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 1階伏図	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-13
		図番								



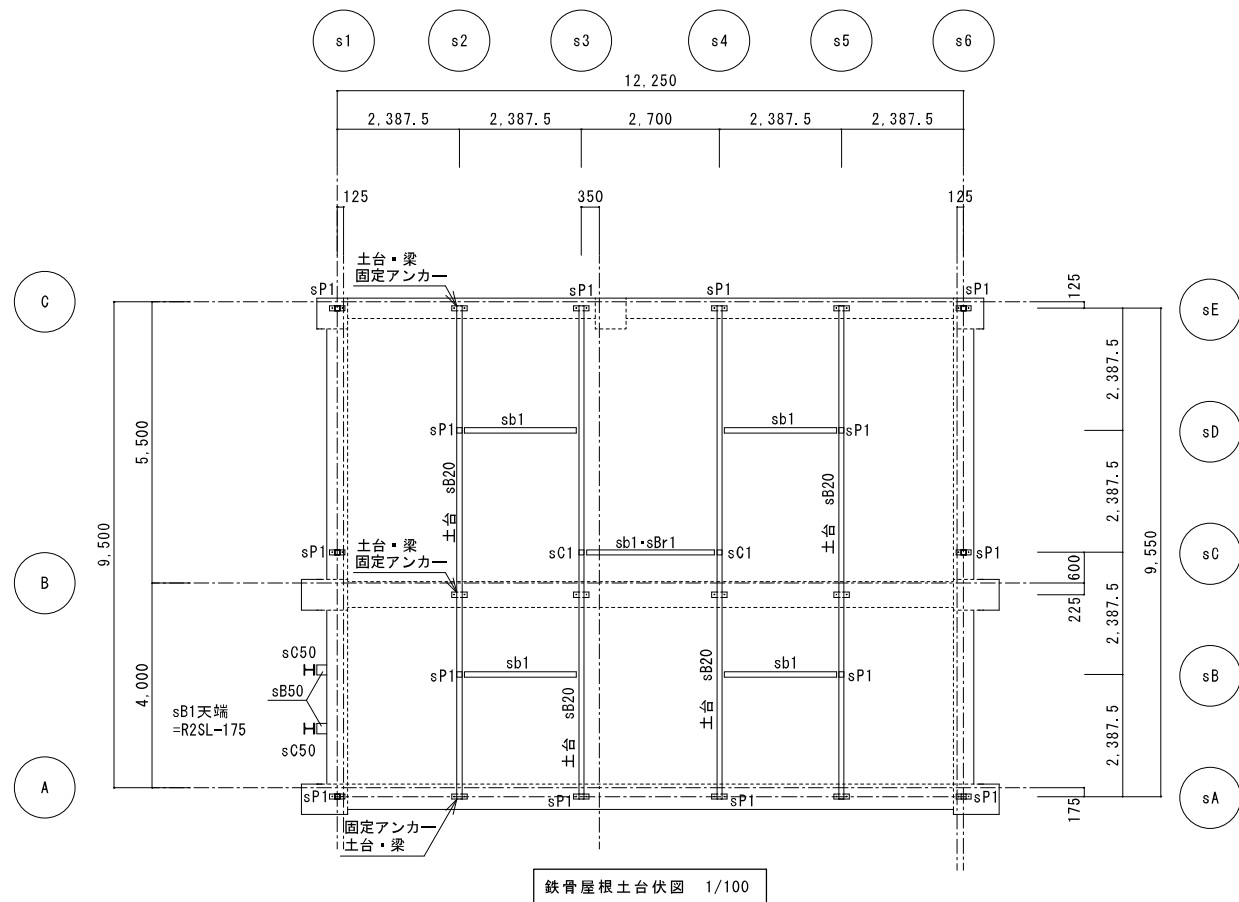
R 1 階伏図 1/100

- 特記事項**
 特記なき限り下記による。
- 1) 壁は W15 である。
 - 2) \longleftrightarrow はスラブ主筋方向を示す。
 - 3) RSL=GL+4,200 とする。
 - 4) は梁天端増打 t250 を示す。
 は梁側面増打 t200 を示す。
 - 5) [] はRSLからの梁天端レベルを示す。
 特記なき梁天端レベルは屋根スラブ勾配に合わせる。
 - 6) 本図面は見下げ図である。

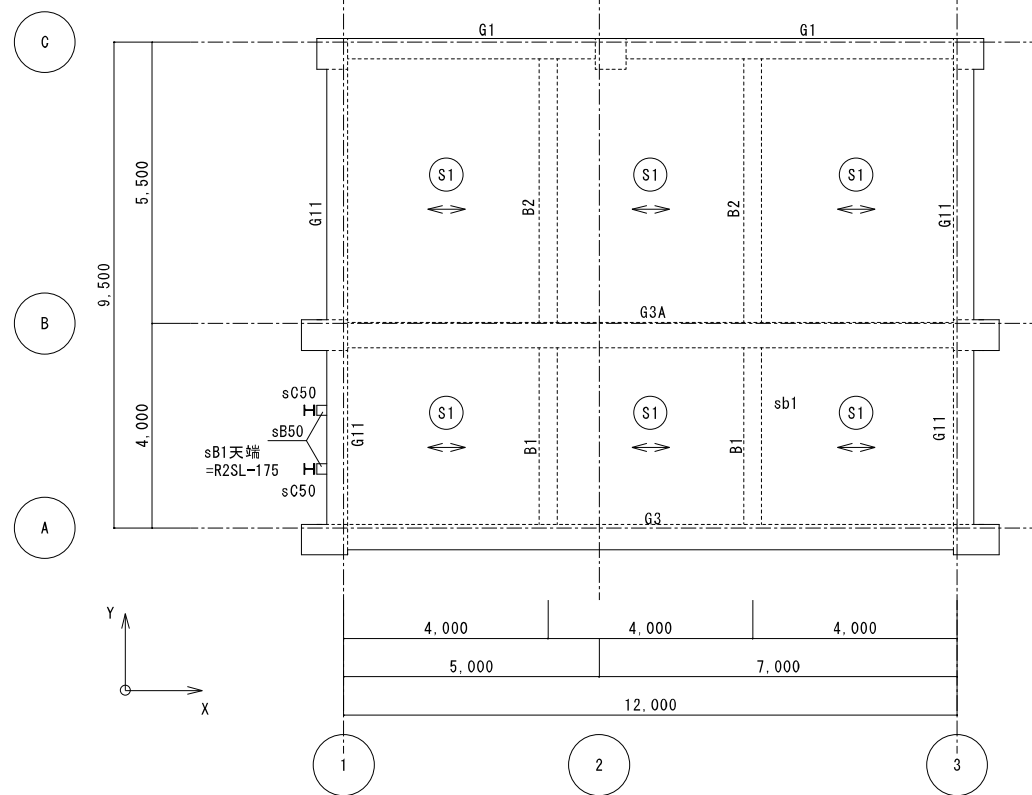
株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
執筆者	申請図 最終図 変更図 2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

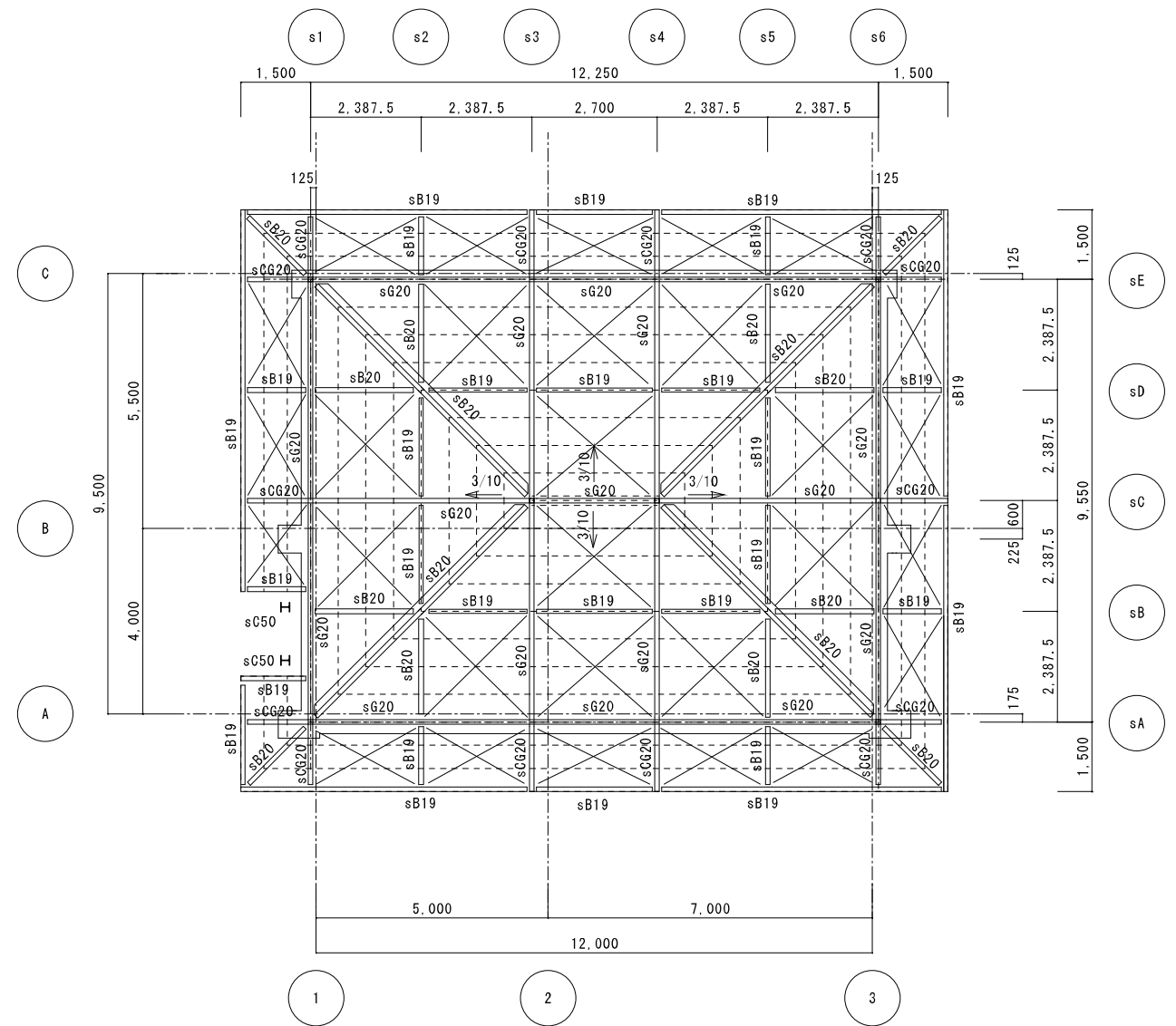
工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 R 1 階伏図	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-14
		図番								



鉄骨屋根土台伏図 1/100



R2階伏図 (RC) 1/100



鉄骨屋根伏図 1/100


特記事項

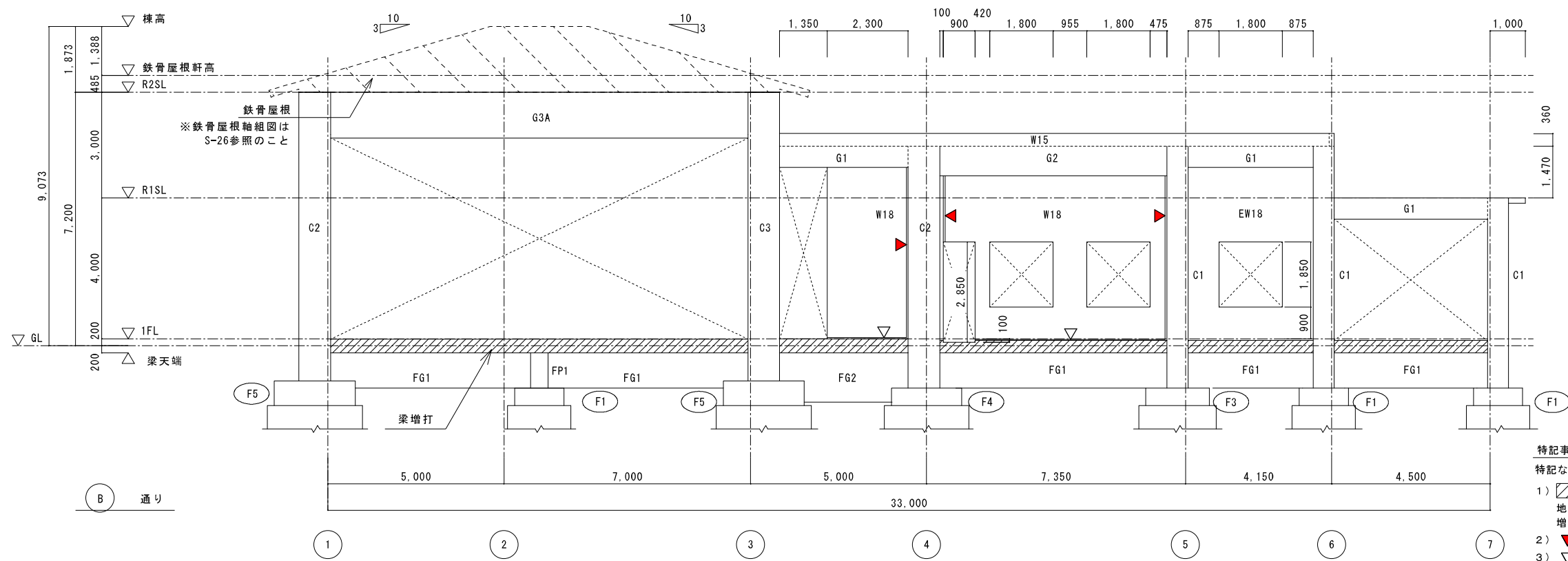
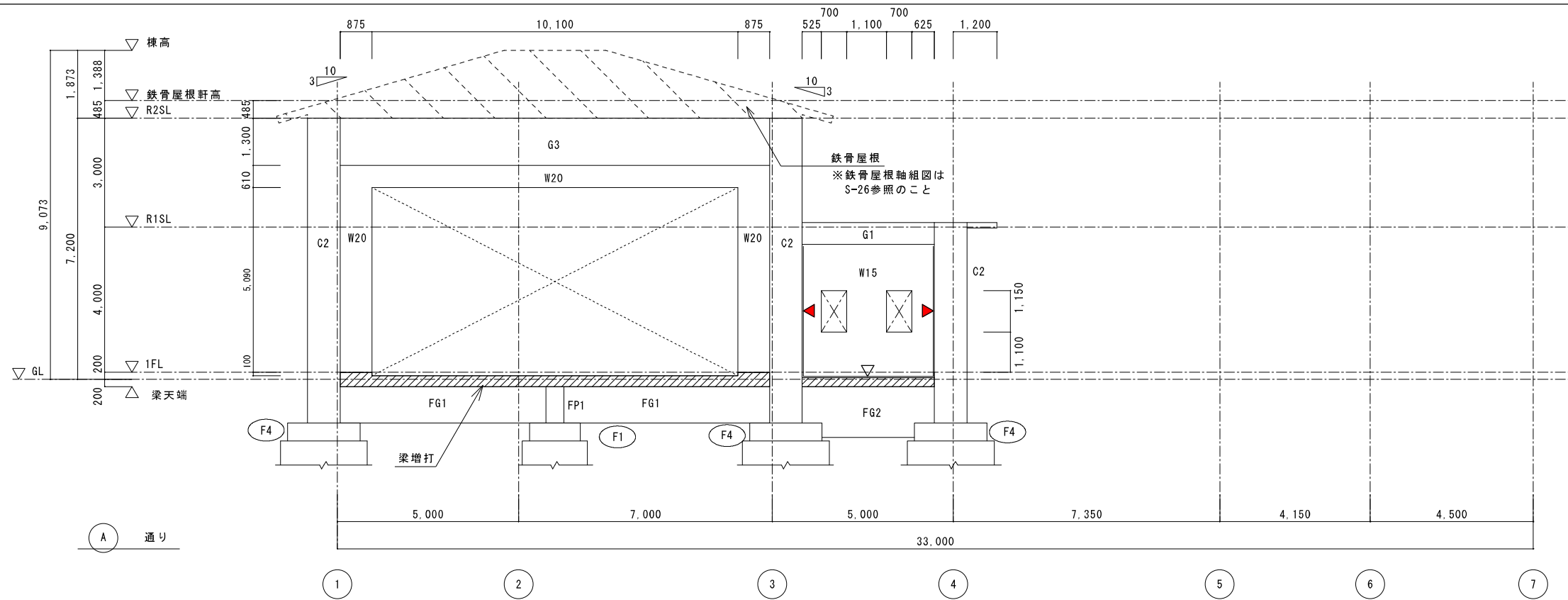
特記なき限り下記による。

- 1) R2SL=GL+7,200 とする。
- 2) スラブ天端=RC梁天端=R2SL±0 とする。
- 3) <=> はスラブ主筋方向を示す。
- 4) 本図面は見下し図である。
- 5) --- は母屋C-100×50×20×2.3
 - - - は棟上部母屋20-100×50×20×2.3
- 6) 屋根プレースは sBr1 とする。
- 6) 鉄骨部材のJOINT位置は鉄骨軸組図による。

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
積算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 R2階伏図 (RC) ・鉄骨屋根土台伏図 ・鉄骨屋根伏図	スケール 1/100	作成年月日	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号	No. S-15
		図番					1級建築士 241080号			



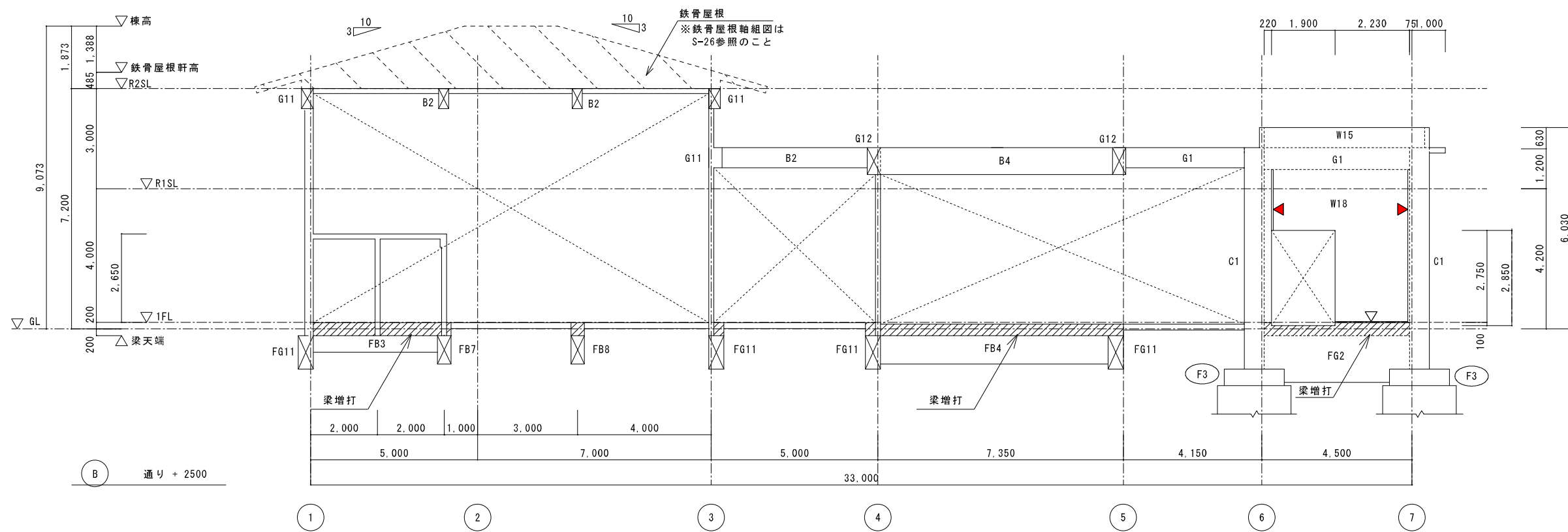
軸組図 (1) 1/100

- 特記事項**
 特記なき限り下記による。
- 1) は、地中梁天端増打を示す。
地中梁上からスラブ天端レベルまで増打とする。
 - 2) は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
 - 3) は完全スリット(水平スリット)を示す。

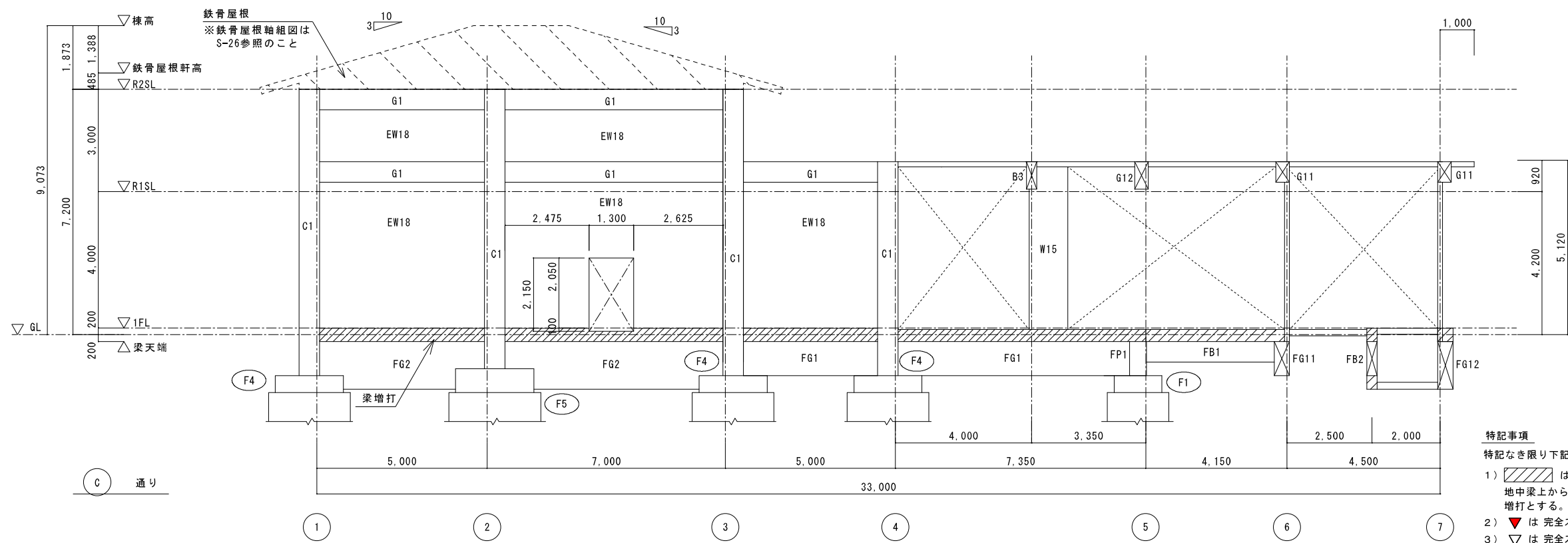
株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
換算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 軸組図 (1)	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 富田設計 管理建築士 富田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-16
		図番								



○ B 通り + 2500



○ C 通り

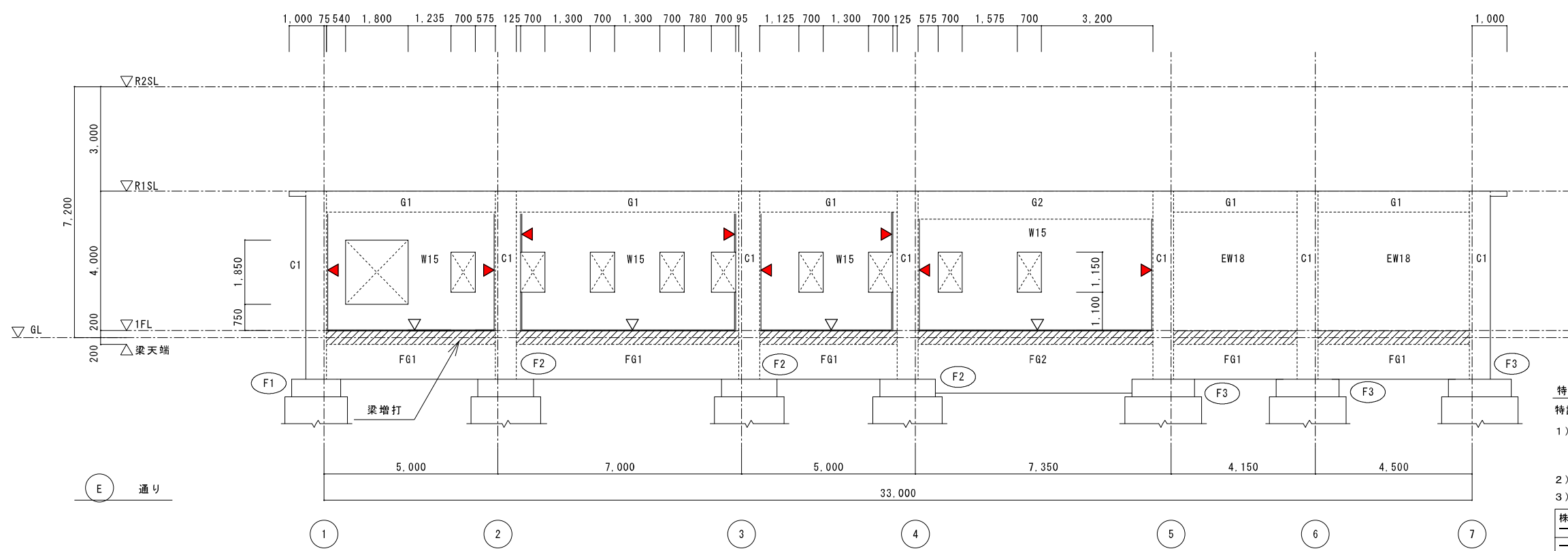
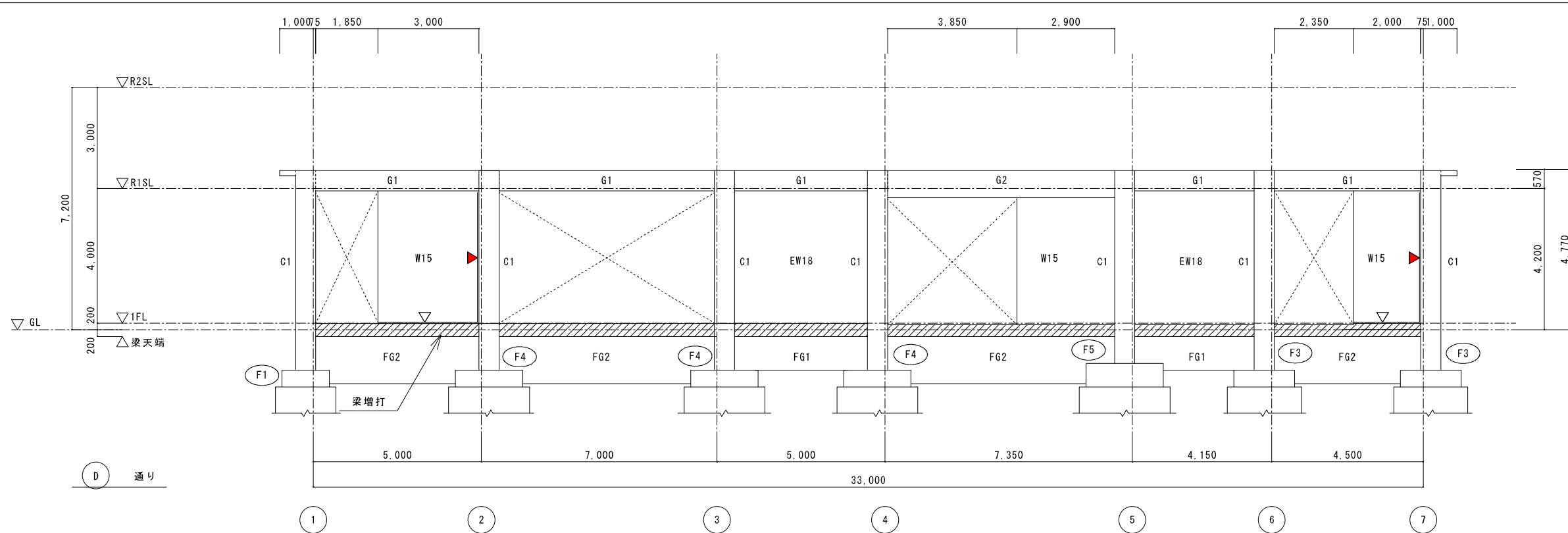
軸組図(2) 1/100

- 特記事項
特記なき限り下記による。
- 1) は、地中梁天端増打を示す。地中梁上からスラブ天端レベルまで増打とする。
 - 2) は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
 - 3) は完全スリット(水平スリット)を示す。

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
換算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 軸組図(2)	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-17
		図番								



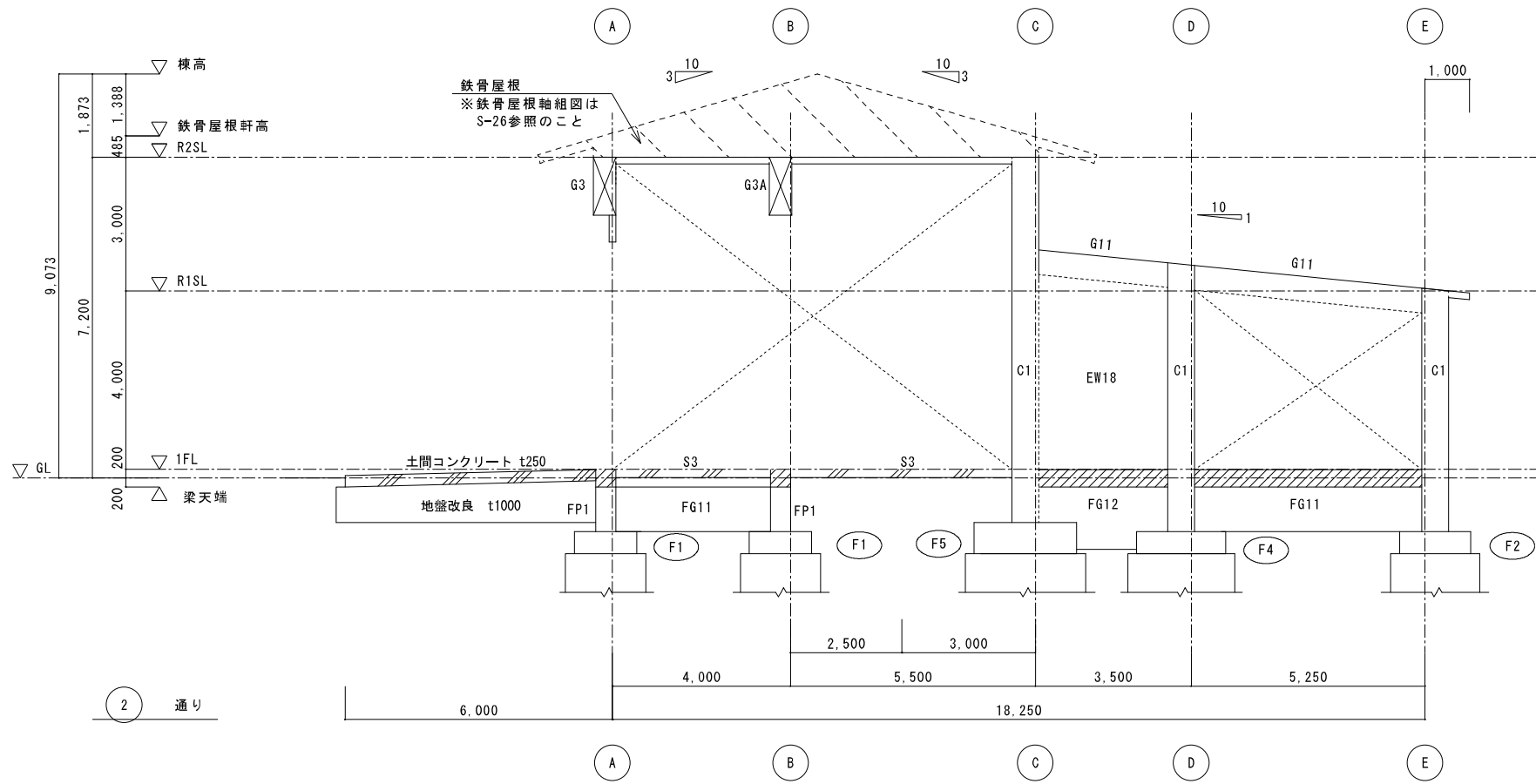
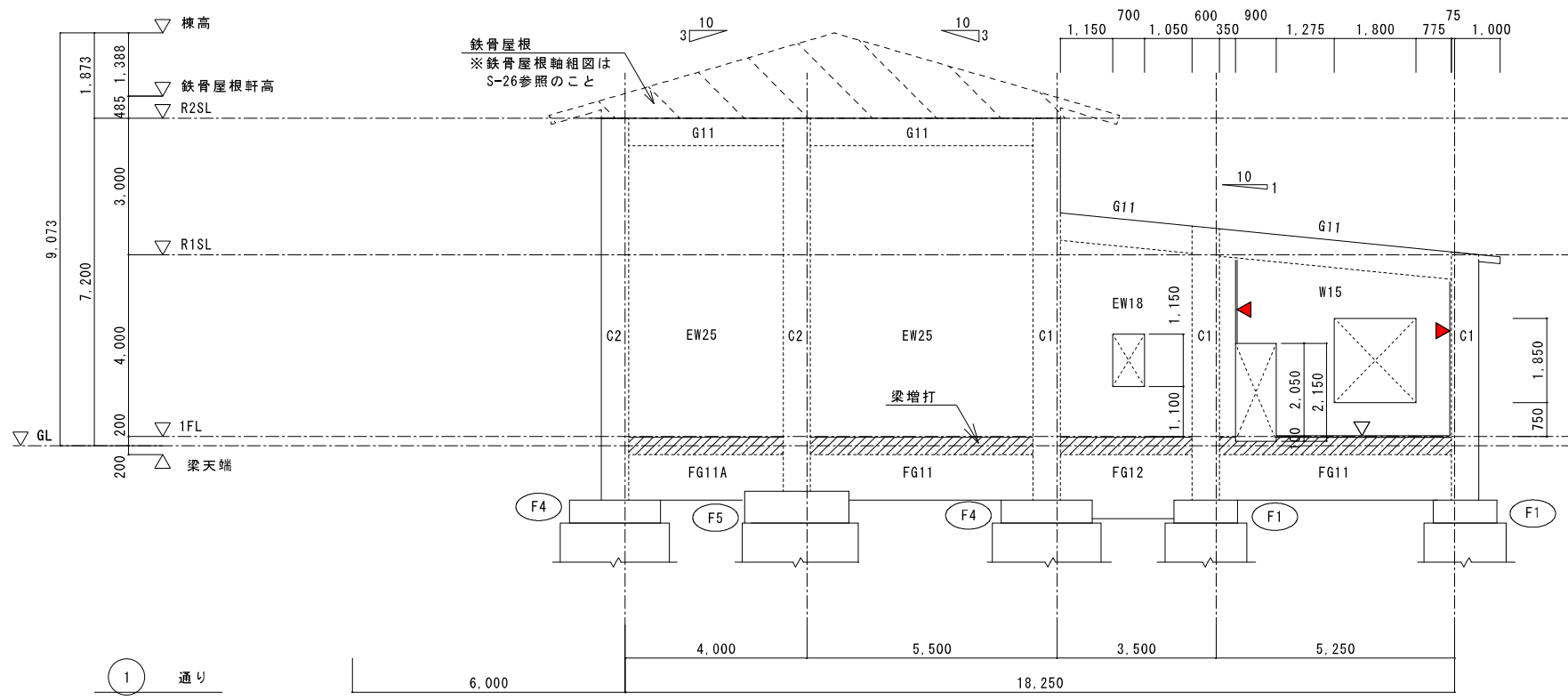
軸組図 (3) 1/100

特記事項
 特記なき限り下記による。
 1) は、地中梁天端増打を示す。
 地中梁上からスラブ天端レベルまで増打とする。
 2) は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
 3) は完全スリット(水平スリット)を示す。

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
執筆者	申請図 最終図 変更図
谷口 規子	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	軸組図 (3)	スケール	作成年月日	株式会社 富田設計 管理建築士 富田 真一 事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	No. S-18
		図番					1/100			



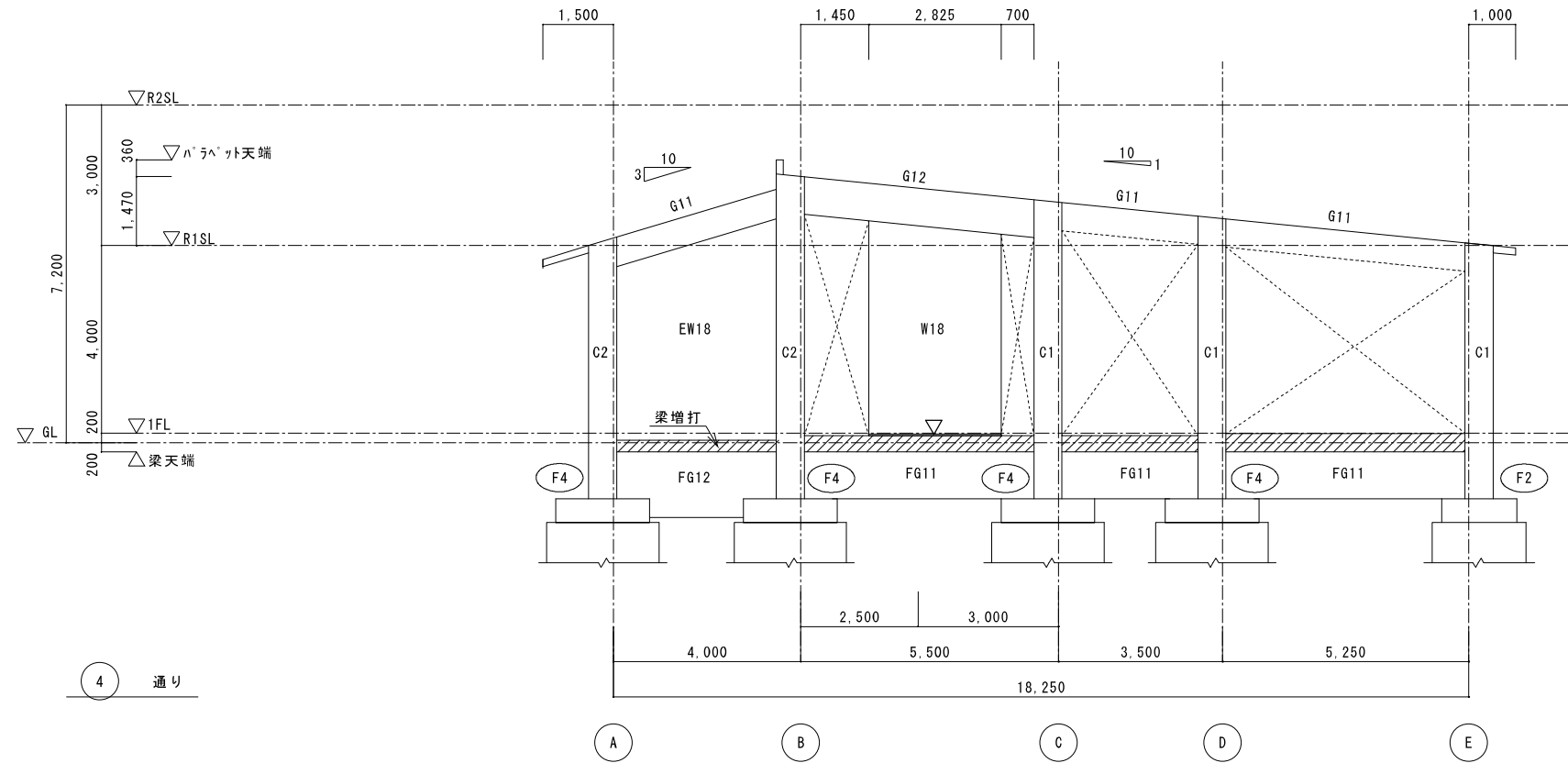
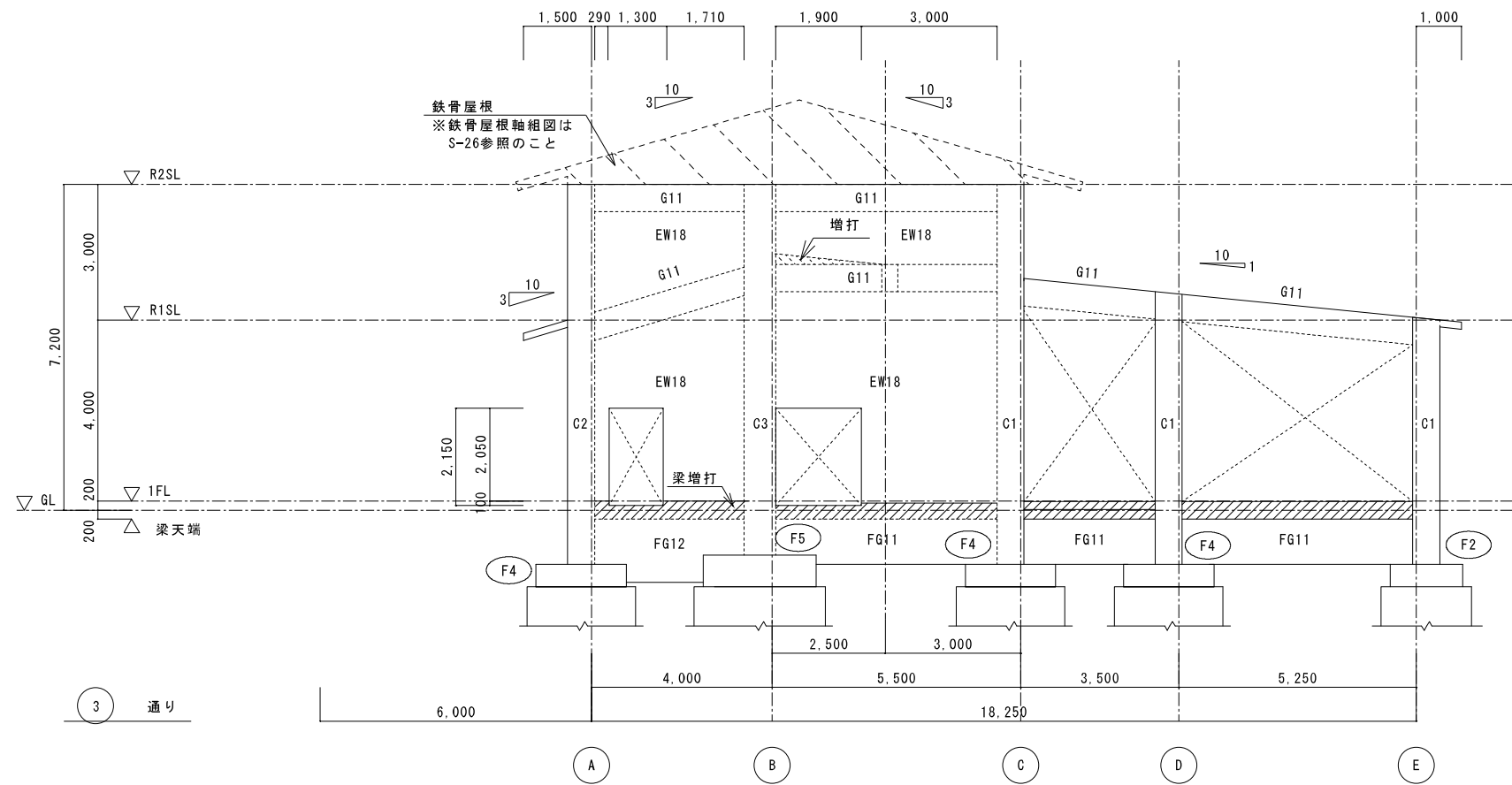
- 特記事項**
 特記なき限り下記による。
- 1) は、地中梁天端増打を示す。地中梁上からスラブ天端レベルまで増打とする。
 - 2) は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
 - 3) は完全スリット(水平スリット)を示す。

軸組図(4) 1/100

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
執筆者	申請図 最終図 変更図
	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 軸組図(4)	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-19
		図番								



特記事項

特記なき限り下記による。

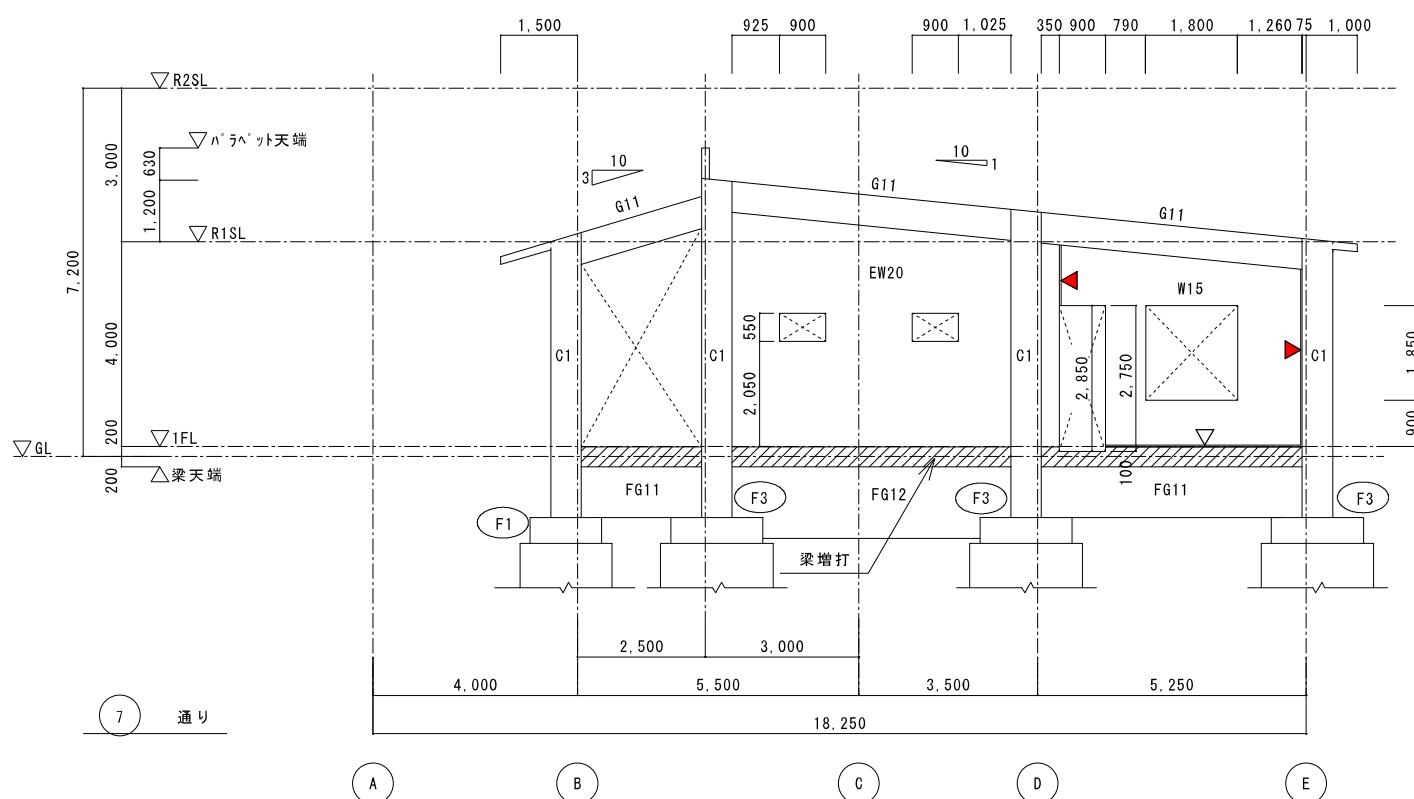
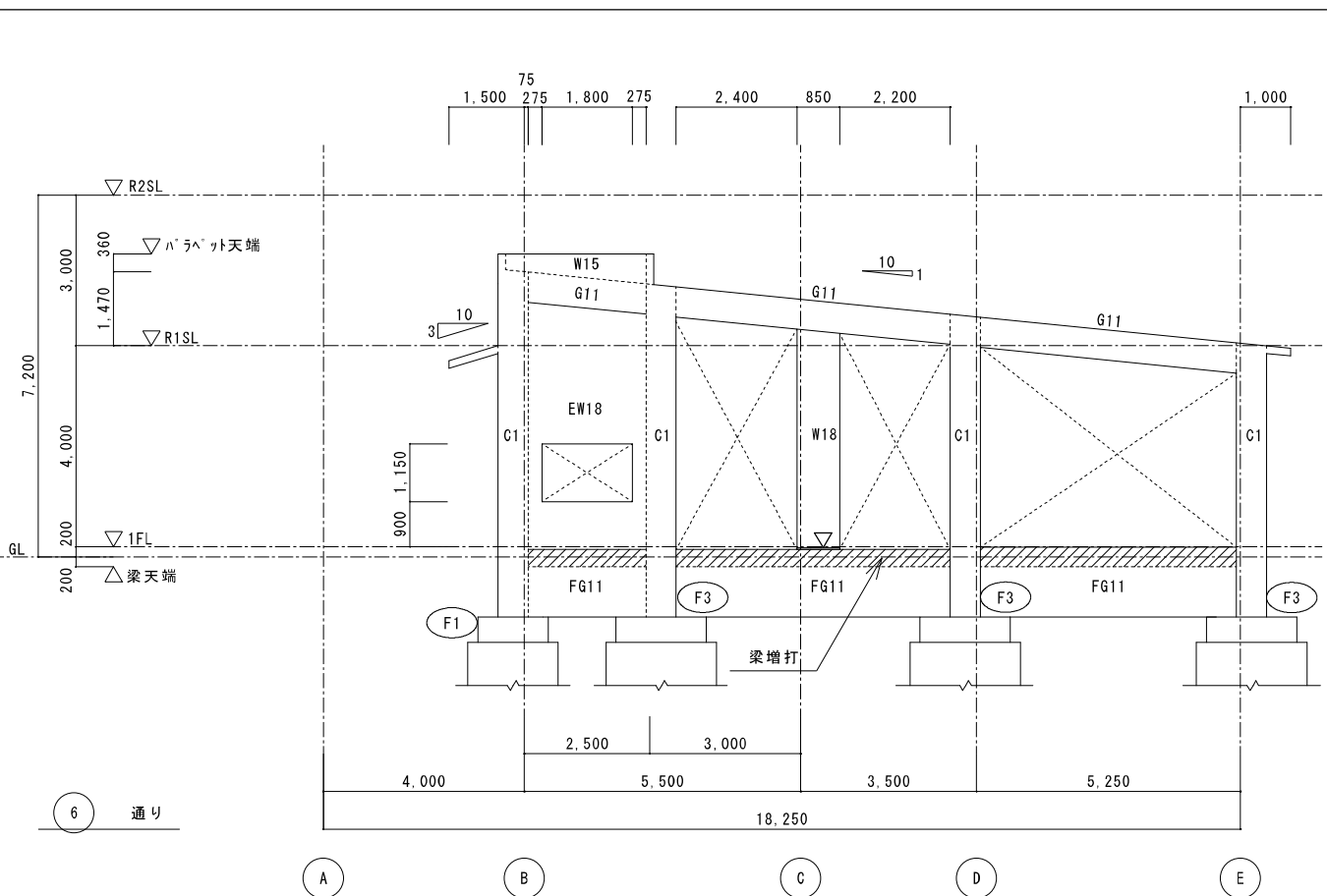
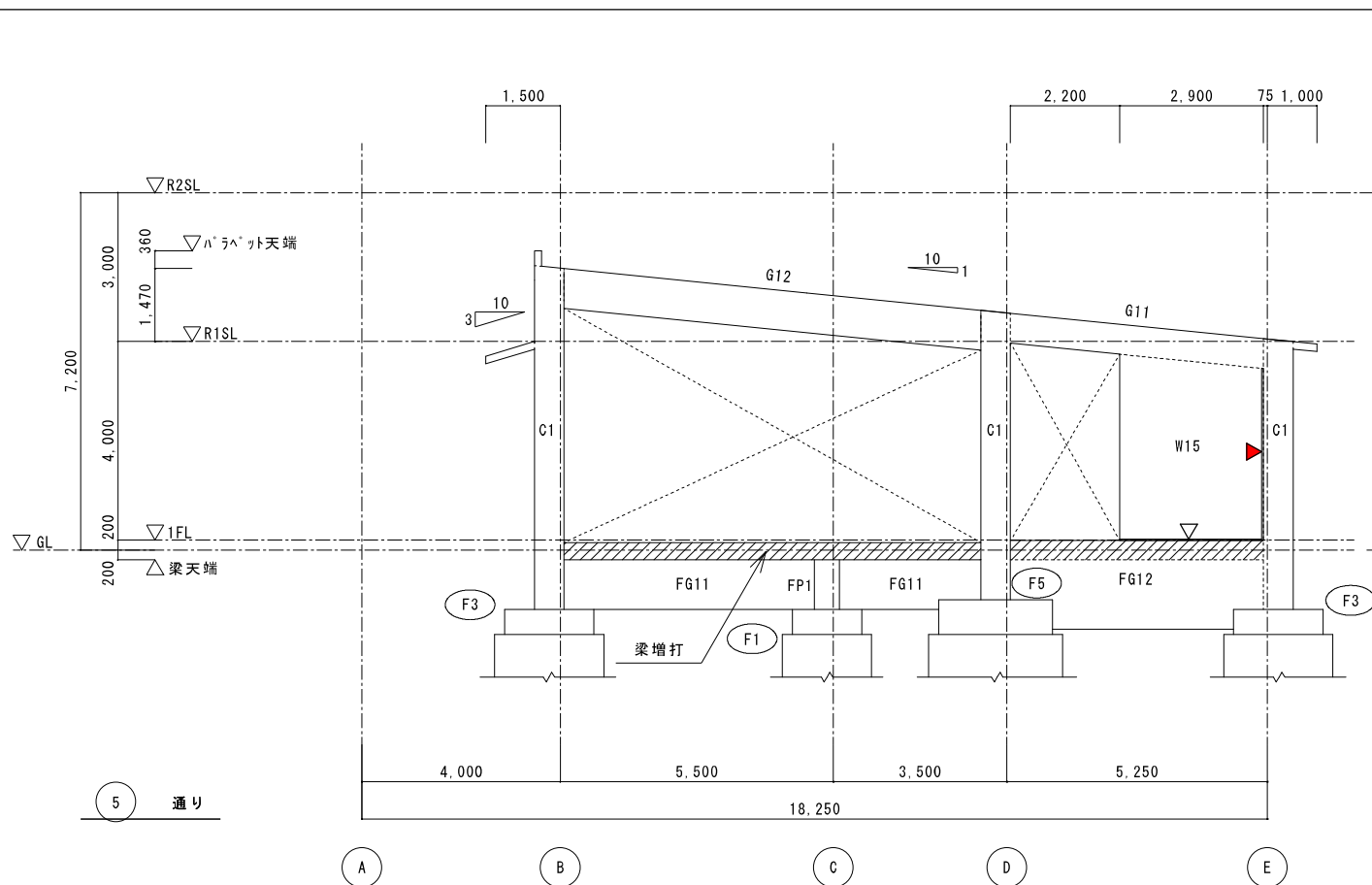
- 1) は、地中梁天端増打を示す。
地中梁上からスラブ天端レベルまで増打とする。
- 2) は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
- 3) は完全スリット(水平スリット)を示す。

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
執筆者	申請図 最終図 変更図
	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

軸組図(5) 1/100

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 軸組図(5)	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-20
		図番								



- 特記事項**
 特記なき限り下記による。
- 1) は、地中梁天端増打を示す。
 地中梁上からスラブ天端レベルまで増打とする。
 - 2) は完全スリット(鉛直スリット)を示す。
 - 3) は完全スリット(水平スリット)を示す。

軸組図(6) 1/100

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒969-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
執筆者	申請図 最終図 変更図
	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	軸組図(6)	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-21
		図番				1/100					

柱リスト 1/30

共通事項
仕口内HOO Pは、D13~□~@100とする。

符号	C 1	C 2	C 3
断面			
主筋	16-D22	16-D22	24-D22
HOO P	□-D10-@100	□-D10-@100	□-D13-@100
備考			

大梁リスト 1/30

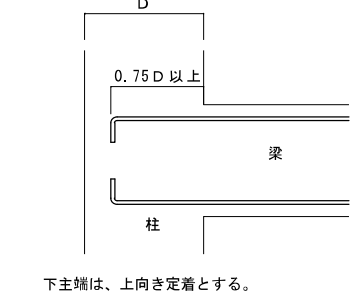
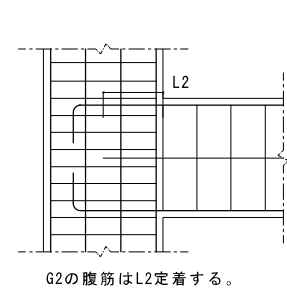
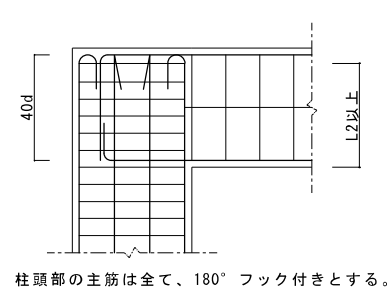
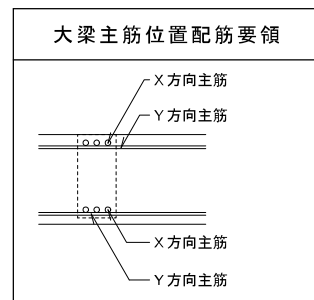
共通事項
幅止め筋は D10@1000程度とする。

符号	G1・G11	G2・G12	G3	G3A	
位置	全断面	全断面	全断面	両端	中央
断面					
B x D	400 x 600	400 x 800	500 x 1300	500 x 1300	500 x 1300
上端筋	5-D22	6-D22	7-D22	8-D22	7-D22
下端筋	5-D22	6-D22	7-D22	7-D22	7-D22
S T P	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200
腹筋	2-D10	2-D10	6-D10	6-D10	6-D10

小梁リスト 1/30

共通事項
幅止め筋は D10@1000程度とする。

符号	B 1	B 2	B 3	B 4	B 5
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
B x D	300 x 600	300 x 600	300 x 800	350 x 800	200 x 400
上端筋	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19	2-D13
下端筋	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19	2-D13
S T P	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	-



株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒669-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称 柱リスト・大梁リスト・小梁リスト	スケール 1/30	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-22
		図番								

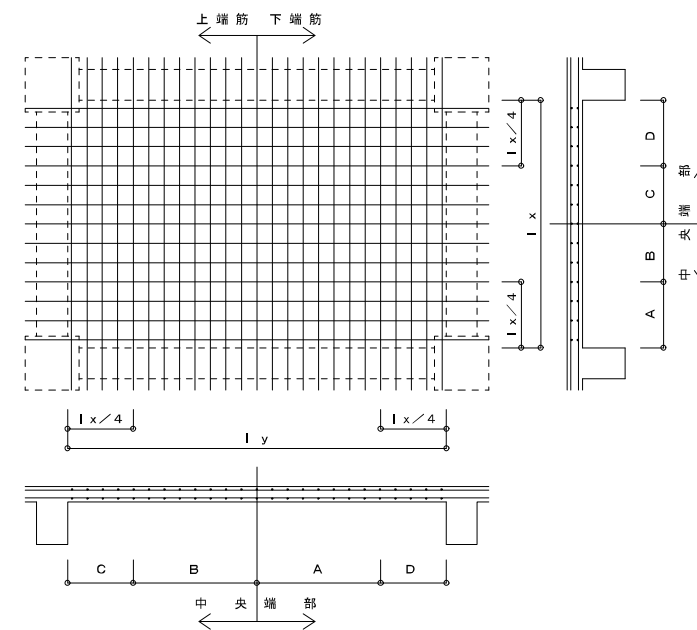
壁リスト

記号	W15	W18	EW18	W20	EW20	EW25	開口部補強筋
断面							
縦筋	D10@250 (チドリダブル)	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	
横筋	D10@250 (チドリダブル)	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	
開口部	縦筋	1-D13	2-D13	2-D16	2-D16	2-D16	
	斜め筋	1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	
幅止め筋	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000	
備考	非耐震壁	非耐震壁	耐震壁	非耐震壁	耐震壁	耐震壁	

床リスト

符号	版厚	位置	短辺方向 X			長辺方向 Y			備考
			柱間帯		柱列帯	柱間帯		柱列帯	
			端部 (A)	中央 (B)	全断面 (C, D)	端部 (C)	中央 (B)	全断面 (A, D)	
S1	150	上端筋	D10, D13 @200	←	←	D10, D13 @200	←	←	モチアミ
		下端筋	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←	
S2	180	上端筋	D10, D13 @200	←	←	D10, D13 @200	←	←	モチアミ
		下端筋	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←	
S3	180	上端筋	D13 @200	←	←	D13 @200	←	←	モチアミ
		下端筋	D10, D13 @200	←	←	D10, D13 @200	←	←	
CS1	150	上端筋	D10, D13 @200	←	←	D10, D13 @200	←	←	モチアミ
		下端筋	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←	
CS2	180	上端筋	D10, D13 @200	←	←	D10, D13 @200	←	←	モチアミ
		下端筋	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←	

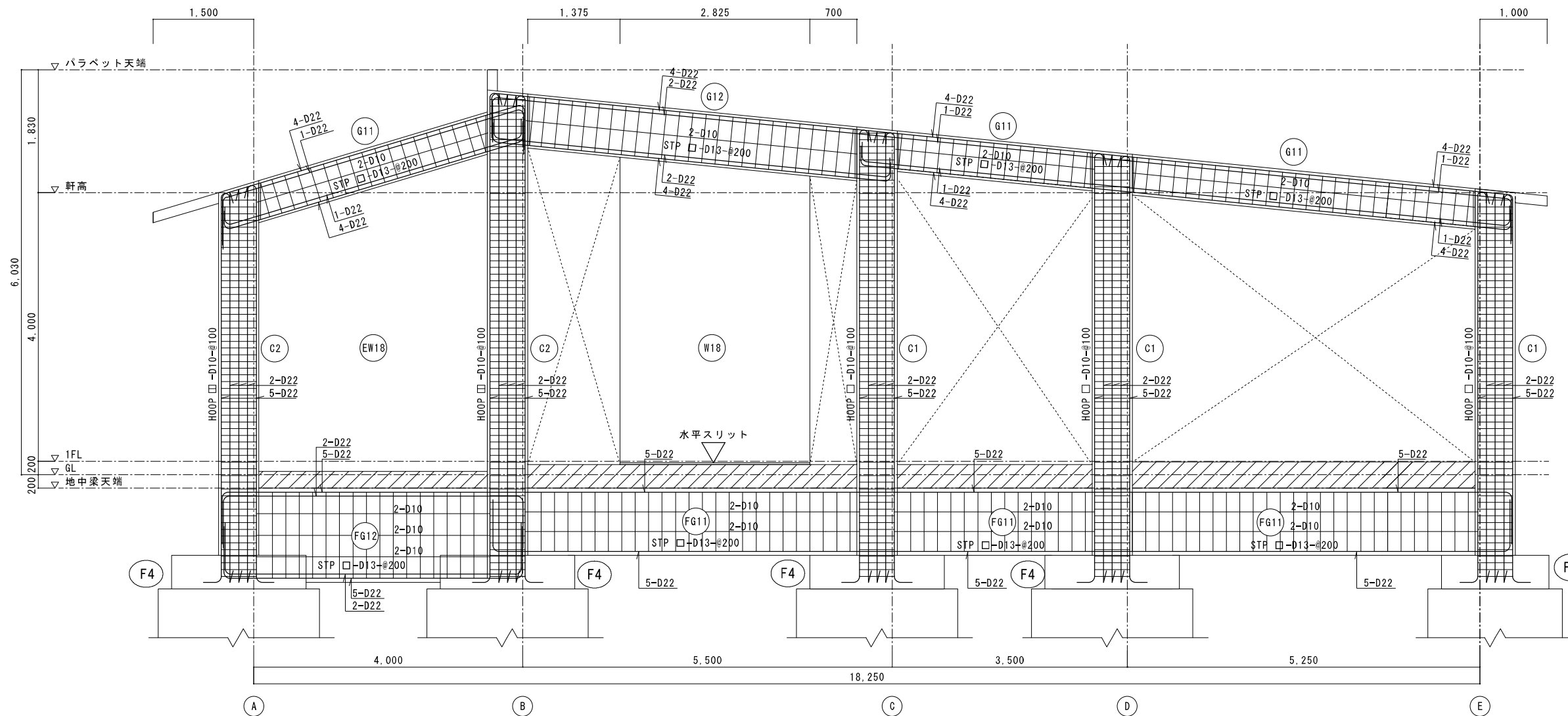
床版基準配筋図



株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒869-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
挿算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称	宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	壁リスト・床リスト	スケール	1/30	作成年月日		事務所登録番号	3266号	No.	S-23
						図番						1級建築士	241080号		
												株式会社 宮田設計			
												管理建築士 宮田 真一			
												MIYATA DESIGN	熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204		

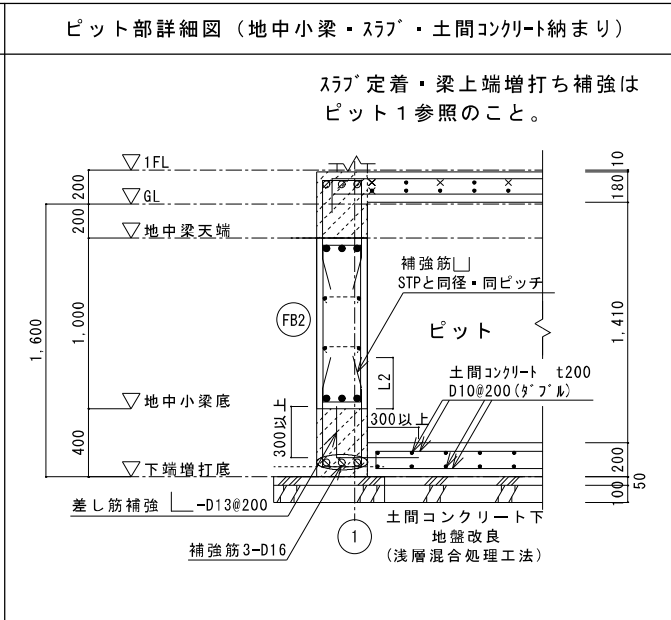
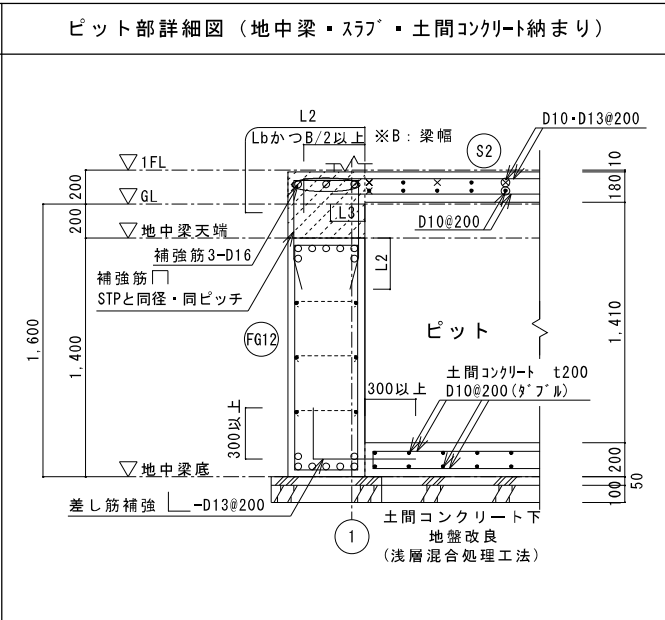
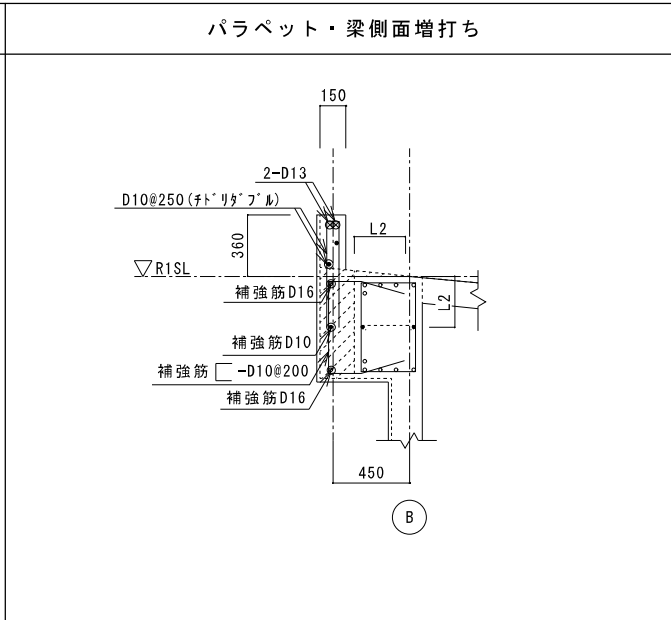
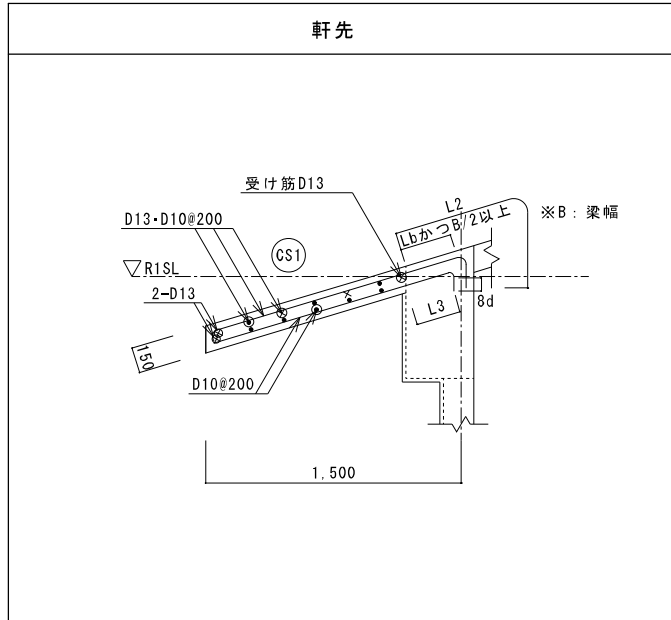


4 通り配筋詳細図 1/50

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒669-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

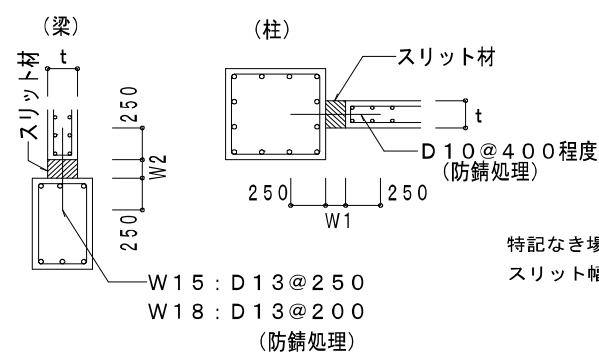
A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	4 通り配筋詳細図	スケール	1/50	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-24
		図番										



完全スリット

完全スリットの場合

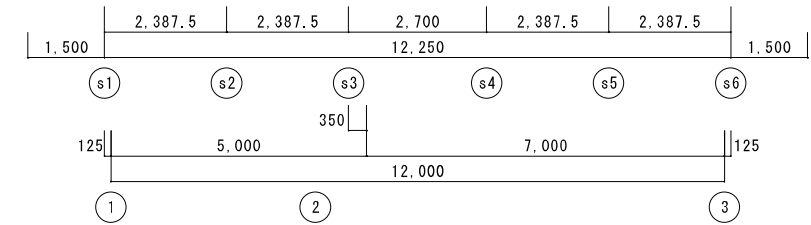
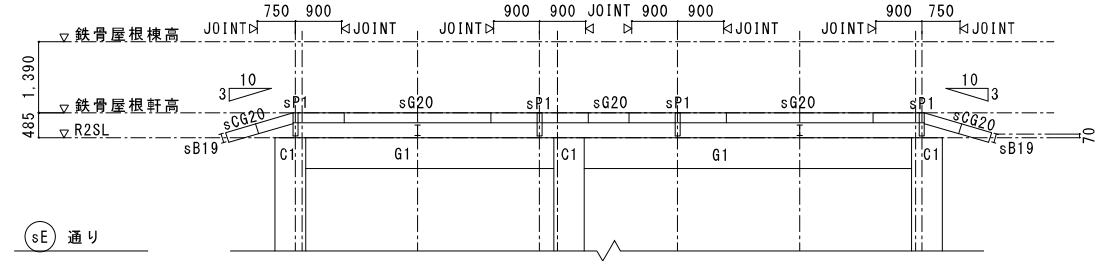
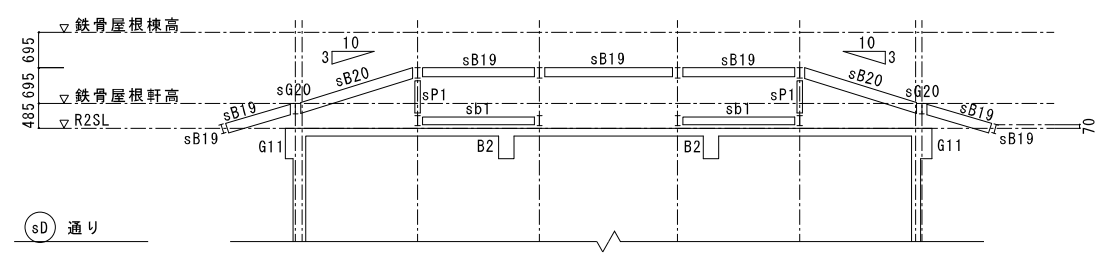
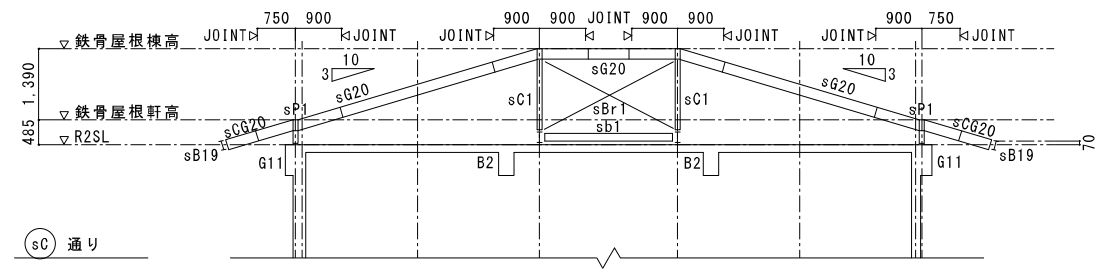
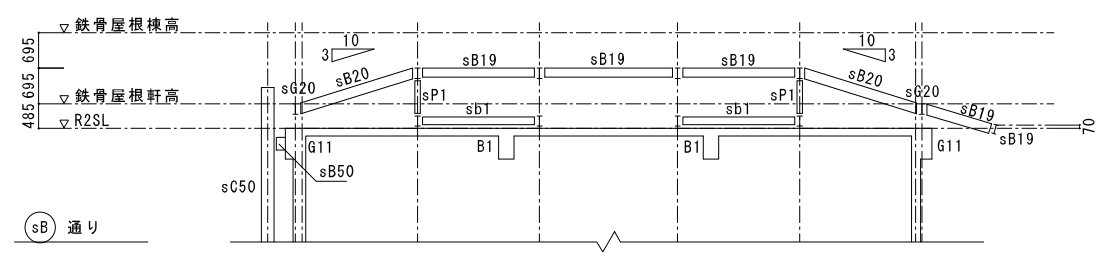
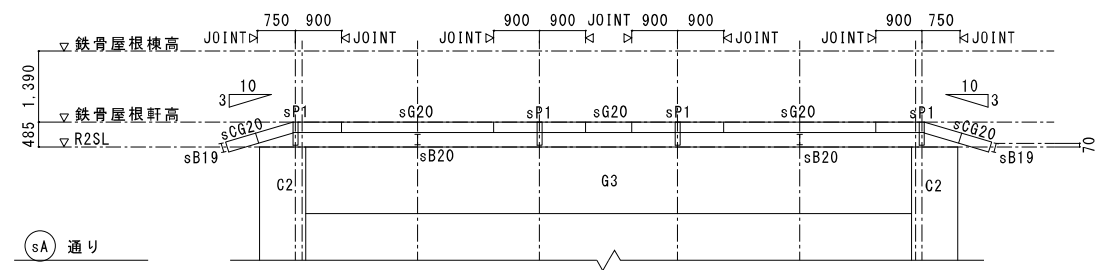


特記なき場合は、
スリット幅 W1 (鉛直スリット) ≥ 25 かつスリット長さの1/100
B通り : W1=50mm
D通り、1通り、7通り : W1=40mm
E通り、5通り : W1=35mm
W2 (水平スリット) = 30 とする。
※完全スリットのスリット材の耐火仕様は意匠図を確認すること

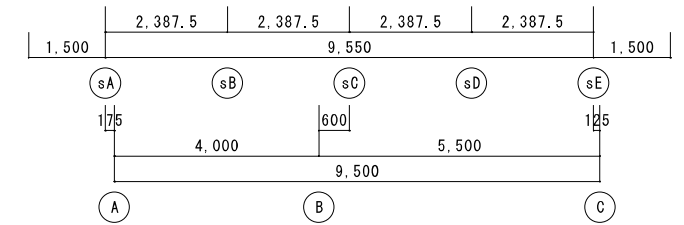
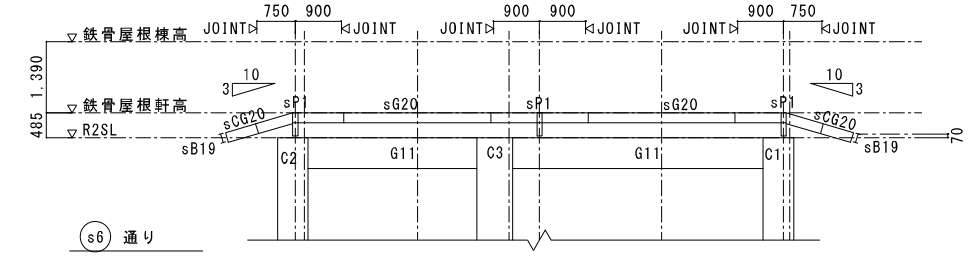
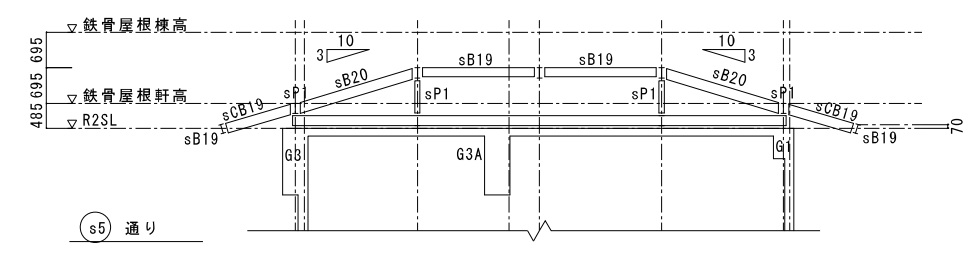
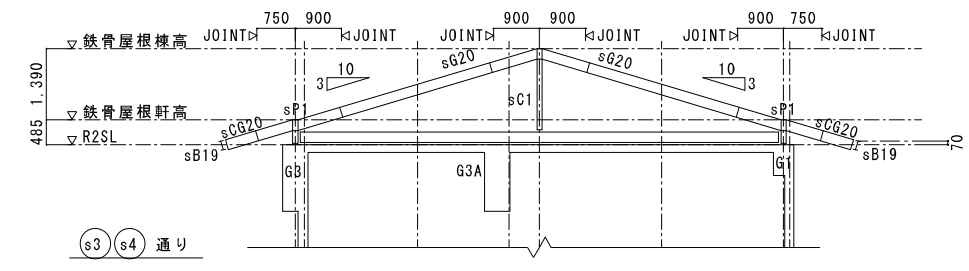
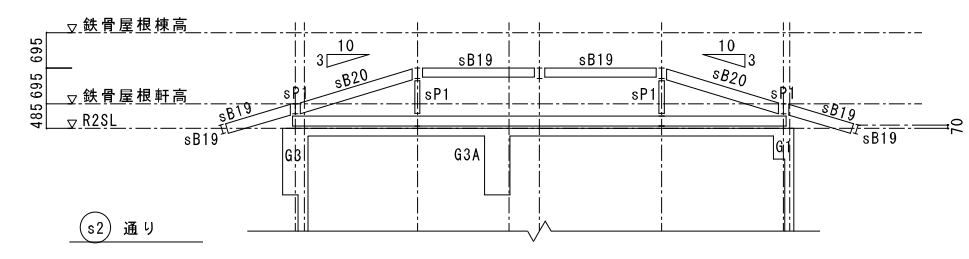
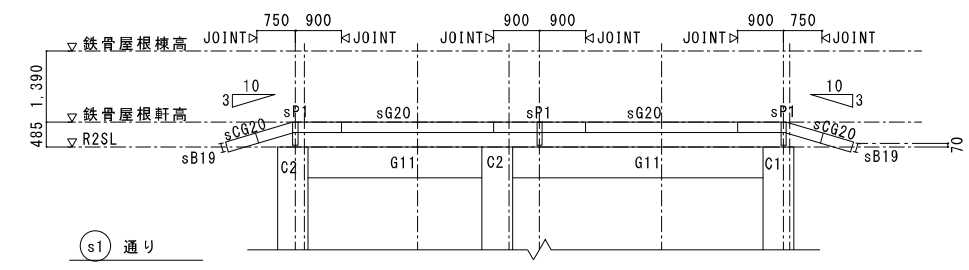
株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒669-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図 最終図 変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	雑部詳細図	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. S-25
		図番					1/100				



鉄骨屋根軸組図 1/100



特記事項
 特記なき限り下記による。
 1) R2SL=GL+7,200 とする。

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒669-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
積算図 申請図 最終図 変更図	2025.01.10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図 検図 承認	名称 鉄骨屋根軸組図	スケール 1/100	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 MIYATA DESIGN 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 一級建築士 241080号	No. S-26
----------------------------	----	----------	---------------	---------------	-------	--	--------------------------------	-------------

部材リスト

特記なき場合
外部の鉄骨は溶融垂鉛めっき処理とする。

位置	種別	符号	断面	材種	継手仕様・その他	
屋根部材	小梁	sB19	H-198x99x4.5x7	SS400	JB1	
	土台	sB20	H-200x100x5.5x8	SS400	JB1	
					SS400	端部溶接, JG200
	横補剛	sb1	[-150x75x6.5x10	SS400	JB1	
	大梁	sG20	H-200x100x5.5x8	SS400	JG200	
	片持梁	sCG20	H-200x100x5.5x8	SS400	端部溶接	
	小屋束	sC1	□-100x100x9	STKR400	JP1	
		sP1	□-100x100x9	STKR400	JP1	
	母屋			C-100x50x20x2.3 @620	SSC400	GPL-6, 2-M12(中ボルト)
				2C-100x50x20x2.3	SSC400	GPL-6, 2-M12(中ボルト)
ブレース	sBr1	1-M16	T. B. 付き	SNR400B	JV16	
ホースリフター部材	大梁	sG50	H-194x150x6x9	SS400	JG194	
		sG51	H-244x175x7x11	SS400	JG244	
	小梁	sB50	H-244x175x7x11	SS400	支柱側: PL-16, 4-M20 (HTB) 躯体側: PL-16, A. Bolt 4-M20 (SNR400) L=600 (有効長さ) DN, フック付き	
溶融垂鉛めっき処理	柱	sC50	H-250x250x9x14	SS400		

柱脚リスト 1/30

符号	sC1・sP1 柱脚	sC50 柱脚
柱サイズ	□-100x100x9 (STKR400)	H-250x250x9x14 (SS400)
断面		
ベースプレート	BPL-16x300x140 (SN400B)	BPL-30x350x350 (SN490B)
アンカーボルト	2-M16 (SNR400B) L=480 (有効長さ) DN, フック付き	2-M24 (ABR490), L=720 (有効長さ) DN, 定着版 (16x75x75)

大梁 JOINT 表 S=1/30

S10T 第一種保有力継合 (SS400)
SCSS-H97準拠

符号	JG200	JG194	JG244
部材	H-200x100x5.5x8	H-194x150x6x9	H-244x175x7x11
断面			
フランジ	16-M16 (HTB), 2PL-16x100x290	16-M16 (HTB), 2PL-9x150x290 4PL-9x60x290	24-M16 (HTB), 2PL-9x175x410 4PL-9x70x410
ウェブ	4-M16 (HTB), 2PL-6x140x170	8-M16 (HTB), 2PL-6x140x350	12-M16 (HTB), 2PL-9x140x410
	GGF-4X-J2010-0609-16	F8T 使用	F8T 使用

二次部材 JOINT 表 S=1/30 高カボルト S10T ガセットプレート SS400

符号	JB1	JP1
断面		
ウェブ	G, PL-9, 2-M16 (HTB)	G, PL-9, 2-M16 (HTB)

ブレース JOINT 表

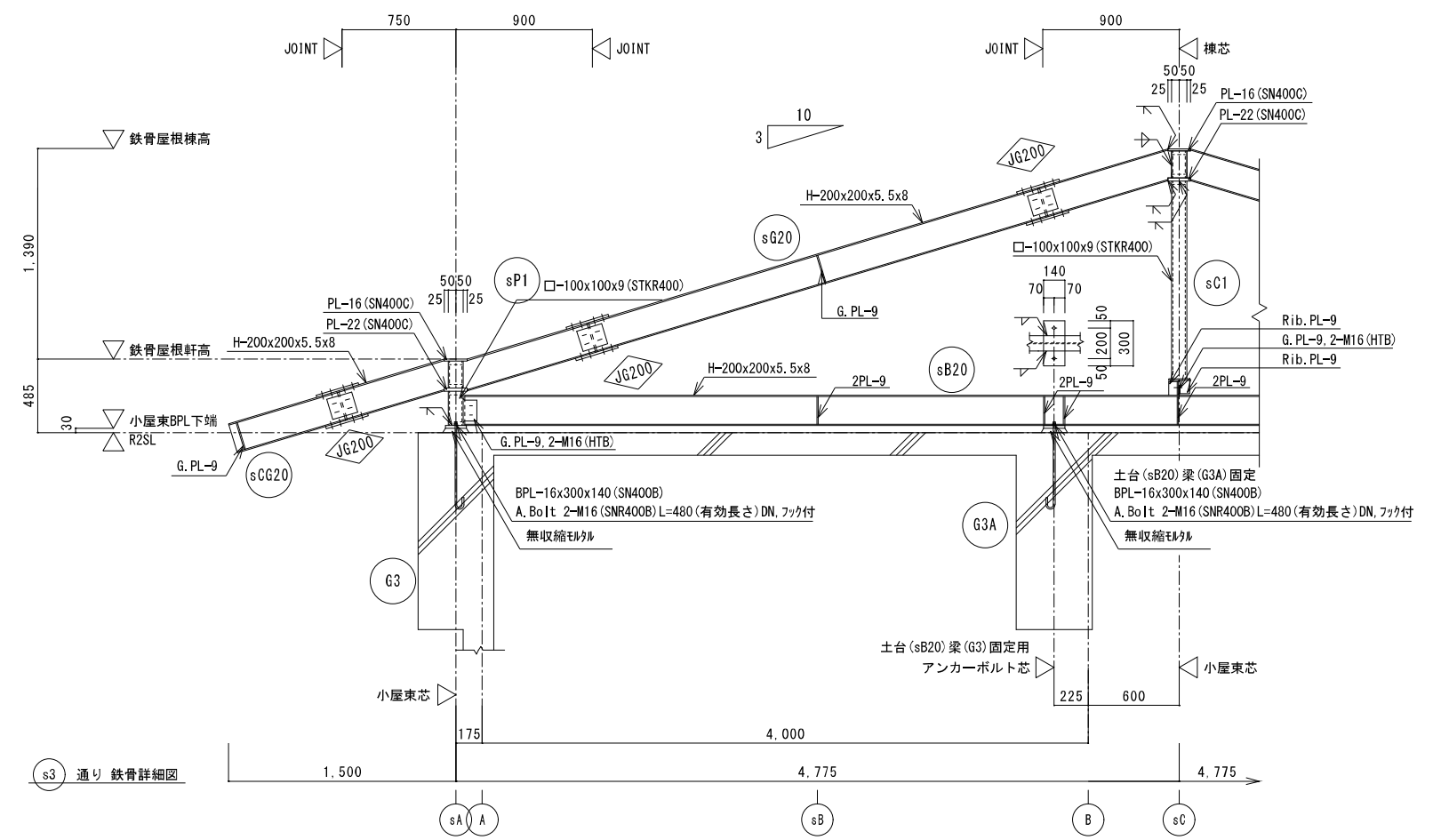
符号	JV16 1-M16 (JISブレース)
断面	
JOINT	FB-6x56x159 1-M16 (HTB)

JIS A 5541 建築用ターンバックル脚
JIS A 5542 建築用ターンバックルボルト
JIS B 1186 2種 高カボルト (F10T)

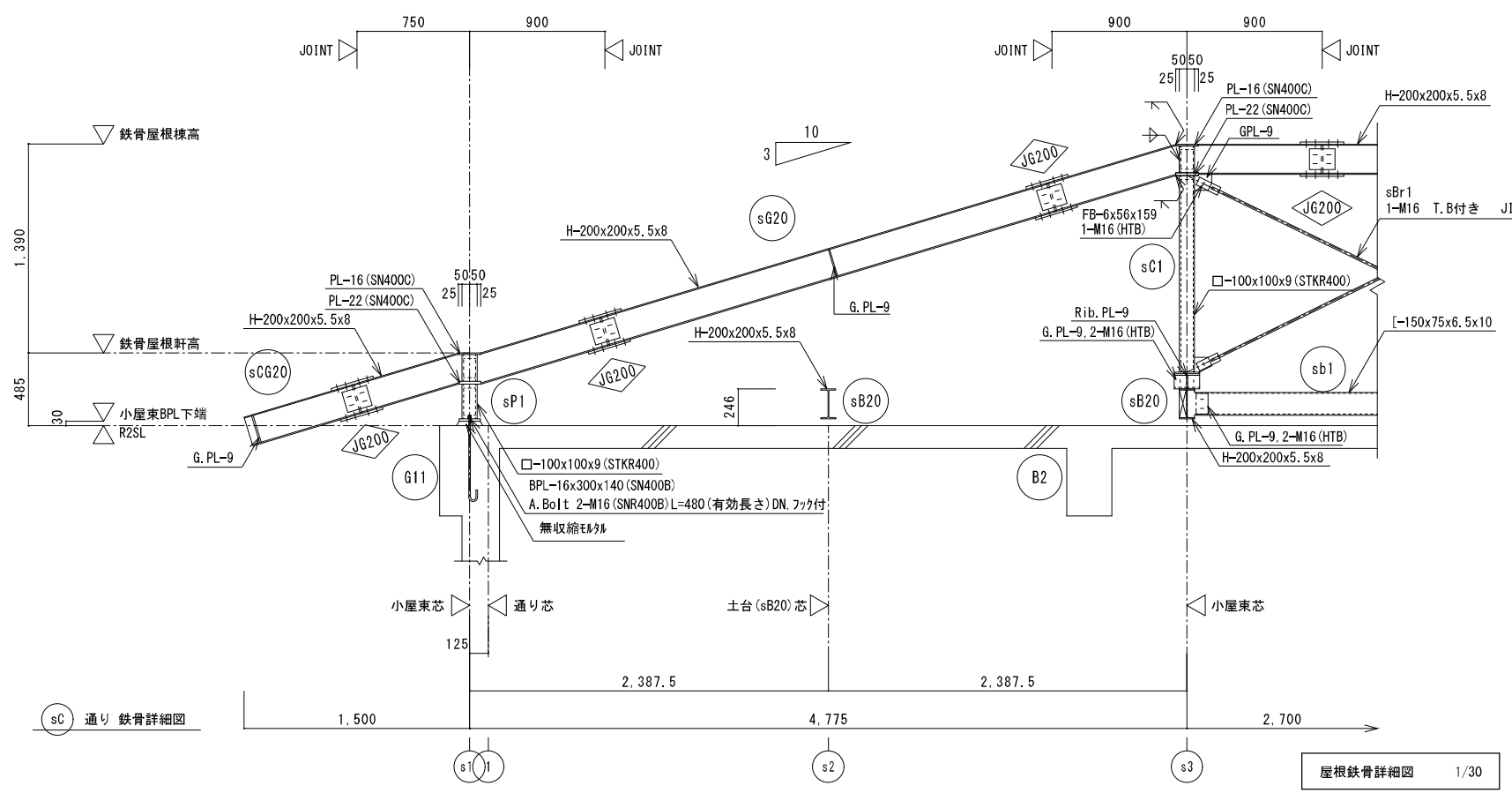
※寸法は最小寸法です。

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒860-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号 第305026号	谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号 第5774号	
積算図 申請図 最終図 変更図	2025. 01. 10.

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。



s3 通り 鉄骨詳細図



sC 通り 鉄骨詳細図

屋根鉄骨詳細図 1/30

株式会社ビルド総合設計 一級建築士事務所	〒869-0405 宇土市馬之瀬町711-4 熊本県知事登録 第3495号
一級建築士登録番号	第305026号 谷口 規子
構造設計一級建築士証交付番号	第5774号
積算図	申請図
最終図	変更図
2025.01.10.	

A3版出力の場合は表示縮尺の71%です。

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事	改訂	製図	検図	承認	名称	屋根鉄骨詳細図	スケール	作成年月日	株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 一級建築士 241080号	No. S-28
		図番					1/30				

